平成２年４月15日印刷　平成２年４月20日発行　日本シーリング工業会

シーリング27

VOL.23.NO.27
APRIL '90

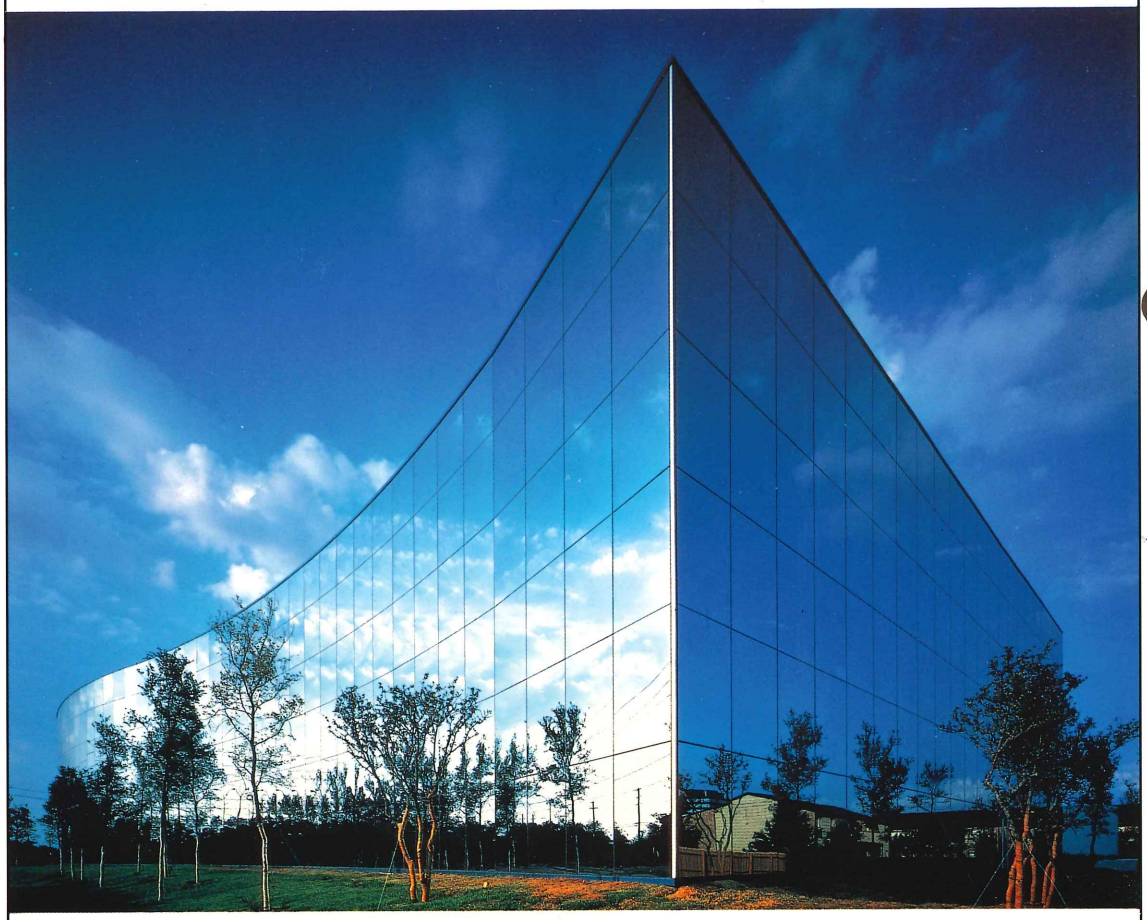
●建設省建築工事施工監理指針　平成元年版

日本シーリング工業会

●トーレ・シリコーン株式会社は、平成元年12月1日から東レ・ダウ コーニング・シリコーン株式会社に社名変更いたしました。

TORAY
DOW CORNING
SILICONE

SSG構法が、建築を変えた。



東レ・ダウ コーニング・シリコーン建築用シーラント

最近、脚光を浴びているSSG(ストラクチュラル・シーラント・グレージング)構法。これは、建物の窓や外壁を構成するガラスやパネルを、耐久性・耐候性・接着性に優れたシリコーンシーリング材を使って室内側のマリオンやメタルフレームに接着固定するというものです。メタルフレーム類を外部に出すことなく、平滑なガラス壁面を形成しますので、直線や曲線の組み合わせも自由にでき、美しく斬新なデザインが可能になり、世界的に普及してきています。

■SSG構法用シーリング材

品　番	成分形/タイプ	特　長
SE796シーラント	2成分形 アミノキシ型	中モジュラス 高伸長 現場施工
SE797シーラント	2成分形 アルコール型	高モジュラス 速硬化性・自己接着性 工場施工
SE798シーラント※	1成分形 アルコール型	高モジュラス 自己接着性 現場(工場)施工

※DC795相当品

シリコーンと先進技術で世界を結ぶ

東レ・ダウ コーニング・シリコーン株式会社

本店・営業本部/東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館) 〒103 TEL03(246)1641代表

大阪営業部 TEL 06(376)1251代表
名古屋営業部 TEL052(563)3951代表
九州営業所 TEL092(712)6158代表
広島営業所 TEL082(249)7811代表
北陸営業所 TEL0762(23)1585代表
南関東営業所 TEL0462(22)1595代表
北関東営業所 TEL0485(26)3972代表
東関東営業所 TEL0436(22)5743代表
仙台営業所 TEL022(227)9528代表
北海道営業所 TEL011(231)5281代表

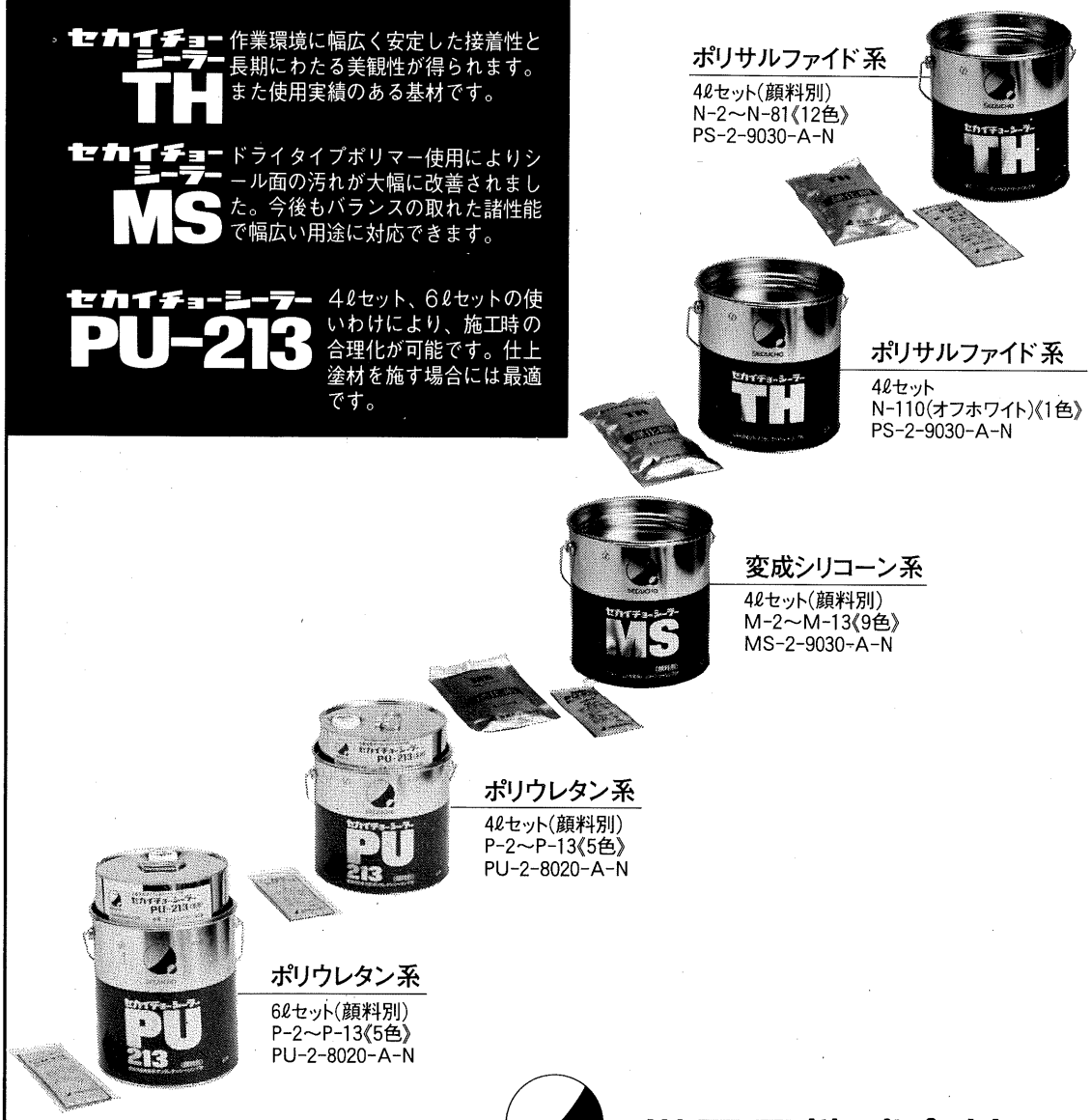
SECAICHO

セカイチョー建築用
2成分形シーリング材

セカイチョーシーラー TH 作業環境に幅広く安定した接着性と長期にわたる美観性が得られます。また使用実績のある基材です。

セカイチョーシーラー MS ドライタイプポリマー使用によりシール面の汚れが大幅に改善されました。今後もバランスの取れた諸性能で幅広い用途に対応できます。

セカイチョーシーラー PU-213 4ℓセット、6ℓセットの使いわけにより、施工時の合理化が可能です。仕上塗材を施す場合には最適です。



世界長株式会社

本　社／〒663 兵庫県西宮市津門大箇町8-39 Phone(0798)26-5724(化成品事業部)
営業所／名古屋(052)722-3301　広　島(082)295-0371　福　岡(092)474-5582
東　京(03) 462-5161　前　橋(0272)23-5675　仙　台(022)295-7051
札幌連絡所(011)221-2102

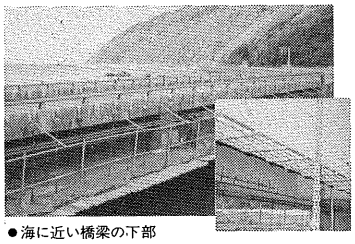
コニシボンド BESTEM

ベステムはボンド工法の
新しいシンボルです。

シランオリゴマー系の浸透性吸水防止材

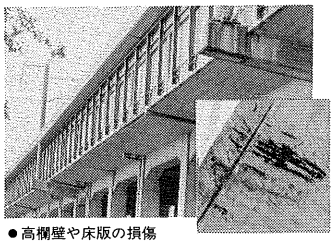
ボンド 水・ストップ

塩害による損傷



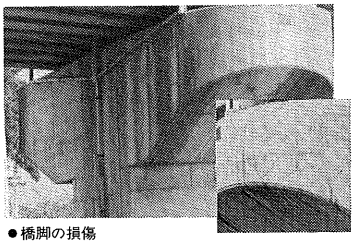
●海に近い橋梁の下部

中性化による損傷



●高欄壁や床版の損傷

アルカリ骨材反応による損傷



●橋脚の損傷

コニシ株式会社 ボンド建設部

本社/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541 TEL06-228-2963 FAX06-228-2927 名古屋支店 TEL052-262-8173
東京支店/東京都台東区台東4-28-11(第一勧銀渋沢ビル) 〒110 TEL03-5688-2281 FAX03-5688-2299 福岡支店 TEL092-551-1761

札幌支店 TEL011-612-0211 新潟営業所 TEL025-229-1133 北関東支店 TEL0285-25-2501 高松営業所 TEL0878-35-2020 中・四国支店 TEL082-294-8811
仙台支店 TEL022-235-3178 金沢営業所 TEL0762-23-1565 静岡営業所 TEL0542-55-5131 岡山営業所 TEL0862-25-1961

養生テープのパイオニア

カモ井　No.3303〈Blue〉

《特 長》

- ●被着体への「ぬれ」がよく、引張りによるテープの伸びが小さく、蛇行がありません。
- ●粘着力の温度依存性が小さいので、養生後の「はがし」が簡単で、斜め切れがありません。
- ●プライマーの溶剤におかされないよう十分考慮されております。
- ●強粘着タイプ、弱粘着タイプ、アール(曲線)とり用など用途にあわせてお選び下さい。

カモ井加工紙株式会社

本　　社　〒710 岡山県倉敷市片島町236
TEL.(0864)65-5811(代) FAX.(0864)65-5815

東京営業所　〒103 東京都中央区日本橋本石町4-5-8 須田ビル
TEL.(03)271-3888(代) FAX.(03)271-3601

歴史と実績—それが信頼をつくります

シーリング業界のリーダー

シーリング材の草分けであるエービーシー商会は、JIS 商品の製造販売など常に品質重視の姿勢を貫いてまいりました。

ポリサルファイド系シーリング材
チオコーク®
(JIS認定品)

ウレタン系シーリング材
ABC®ウレタン80
(JIS認定品)

ABC®コーキングウレタン カートリッジ
(一成分型)

変成シリコーン系シーリング材
ABC®変成シリコーンM
(JIS認定品)

ABC®シリコーンカートリッヂ
(一成分型)

ABC®変成シリコーンカートリッヂ
(一成分型)

ABC商会では、使用目的に応じて各種シーリング材を用意しております。用途に合わせてお選びください。

ABC shokai
東京都千代田区永田町2—12—14
TEL 03 (507) 7111 (案内)

"ノンタック変成シリコーン"
ファインシーラー No.500
無黄変プライマー No.15

優れた品質，優れた施工性，豊富な経験と実績！

変成シリコーン系シーリング材(4ℓセット)
ファインシーラー No.500
JIS A 5758 9030 合格品

ポリサルファイド系シーリング材(4ℓセット)
ファインシーラー No.300
JIS A 5758 9030 合格品

ポリウレタン系シーリング材(6ℓセット)
ファインシーラー No.200
JIS A 5758 8020 合格品

日本添加剤工業株式会社

営業部 〒174 東京都板橋区前野町1－21－5 電話 03(965)5731(代)
大阪支店 〒550 大阪市西区江戸堀1-5-13(日々会館ビル) 電話 06(443)6231(代)
名古屋支店 〒453 名古屋市中村区大閤通2-40(フタバビル) 電話 052(451)8632(代)
本社・工場 〒174 東京都板橋区前野町1－21－5 電話 03(960)8621(代)
北海道代理店 潮物産㈱ 電話 011(261)8271

未来へ、いい仕事。

躍動する時代変化にこたえて
未来を展望する経営理念を確立し、
企業イメージを一新します。

防水・シーリングの専門会社として歩んできた20年間の実績を踏まえて、さらに新しい挑戦を始めます。お客様のご満足を目標に誠心誠意の営業姿勢と高い技術水準を両輪として、社会のお役に立てるよう、CIを導入。内容の充実をめざしてまず企業イメージの刷新から始めます。

●新しいRIKENの仕事の領域
［基本領域］
●防水・シーリングの仕事
●建築工事分野の仕事
［展開領域］
●快適なオフィス環境をつくる仕事
［未来領域］
●美しく快適なオフィスをつくる仕事
●美しく快適な住まいをつくる仕事
●美しく快適な街をつくる仕事
●人々の快適な毎日と充実した人生を応援する仕事

Riken

未来へ、いい仕事・・・ **理建工業株式会社**

建設大臣許可(般-63) 第9923号
一級建築士事務所東京都知事登録 第20035号

●本社:130東京都墨田区太平4丁目22番4号 PHONE(03)622-4081代表
●横浜営業所:220横浜市西区岡野1丁目15番7号 PHONE(045)313-1371代表

各種シーリング材のチキソ性付与に物性向上に

★は各製品の適合用途を示します。

	シーレッツ	MS-100M	MS-600	カルファイン200	カルファイン200M	MC-K
ウレタン1液			★	★	★	
ウレタン2液	★	★		★	★	★
変成シリコーン					★	
ポリサルファイド				★		
シリコーン						
塩ビペースト	★					

コロイド炭酸カルシウム

丸尾カルシウム株式会社

本　社／〒674　兵庫県明石市魚住町西岡1455番地　電話　(078)942-2112(代表)
営業所／東京・大阪・名古屋・神戸・九州

「守りはかたく」

プロのニーズに応える

三洋の建築用シーリング材。

- スリーウレッチ(ポリウレタン系シーリング材)
- スリーラント(アクリル系シーリング材)
- スリーコーン(変成シリコーン)
- スリーコール(変成ポリサルファイド系シーリング材)

シーリング材の専門メーカー

三洋工業

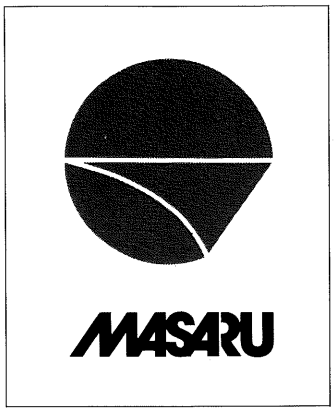
本社・東京都江東区亀戸6-20-7 TEL685-3452

確かな信用をお届けする

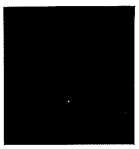
なにわ会

建築用シーリング材・防水材・関連製品のご用命は
信頼に応える当会メンバーにお申しつけ下さい

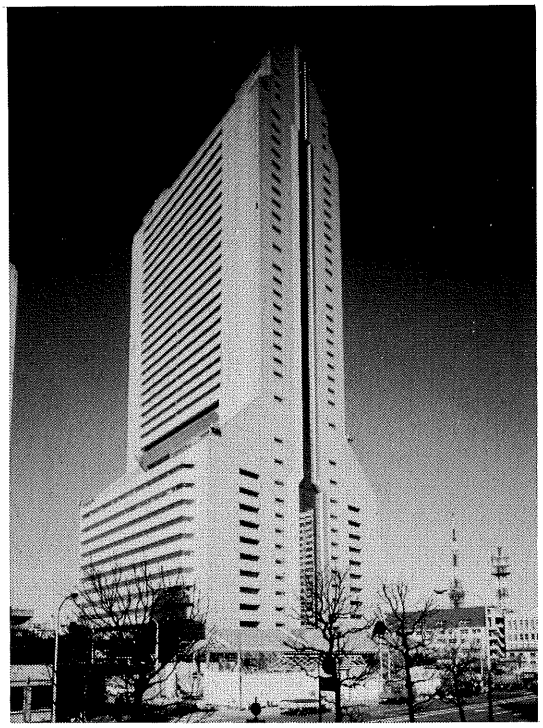
大阪御国商事㈱	〒567 茨木市横江2－1－12	TEL 0726(34)8214
鐘工業㈱	〒534 大阪市都島区高倉町1-11-12	TEL 06(921)4231
岸田資材工業㈱	〒652 神戸市兵庫区中道通5-1-13	TEL 078(575)2953
㈱旭栄	〒530 大阪市北区天神橋1－1－1	TEL 06(354)0356
コニシ技研㈱	〒542 大阪市中央区心斎橋1-8-18	TEL 06(245)8851
㈱ジャビコ大阪支社	〒530 大阪市北区梅田2-4-9(サンケイビル8F)	TEL 06(345)6871
日東工材㈱	〒553 大阪市福島区吉野1－14－2	TEL 06(445)7621
㈱フジキ	〒530 大阪市北区天神橋1－1－1	TEL 06(352)1571
フヨー㈱大阪支店	〒532 大阪市淀川区宮原5－6－10	TEL 06(395)0201
㈱前田精市商店	〒541 大阪市中央区道修町1-4-14	TEL 06(203)4641
㈱宮崎	〒541 大阪市中央区平野町3-4-9	TEL 06(231)5891
モリシタ化学産業㈱	〒543 大阪市天王寺区勝山1-6-7	TEL 06(771)3929
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	〒550 大阪市西区京町堀1-17-16スミトービル7F	TEL 06(446)6701



建物の呼吸を感じて、
最新テクノロジーを求めつづけたい。
シーリング防水工事
外装の調査・診断
塗り床工事・改修工事一式



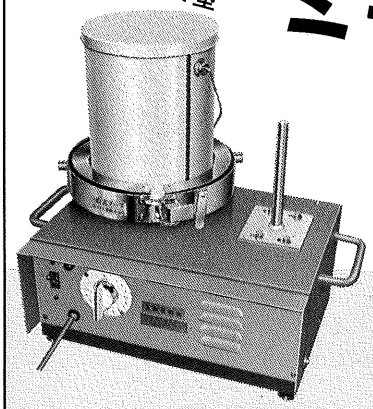
MASARU
株式会社 マサル
〒135 東京都江東区佐賀1丁目9番14号
TEL.03-643-5911(代表) FAX.03-630-3279
横浜営業所
〒221 横浜市神奈川区鶴谷町1丁目7番21号
TEL.045-322-5651 FAX.045-322-5107

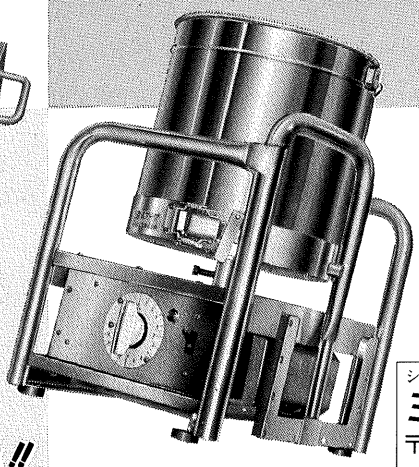


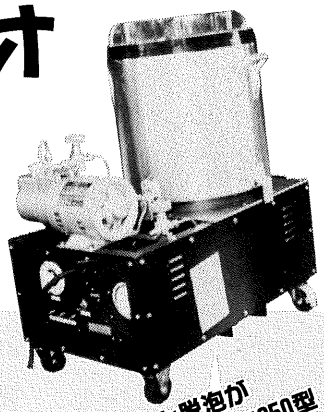
☆ポピュラー商品
耐久性のあるA型

軽量型・A型・250型の
ミキスタトリオ

☆目玉商品!!





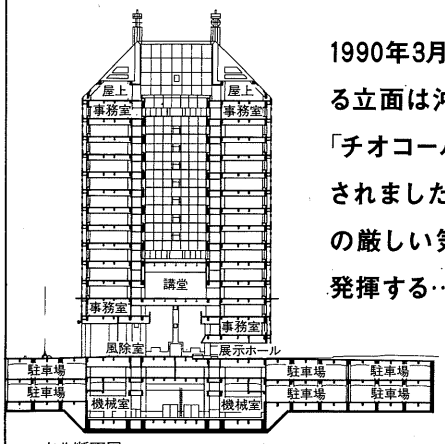


混合と脱泡が
同時にできる250型

超軽量型
重さ11.5kg!!

シーリングの発展と共に歩む
ミキスタ工業株式会社
〒103 東京都中央区日本橋蛎殻町1-33-7
電　話 03—669—9471(代)

高温多雨の沖縄でも
チオコール・シーラント。



南北断面図

沖縄県庁舎行政棟
設計者：黒川紀章建築都市設計事務所
施工者：大成建設JV（建築）
資料提供：日経アーキテクチャー

1990年3月に完成した沖縄県庁舎行政棟。三角の屋根、リズム感のある立面は沖縄県のシンボルとして美観を誇っています。この建物に、「チオコールLP®」を原料とするポリサルファイドシーラントが採用されました。「チオコール」はこれまでの豊富な実績によって、南国の厳しい気象条件下でも安定した耐候性、防水性、耐オゾン性を発揮する…このことが信頼されているからです。

東レチオコール株式会社

本　社：〒279 千葉県浦安市美浜1-8-1（東レビル5階）☎0473(50)6151㈹
工　場：〒299-01 千葉県市原市千種海岸2-3 ☎0436(22)3716㈹

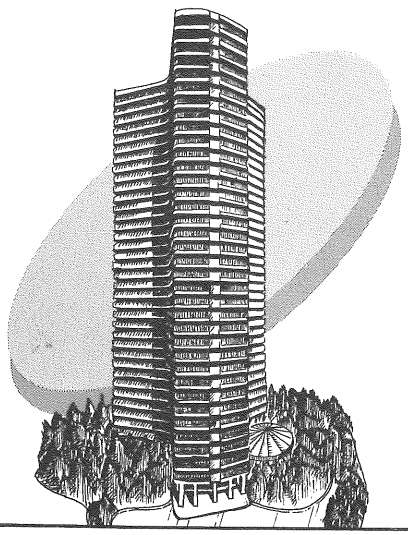
総代理店
株式会社野村事務所

本　　社：〒105 東京都港区西新橋1-1-15（物産ビル別館5階）☎03(502)1468㈹
大阪出張所：〒542 大阪市中央区南船場4-12-8（関西心斎橋ビル7階）☎06(243)0341㈹

シーリング　第27号　目　次　Vol.23　No.27

■会長挨拶 ……（11）
◎21世紀に向い真正な競争秩序を ……大谷浩造
■1990年シーリング産業の展望——関連業界の動向 ……広報委員会……（13）
■技術資料他
・建設省建築工事施工監理指針平成元年版 ……（45）
・リレー随筆その3「思いつくまま」 ……大泉洋一……（38）
・検定講習で思うこと ……松浪久夫……（59）

■委員会報告
◇“活発なる工業会づくり”をモットーに ……総務委員会（31）
◇平成元年度技術委員会活動概要の報告 ……技術委員会（32）
◇4つの課題に取り組んだ1年……調査委員会（33）
◇受講者のための講習会日程変更を ……検定委員会（34）
◆トピックス……（35）
◆平成元年度管理士検定講習会実施……（56）
◆各地からのたより……（61）
◆建築用シーリング材参考標準設計価格……（67）
◆建築用シーリング材市販製品一覧表……（69）
◆平成2年度日本シーリング工業会機構表……（82）
◆日本シーリング工業会会員名簿……（84）
◆日本シーリング工事業協同組合連合会の歩み ……山本勇（89）
◆日本シーリング工事業協同組合連合会会員名簿 ……（90）
◆関連会社，団体一覧……（98）
◆「シーリング技術管理士」に関する規約……（100）
◆「シーリング管理士」に関する規約……（101）
◆シーリング技術管理士・管理士名簿……（103）
◆編集後記……（110）



建築の革新に応える。

三星シーリング材

ポリサルファイド系シーリング材
三星シールPS

ポリウレタン系シーリング材
三星シールAU

水性アクリル系シーリング材
三星シールAC

一液性建築用変成シリコーン
三星シール変成シリコーンZ

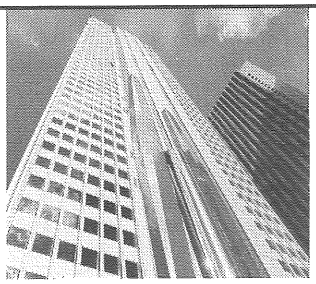
ブチルゴム系シーリング材
三星シールブチル

一液性ウレタン系シーリング材
三星シールU1

三星産業株式会社

本　社：〒101 東京都千代田区神田小川町3-28 TEL03(292)1961(代) FAX(293)4570
工　場：〒120 東京都足立区宮城1-20-15 TEL03(912)1261(代) FAX(913)7840
営業所：札幌TEL011(551)3781(代)FAX(551)5304　盛岡TEL0196(45)0431FAX(45)0424
仙台TEL022(262)5201(代)FAX(262)3138　北関東TEL0486(52)2181FAX(52)2384
横浜TEL045(261)5411FAX(261)9117　名古屋TEL052(931)3390(代)FAX(932)3977
富山TEL0766(68)1071FAX(68)2754　大阪TEL06(443)9721(代)FAX(443)9720
広島TEL0829(32)3937FAX(32)3937　福岡TEL092(781)3361(代)FAX(741)1737
長崎TEL0958(25)3266FAX(27)6825

YOKOHAMA



いまや、ビル建築の主流となったカーテンウォール工法。その陰ではシーリングテクノロジーが極めて重要な役割を演じています。〈ハマタイト〉は、外壁パネル、サッシ、ガラスの継目などをしっかりとシーリングし、建物の気密性を守り、また地震や温度変化にも柔軟に対応します。昭和38年、国産初の弾性シーリング材として登場して以来、池袋の「サンシャイン60」や新宿副都心の高層ビル群に採用されるなど、近代建築の発展とともに歩んでいます。最近では、プレハブ工法などの低層住宅や話題の「東京ドーム」にも使用され、適材適所で幅広いニーズに応えています。建築用弾性シーリング材〈ハマタイト〉、横浜ゴムの多彩な顔のひとつです。

横浜ゴムはいま、MULTIPLE。
例えば、近代建築の分野では、

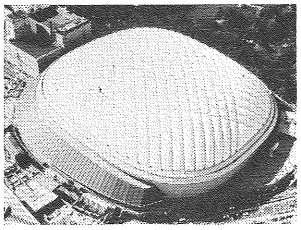
建築用シーリング材〈ハマタイト〉

——が優れた性能で確かな信頼を築いています。

MULTI-FACE

〈ハマタイト〉建築商品

- 2成分形シリコーン〈シリコーン70〉
- 2成分形変成シリコーン〈スーパーII〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SC-500〉
- 2成分形ポリ.ウレタン〈UH-30〉
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワン〉（高モジュラスタイプ）
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワンLM〉（低モジュラスタイプ）
- 1成分形ポリウレタン〈シールエース〉
- 1成分形シリコーン〈SS-310〉
- 1成分形弾性エポキシ〈エポソフト〉
- ウレタン塗膜防水材〈アーバンルーフ〉
- 2成分形エポキシ接着剤〈Y-1700TM〉
- 2成分形ポリサルファイド〈PRC-428〉
- 2成分形ポリサルファイド〈RC-100FT〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SM-101HT〉
- 合成樹脂系塗床材〈スムーニーフロアー〉



横浜ゴム株式会社 ハマタイト事業部 〒254 神奈川県平塚市中原上宿900 TEL 0463-31-3002(代)

21世紀に向い 真正な競争秩序を

会長　大谷　浩造

この4月から平成2年度が発足し，新しい役員候補も選出されました。5月の総会でご承認頂いて，正式に着任のはこびとなります。私は前年度を以て会長を退き，新会長に今後を委ねる予定でございます。従いまして，本誌上を借り，元年度を省み新会長に託す希望を申し述べたいと存じます。

昨年度，我が国の経済は極めて好調でございまして，建設業も繁忙を極めました。私どもの業界もその影響を受けて多忙に推移し，生産量は85,000トンにも達し，前年比11%の伸びとなりました。然しながら，利益は必ずしも併行せず，むしろ悪化している模様と察せられます。昨年度初めの4月に，非常識な価格競争を避け，技術と品質による真正な競争をすべきと訴えましたが，私の力及ばず意に反した結果であったことを深く反省し，残念に思っております。

さて，昨年度の事業といたしましては，JIS A—5758の改正を受託し，小池先生に主査をお願いして審議を重ね3月に完了，原案を提出いたしました。

また今秋米国ワシントンで開催されますASC（The Adhesive & Sealant Council）国際会議に，日本接着剤工業会と共に参加することを決定いたしまして，プロジェクトチームを組み，発表論文の取りまとめを行ない，提出いたしました。今回の会議は同一課題について全世界から，それぞれの国の情況について発表されますので，非常に興味あるものと思います。当工業会でも参加ツアーを企画しておりますので(既にご案内したと存じますが)，出来るだけ多くの方々が参加されますよう，お薦めいたします。

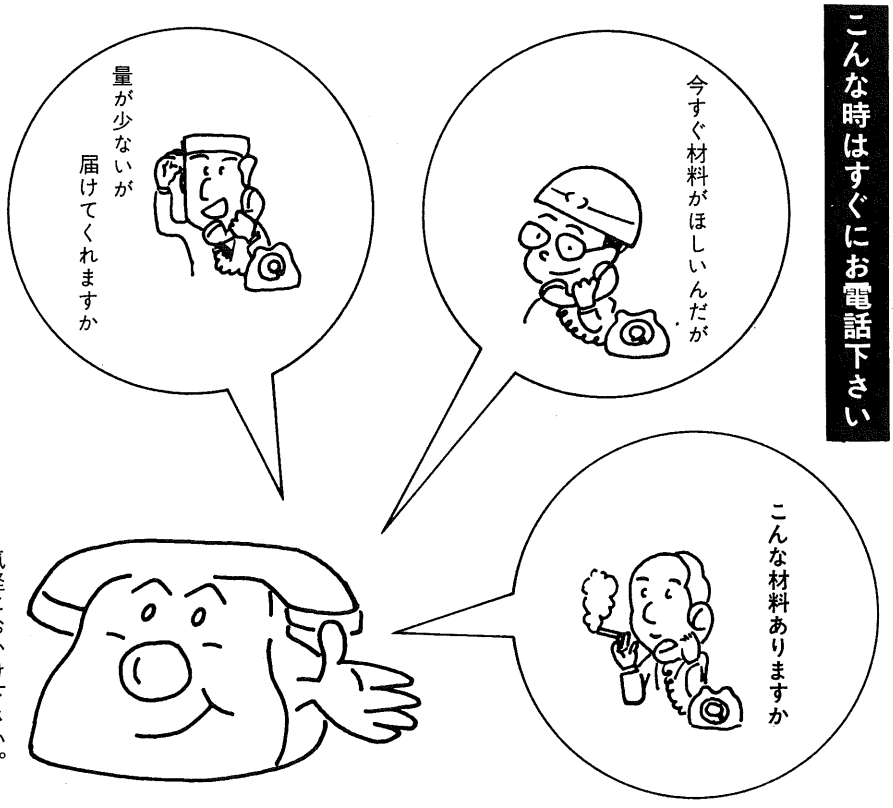
次に，従来当工業会で発表しておりました出荷統計は，参考資料として各方面の方々に広く活用されておりましたが，私どもはより精度の高い，権威あるものとしたいと考え，通産省窯業建材課のご指導を賜り，同課主導による統計調査に改めました。本調査は四半期毎に集計されますので，年度内での変動を見て取れるようになり，大層参考になるものと存じます。今後内容をより充実したものにすべく検討されておりますので，私どもも協力を惜しまず立派な統計に育て上げたいと存じております。

最近は円安・株安・金利高・人手不足と，国内経済は大きく変動するかに見えます。このため経済活動に多少のかげりが出るかもしれませんが，経済活性化の牽引役をつとめる建設業は，引続き堅調を維持するものと思われますので，私どもシーリング業界も高水準を維持すると考えられます。然しながら円安・金利高・人件費の高騰は，原材料・副資材・製造経費・物流費など総ての経費を押し上げて来ております。また人手不足は工事の消化量を抑え材料出荷量を圧迫することにもなりかねません。私どもはこのような情勢をしっかりと認識し，今年こそ秩序ある態勢をかためられんことを願って止みません。

（コニシ㈱　常務取締役）

7日会のメンバーは安心して使っていただける製品をサービスを添えてお届けします。

こんな時はすぐにお電話下さい



気軽におかけ下さい。

建築用シーリング材・防水材・関連製品の御用命は当会メンバーに

東日本シーリング工事業協同組合協力店会

7　日　会

化研マテリアル㈱	〒105	東京都港区西新橋3－8－1（第2鈴丸ビル）	TEL 03(436)3011
共成㈱	〒104	東京都中央区新川1－25－11	TEL 03(552)2031
光栄商事㈱	〒177	東京都練馬区上石神井1－432－2	TEL 03(928)5811
野口興産㈱	〒176	東京都練馬区豊玉北2－10	TEL 03(994)5601
フヨー㈱	〒130	東京都墨田区業平5－5－6	TEL 03(626)3371
藤本化成㈱	〒150	東京都渋谷区渋谷3－27－12（並木ビル）	TEL 03(407)4701
東京ハマタイト㈱	〒108	東京都港区芝浦2－13－7 宇徳田町ビル	TEL 03(769)3111

1990年シーリング産業の展望

広報委員会

1. シーリング材の需要動向

■概　況

好調な国内景気に支えられ，昨年も引続き産業界全般が活気に包まれた。この景況は，本年にはいっても目立った衰えが見られない。しかし，ここに来て，円のジリ安，株価下落，金利上昇など沈滞要因も見え始めており，業種によっては予断を許さぬ状勢となっている。

内需拡大の牽引車的役割を果している建設業は，昭和62年から投資規模が大幅に増加し，その後，伸び率こそ低下しているものの近年稀に見る高水準を保っている。

これは，新設住宅建設が一昨年のピーク以降も極端な落込みを見せず安定していること，企業の設備投資など非居住用建設が好調で，都市周辺の地域再開発事業や各種のリゾート開発，プロジェクトなどが継続している一方，欧米諸国に比べ立遅れが目立つ住宅・社会資本ストックへの取組も軌道に乗りつつあることなどが要因と言えよう。しかし，先述した抑制要因を背景に，企業の資金調達への不安感から設備投資計画を手控える兆候も見られ，建設投資への影響を不安視する向きも出て来ているのが現況である。

建築着工の動きを見ると，まず，総床面積では昨年の伸び率は一昨年を下回ったものの5.25%増と堅調に推移，このうち防水・シーリングと関連の深い不燃建築着工も一昨年（13.7%増）からは大きく低下しながらも6.4%増とまずまずの伸びを見せた。しかし，こうした好況の反面，現場では労働事情の悪化が目立ち，工事遅延，公共工事における入札不調，技能工の労賃高騰などが顕在化してきた。また，供給がタイトな一部資材は既に価格上昇を招いているが，円安による原料高，流通経費の上昇などから石油系製品全般について高値志向が現出している。

シーリング材についても事情は全く同様で，出荷面では3年連続の2ケタ伸び率を見せたものの，従来からの供給過剰体制が響き製品価格は低迷，各メーカーとも採算性を極端に悪化させているのが現状である。また，人手不足による労務費の高騰も顕著で，施工店経営も施工高の割には潤っていない。従って，当面は，労務費を含めた受注価格の改善に向け材・販・工が協調し相互信頼を確立させること，慢性化した技能工不足に対しては，現場での労働生産性向上のための技術開発を図ることが大きな課題と言えるだろう。

表－1　建築用シーリング材の生産量の推移　通産省生活産業局窯業建材課調べ　(単位：トン)

基材＼年次		1985年	1986年	1987年	1988年					1989年				
						1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
シリコーン系		9,083	10,293	11,401	13,002	2,971	3,175	3,391	3,466	15,742	3,871	3,567	3,929	4,374
	1成分形	7,836	8,882	9,923	11,352	2,571	2,781	2,969	3,031	14,098	3,465	3,172	3,524	3,937
	2成分形	1,247	1,411	1,478	1,650	400	394	422	435	1,644	406	395	405	438
変成シリコーン系		3,879	5,122	7,133	9,574	2,151	2,265	2,446	2,713	12,625	2,861	2,965	3,164	3,634
	1成分形	1,658	2,534	3,861	5,155	1,135	1,268	1,361	1,393	6,311	1,436	1,561	1,603	1,712
	2成分形	2,221	2,588	3,272	4,418	1,015	997	1,085	1,321	6,314	1,425	1,405	1,562	1,923
ポリサルファイド系		9,757	9,604	9,873	11,309	2,831	2,549	2,824	3,105	11,696	2,894	2,684	2,912	3,206
アクリルウレタン系		600	610	660	780	150	220	250	160	770	180	200	240	150
ポリウレタン系		15,517	17,165	20,542	24,513	5,852	5,856	5,989	6,816	26,631	6,484	6,718	6,342	7,086
	1成分形	3,948	4,111	4,910	6,036	1,363	1,493	1,521	1,659	7,052	1,682	1,807	1,745	1,818
	2成分形	11,569	13,054	15,632	18,477	4,489	4,363	4,468	5,157	19,579	4,802	4,911	4,598	5,268
アクリル系		11,812	12,106	12,694	14,634	3,210	3,529	3,848	4,047	15,276	3,627	3,755	3,732	4,162
SBR系		69	60	52	46	9	11	10	16	39	10	9	9	11
ブチルゴム系		1,130	1,115	1,197	1,324	291	319	336	378	1,240	317	342	226	355
油性系		2,071	1,895	1,670	1,462	318	383	389	373	1,410	320	375	299	416
合計		53,918	57,970	65,223	76,644	17,783	18,306	19,482	21,074	85,428	20,565	20,616	20,852	23,395

小数点以下は四捨五入。(JIS Z 8401(1984)「数値の丸め方」に準拠)
従って各項目の合計は必ずしも合計値に一致しない。

■シーリング材出荷動向

建築用シーリング材の昨年の生産量は，通産省窯業建材課調べによると3年連続で2ケタ伸び率を示し11.5%増の85,428トンとなった。建築着工，特に不燃建築の着工増，ならびにプレハブ化構法の一層の進展に裏付けられた数字であり，一昨年（17.5%増）には及ばないが，現場事情を考慮すれば施工キャパシティの限界に近づいていると言えそうである。

近年の建築用シーリング材，特に2成分形の出荷動向が，不燃建築の着工動向に近似してきたことは再三述べてきたとおりだが，昨年の場合は，かつて昭和40～50年代の需要拡大期同様不燃建築の伸びを大幅に上回る傾向を示した。これは，もちろんシーリング材の主用途である不燃建築への適用が浸透・定着したことが根底にあるが，昨今の建築労務事情から建築構法のプレハブ化，即ち，省力化が益々進展していることが大きく影響していると考えられる。また，これに加えサイディング材や室内用途まで更に底辺需要を拡大している1成分形の好調も見逃せない点である。

成分別の出荷動向はここ数年の傾向が引続いている。即ち，シリコーン系，変成シリコーン系，ポリサルファイド系，ポリウレタン系の弾性系とALC目地を主用途とするアクリル系が好調で，1成分形と2成分形（弾性系のみ，ポリサルファイド系，アクリルウレタン系は除く）とでは，やはり1成分形の伸びが高かった点である。弾性系の占有率は，ここ数年70%台で推移，漸増傾向にあり，昨年は79.0%となった。昭和50年時点では50%にも満たなかったことを考えると，ワーキングジョイントを主用途としていた弾性系が用途別には圧倒的なノンワーキングジョイントへも適用されるようになった需要の様変わりが見てとれる。また，最近の占有率の安定は，各材料別の適材適所の使われ方が浸透したことを物語っていると言え，この傾向は，今後も継続すると考えられる。さらに弾性系の中では，徐々にではあるが1成分形の占有率が拡大してきており，弾性系が全体の過半数を占めるようになった昭和50年代中期に20%程度であったものが昨年実績では40.7%まで上昇している。ただし，変成シリコーン系については，一昨年に引続き2成分形が1成分形の伸

びを上回っており，着工動向の好調を反映し建物外壁目地への適用が増大したことを物語っている。

■シーリング技術動向

シーリング産業の充実期にふさわしい旺盛な技術活動は数々の成果を生んでいる。

まず，建設省総合技術開発プロジェクトでのシーリング防水の劣化診断，補修・交換，総合耐久設計各指針の作成，その後，同プロジェクトを継続して行なった「シーリング防水改修設計・施工指針(案)」の作成作業があげられる。後者は，建設省建築研究所ならびに当工業会が官民連帯共同研究の1テーマとして取組んだもので，昨秋建研よりその概要が公表された。今後，改修シーリング材の耐用年数算定式など種々の技術指針の本格運用に向けての普及活動が行なわれる。

次に，建設省建築工事共通仕様書，同施工監理指針，JIS，JASSなど標準類に関する制・改定作業への継続的な協力・推進があげられる。このうち「施工監理指針」は平成元年版がこのほど改定出版され（45頁参照)，「共仕」で追加規定された「検査」について具体的な方法などが示された。JISについては昨夏より改正作業が行なわれ，今春3月に改正原案を委嘱元の日本規格協会に答申，一連の作業を終了している。新ポリマーによる変成ポリサルファイド系1成分形シーリング材の追加規定，国際規格との整合化等が図られた規格案となっている（32頁参照)。このほか，JASS8改定への協力作業も本年より本格的に開始する予定である。

また，当工業会では，今秋米国で開催されるASC国際会議に参加するため，現在，発表論文等の作成作業を進行している。同会議では，シーリング材の市場・技術に関わる現状と将来予測について，欧・米・日を比較，その相違点を明確にすることを目的のひとつとしており，成果が注目されている。

その他，日本乾式防火サイディング協会とのサイディング住宅の適正な目地施工に関する啓蒙活動など，関連団体との協力的な研究作業も広範に進められている。

これらに加え，施工技術，管理技術面でのレベルアップも図られており，当工業会が認定するシーリング管理士，同技術管理士制度は益々充実ぶりを見せ，多くの有資格者が誕生している。国家認定のシーリング防水技能検定制度も含め，これら資格制度は，自主管理システムが主流になりつつある建設業界で一層重視され，対外的評価を高めていくことは間違いのないところである。

さて，ユーザーのシーリング材に対する認識の向上は，近年著しいものがあると言えよう。需要層も専門家からDIY店利用客などのセミプロ，素人まで広範にわたっており，シーリング材の位置づけも建築用材料として一般化したと言えそうである。

しかし，高機能化，あるいは複合機能化に向けてのユーザーの要求度合の高まりは決して止むものではない。また，底辺需要の広がりは，一方で，より簡素化した使い易い材料の出現を求めてくるとも考えられる。従って，今後も継続的な技術研鑽を加え，ユーザーの期待に応え，シーリング防水への信頼を揺るがぬものとすることがわれわれの使命と考える。

■主成分別製品動向

◆シリコーン系◆

一昨年の14.0%増に続き昨年は21.1%増の15,742トンとここ数年でも極立って高い伸びを見せた。特に量的に圧倒している1成分形が24.2%増と好調でガラス，板金，設備関係などルート需要での強さを物語っている。底辺需要も拡大しているが，1件当りの使用量も増加している模様で，また，従来2成分形で対応していた小規模物件などもその簡便さから1成分形に移行しているケースもあるようだ。一方，2成分形は，ひと頃の伸び悩みを脱し順調に推移してきたが，昨年は前年比0.4%減となった。SSGやガラスをふんだんに使用したメタルカーテンウォール系の大中型物件が増加しているとは言え，一部では1成分形に置き換わっている面も見受けられる。現在各地で進められている都市再開発は，同時に防

災不燃化都市への再編も促進しており，今後難燃性の点でシリコーン系に有利に働くものと期待される。

◆変成シリコーン系◆

相変わらずその伸び率は驚異的で昨年は31.9%増の12,625トンと，成分別ではポリサルファイド系を凌ぐ結果となった。1成分形，2成分形ともに好調だが，特に2成分形は42.9%増の6,314トンと全品目中最高の伸び率を示した。カラーマスター化，ノンタック品の普及などコンクリートカーテンウォールを中心とする適用範囲の拡大を物語っている。1成分形も22.4%増の6,311トンと高水準を維持，ルート需要での浸透のほか，近年急増しているサイディング材目地やプレハブ住宅のパネル目地への低モジュラスタイプの適用が相当進んでいるようである。

◆ポリサルファイド系◆

一昨年久し振りに14.5%増と2ケタ伸び率を示し一挙に1万トンの大台に乗せたが，昨年は3.4%増の11,696トンと安定的に推移した。近年，中高層カーテンウォールでは変成シリコーン系，中低層PCではポリウレタン系の影響でやや伸び悩みが見られたが，実績と歴史に裏付けられた汎用シーリング材としてユーザーの支持は根強いものがある。また，今後増加が予測される改補修工事では，その優れた接着安定性による需要増も期待されるところである。一方，1成分形は，絶対値はまだ少ないものの2成分形のダメ工事やルート需要への進出も見られ，伸び率は順調に推移している。

◆アクリルウレタン系◆

61年の改正JISで初めて規格化されたシーリング材で，供給メーカーも現在2社と少ない。絶対量が少なく，一昨年は18.2%増の高伸び率であったが，昨年は1.3%減の770トンとなった。物性面からはポリサルファイド系とポリウレタン系の中間に位置するが，外壁仕上げ塗材や塗膜防水材との馴染みが非常に良いことが実証されており，コンクリート目地を中心に採用されている。近年，ユーザーの外装材に対する美観要求が高まっているところから，その安定性を評価する向きもあり，改補修分野も含め今後伸長する要素を秘めている材料と言えよう。

◆ポリウレタン系◆

物量面では他基材を圧倒するものがあり，伸び率では久し振りに1ケタ台にとどまったが8.6%増の26,631トンと一応の高水準を維持した。このうち1成分形は18.2%増の7,052トンと2ケタ伸びを維持，ブリージング性の改良なども積極的に進められ，変成シリコーン系同様，サイディング材目地やALC造も含めた戸建プレハブ住宅での採用が目立っている。また，2成分形は6.0%増の19,579トンとなったが，量的には前年比1,000トンを越す増加があり，中低層PC, RC建物，油性系の打替え，各種土木構造物目地など広範な需要分野への浸透を物語っている。ただし，2成分形は全般的に経済性を優位に置いているきらいがある。

◆アクリル系◆

用途の90%以上がALC板目地という特異な位置づけのシーリング材である。従って，ここ数年はALC板出荷動向の好調さを反映して順調に推移，しかし昨年は4.4%増の15,276トンとALC板の伸び率(推定10%増)とはやや開いた結果となった。ALC板目地にはポリウレタン系1，2成分形や変成シリコーン系が適用されることもあり，作業性と経済性を生かしたアクリル系主流の中にも用途や建物グレードによって使い分けが進みつつあるようである。また，ALC板自体シーリング材を用いない外壁用途以外への使用がふえていることも事実である。

◆その他◆

ブチルゴム系は外壁に用いられるケースが少なく建築用途としてはサッシの裏打ちや板金関係，シート防水の貼仕舞への使用がほとんどである。しかし，この分野も近年耐候性上の有利さ，また，価格的にも格差が少なくなってきたことからポリウレタン系などの弾性材料が用いられるケースが増えており，昨年は6.3%減の1,240トンとなった。**SBR系**も最近は室内目地に用いられることがほとんどで，また，価格面でのメリットも少なくなりブチルゴム系同様低迷を示し前年比15.2%減の39トンに低下した。歴

史も古く根強い支持のある**油性コーキング材**も，昨年は3.6%減の1,410トンと減少している。これら非弾性系の弾性系材料への移行傾向は今後も続くものと見られる。

このほか，新ポリマー「パーマポール」(商品名)ベースの**変成ポリサルファイド系**1成分形シーリング材が上市4年目を迎え現在4社より発売，当工業会でも分科会活動（参加会員6社）が開始されている。

2. 建築業界の動向

2-1 建設投資の動き

平成元年度の建設投資は，政府投資が名目で微増，実質（昭和55年度価格，以下同じ）では若干の減少を示したものの，民間投資が名目5.7%増（実質1.7%増）と好調に推移したため，名目では前年度比4.5%増の70兆1,100億円，実質0.6%増の65兆700億円と，名目，実質ともにこれまでの最高額となる見通しである。

このうち建築投資は5.3%増の44兆1,000億円（実質1.3%増，40兆2,200億円）で，うち住宅投資は1.3%増の23兆4,200億円，非住宅投資は10.1%増の20兆6,800億円と見通され，また土木投資は3.1%増の26兆円（実質0.5%減，24兆8,600億円）で，うち政府投資は1.7%増の19兆8,800億円，民間投資は8.0%増の6兆1,200億円となっている。

建設投資を政府，民間に分けると，政府投資が2.1%増の24兆300億円（実質1.4%減，22兆9,600億円），民間投資が5.7%増の46兆800億円（実質1.7%増，42兆1,100億円）となっている。建設投資の内訳はこれまで政府4割，民間6割であったが，60年度以降の政府投資の漸減から，平成元年度は政府1，民間2の割合となる見通しである。

近年の建設投資総額の対GNP比率の傾向は，60年度の15.6%を底に，以降漸増しており，元年度は63年度同様18%台となる見通しである。

ちなみに，平成元年（1～12月）の建築着工工事費予定額は，対前年比14.6%増の40兆5,740億円で，構造別ではS造が24.1%増の13兆1,910億円，SRC造が24.0%増の6兆7,027億円，用途別では鉱工業用が44.6%増の4兆1,869億円，商業用が26.8%増の5兆1,719億円，サービス業用が16.0%増の3兆8,547億円と高い伸びを示している。

表－2　平成元年度建設投資見通し　(単位：億円，%)

項目＼年度	投資額 62年度(実績見込み)	投資額 63年度(見込み)	投資額 元年度(見通し)	増加率 63／62	増加率 元／63
総額	613,900	671,200	701,100	9.3	4.5
(同実質)	(602,900)	(647,000)	(650,700)	(7.3)	(0.6)
建築	375,300	419,000	441,000	11.6	5.3
(同実質)	(362,000)	(397,200)	(402,200)	(9.7)	(1.3)
住宅	216,400	231,200	234,200	6.8	1.3
非住宅	158,900	187,800	206,800	18.2	10.1
土木	238,600	252,200	260,000	5.7	3.1
(同実質)	(240,900)	(249,800)	(248,600)	(3.7)	(△0.5)
政府	185,400	195,500	198,800	5.5	1.7
公共事業	163,500	171,500	175,100	4.9	2.1
その他	21,900	23,900	23,800	9.3	△0.8
民間	53,200	56,700	61,200	6.5	8.0
再掲 政府	224,900	235,400	240,300	4.7	2.1
(同実質)	(226,400)	(232,800)	(229,600)	(2.8)	(△1.4)
再掲 民間	389,000	435,700	460,800	12.0	(5.7)
(同実質)	(376,500)	(414,100)	(421,100)	(10.0)	1.7

(注) 1. 下段（　）内は実質値(55年度価格)である。
2. 四捨五入により100億円単位の値としたため，各項目の合計は必ずしも統計と一致しない。
3. 昭和62年度に国鉄が民営化され，政府土木から民間土木に移行した。

2-2 建築着工の動向

わが国の建築着工の動向をみると，昭和63年の総床面積は2億3,722万m²(対前年比7.8%増)，平成元年は2億6,921万m²（5.2%増）と，昭和62年の著しい伸び（14.2%増）には及ばないものの，堅調に推移している。これは住宅建設が一応のピークを迎えたものの，企業の設備投資が引続き好調なことが要因といえる。用途別にみると，鉱工業用が，昭和63年の伸び率（39.8%増）には劣るものの，24.3%増の3,720万m²と高い伸びを示したほか，公益事業用が16.9%増の806万m²，商業用が12.5%増の2,943万m²といずれも2桁の伸びを示したことが目を引く。

シーリング材と関連の深い不燃建築物の着工では，昭和63年が1億7,306万m²（13.7%増），平成元年が

1億8,412万m²（6.4%増）と伸び率こそ減少したものの，比較的堅調に推移している。

新設の住宅建設戸数では，貸家建設がピークを過ぎたことから，史上3番目を記録した昭和62年度の172万8,534戸を境に昭和63年度166万2,616戸（対前年度比3.8%減）と減少し，平成元年（暦年）は166万2,612戸となっている。

一方，着工新設住宅の1戸当り平均床面積は，平均規模が小さい貸家建設の減少により，昭和63年度80.1m²と，昭和62年度の79.3m²から若干持直した。

現在，政府が進めている第5期住宅建設5箇年計画（昭和61年度から平成2年度まで）では，適正な規模，構造および機能・設備を備えた住宅の建設戸数を670万戸と見込み，公営住宅，公団住宅，住宅金融公庫融資住宅等の公的資金による住宅建設については330万戸としている。現在，平成元年度（4月～12月）までの総戸数は609万8,819戸で，新設住宅戸数の減少はあるものの，達成率91.0%と好調に推移しているところである。

また，住宅・都市整備公団では，昭和30年度から62年度まで約68万戸の賃貸住宅が供給されており，63年度は9,500戸の建設計画で進められ，平成元年度も同じく9,500戸が計画されている。また，民営賃貸用特定分譲住宅については，63年度は9,000戸を建設し，平成元年度も引続き9,000戸を計画している。なお63年度からの同分譲住宅については，居住水準の向上等を図るため，増築等による住宅の大型化を推進している。

平成2年の住宅建設戸数は減少傾向となろうが，住宅投資額では，一戸当り着工床面積の拡大，設備等の質的向上から，前年並みの水準で推移するとみられる。貸家については，近年の急激な着工ストックの調整，また建築費の上昇などによる収益性の低下などから，前年同様，減少していくと考えられるが，相続税対策等による供給要因や，貸家需要層である単身者世帯の増加傾向が引続いていることから，極端な減少はないとみられる。

持家および持家系分譲住宅は，持家取得層の増加や，建替え需要の存在といった構造的要因は持続するものの，取得価格や新規建設用地の問題等から，大幅な増加はないといえる。

分譲住宅は，首都圏を中心とする地価上昇の兆しや，社宅，寮等の取得など，旺盛な需要の存在から好調に推移するとみられる。

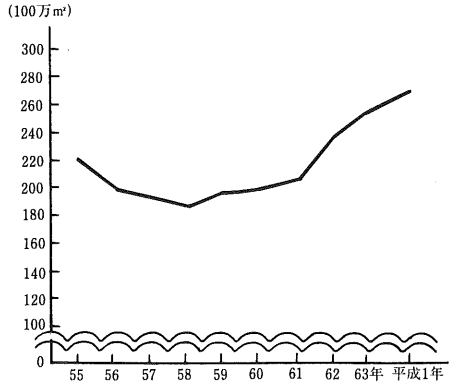
民間企業建築は，設備投資が，平成2年も相当の伸びが見込まれることから，増加すると予想されるが，伸び率は緩やかなものになるとみられる。

ちなみに，建設省の平成2年度住宅建設計画予算では，戸数で公営住宅5万2,000戸（前年度と同じ），改良住宅5,000戸（前同），公庫住宅55万戸（5,000戸

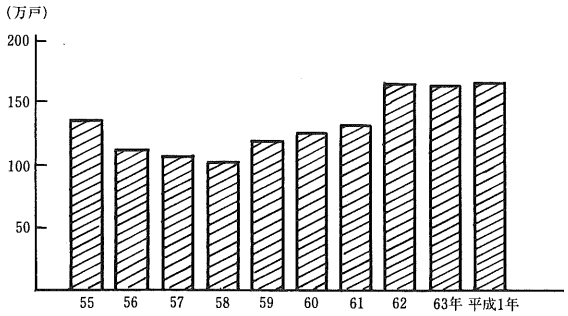
表－3　建築着工統計

※次頁に続く（単位：千m²）

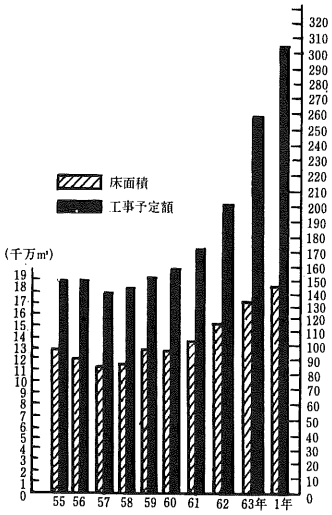
月間 年間	総数 床面積	用途別床面積 居住専用	居住産業併用	農林水産業用	鉱工業用	商業サービス業用	公益事業用	公務文教用	その他
56 (対前年比)	202,752 (91.4)	100,122 (91.4)	20,028 (89.1)	6,678 (87.1)	21,346 (94.1)	28,170 (94.7)	5,551 (104.0)	20,716 (86.6)	139 (133.7)
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60 (対前年比)	199,561 (101.7)	95,705 (103.1)	19,138 (100.3)	5,838 (95.6)	25,035 (97.9)	31,617 (101.5)	5,789 (129.3)	16,216 (97.0)	223 (90.7)
61 (対前年比)	207,682 (104.1)	102,858 (107.5)	19,864 (103.8)	5,809 (99.5)	21,248 (84.9)	35,600 (112.6)	5,396 (93.2)	16,736 (103.2)	172 (77.1)
62 (対前年比)	237,226 (114.2)	123,703 (120.3)	23,213 (116.9)	5,763 (99.2)	21,391 (100.7)	40,795 (114.6)	5,814 (107.7)	16,344 (97.7)	203 (118.4)
63 (対前年比)	255,782 (107.8)	127,065 (102.7)	24,217 (104.3)	5,476 (95.0)	29,901 (139.8)	45,405 (111.3)	6,893 (118.6)	16,576 (101.4)	250 (123.2)
1 (対前年比)	269,212 (105.2)	128,687 (101.2)	23,731 (98.0)	5,489 (100.2)	37,189 (124.4)	49,549 (109.1)	8,058 (116.9)	16,167 (97.5)	342 (136.8)



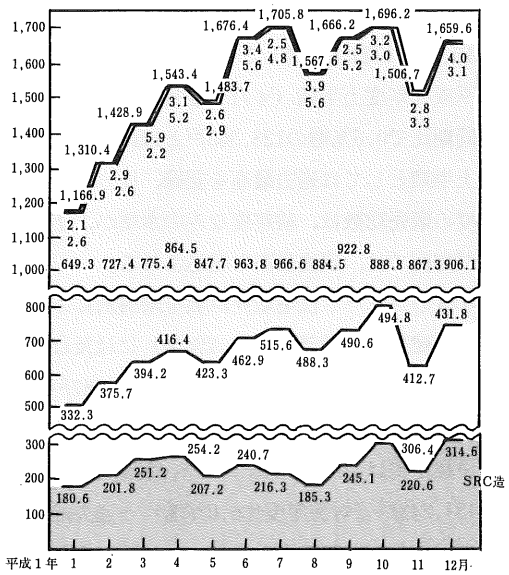
図— 1　建築着工面積（総床面積）



図— 3　新設住宅建設戸数



図— 2　不燃建築着工統計



図— 4　不燃建築着工床面積の増減内訳

建築主別床面積			構造別床面積						
					不燃建築物				
公共	民間		木造	不燃建築物小計	鉄骨・鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	コンクリートブロック造	その他
	会社・法人	個人							
31,268 (95.2)	67,911 (88.5)	103,574 (92.4)	80,304 (88.9)	122,445 (93.2)	17,508 (95.3)	45,376 (92.3)	58,423 (93.3)	876 (88.6)	269 (115.5)
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.9)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)
20,464 (92.7)	78,192 (104.1)	100,907 (102.0)	70,503 (99.3)	129,060 (103.1)	17,747 (108.8)	42,576 (101.8)	67,918 (102.8)	527 (85.3)	293 (82.5)
20,527 (100.3)	79,606 (101.8)	107,549 (106.6)	73,679 (104.5)	134,003 (103.8)	20,316 (114.5)	44,339 (104.2)	68,520 (100.9)	515 (97.5)	314 (107.2)
21,040 (102.5)	89,768 (112.8)	126,419 (117.5)	85,081 (115.5)	152,146 (113.5)	23,168 (114.0)	52,057 (117.4)	76,087 (111.0)	498 (96.7)	336 (107.1)
21,707 (103.2)	109,472 (121.9)	124,602 (98.6)	82,725 (97.2)	173,062 (113.7)	26,548 (114.6)	55,109 (105.9)	90,580 (119.0)	482 (96.8)	343 (102.4)
21,192 (97.6)	124,216 (113.5)	123,800 (99.4)	85,095 (102.9)	184,118 (106.4)	28,240 (106.4)	52,386 (95.1)	102,642 (113.3)	461 (95.6)	389 (113.4)

アップ)，公団住宅2万5,000戸(前年度と同じ)，特定賃貸住宅等2万3,310戸（300戸減)，計65万5,310戸（4,620戸増）が確保される。

以上の観点から，建築着工の伸び率の鈍化は予想しうるものの，安定的に推移するものと思われる。

2-3 プレハブ住宅建設

プレハブ住宅の需要動向は，昭和63年度の販売戸数が対前年度比6.5%増の269,083戸となり，62年度の伸び（14.2%増）には及ばないものの，初の26万戸台を達成した。また全着工新設住宅数に占める割合も16.2%（同1.6%増）となり，過去最高を示した。平成元年度上半期（4月～9月）については，前年同期比で0.6%増の128,365戸とほぼ横ばいながら，上半期としては過去最高を記録，従って，平成元年度の販売総数は，前年度なみの水準か，下半期の伸び如何では，過去最高も見込まれる。

63年度のプレハブ住宅販売戸数を階層別にみると，低層一戸建住宅は前年度（15.7%増）には及ばないものの，11.9%増と高い伸びを示し，111,487戸と過去最高となった。また63年度より調査を開始した中層一戸建住宅は，2,331戸であった。低層共同建住宅は，131,248戸（対前年度比6.9%増）と過去最高の戸数を示したが，57年度以来続いた10%以上の大幅な伸びには至らなかった。また中高層共同建住宅では，12.7%減の26,348戸となったが，着工共同建住宅数に占める割合では16.1%（同0.9%増）と増加している。

構造別の販売戸数では，木質系住宅が48,514戸(同8.4%増)，鉄鋼系187,365戸（同7.7%増）で過去最高となった。なお木質・鉄鋼系住宅とも一戸建と低層共同建住宅で増加を示したが，鉄鋼系の中層は，62年度の50.8%という大幅増の反動から2,493戸(同35.4%減)と減少した。コンクリート系住宅は33,204戸（同1.7%減）で，そのうち低層では，共同建が好調（同18.4%増）を維持したものの，一戸建で減少（同17.9%減）したため，7,021戸（同5.8%減）となり，中高層も26,183戸（同0.5%減）となった。

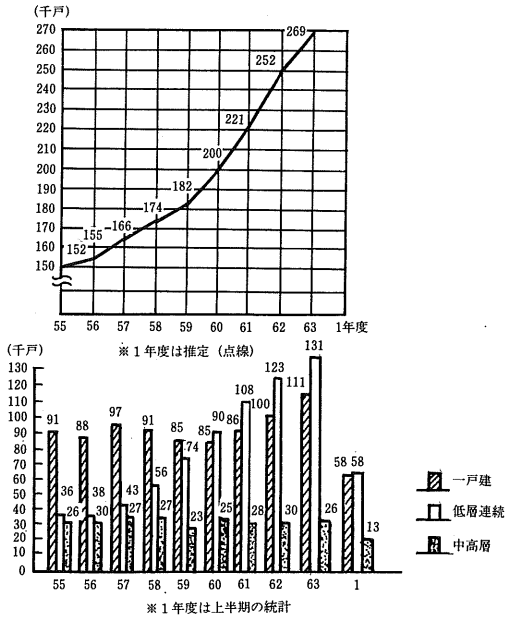
プレハブ住宅に使用されるシーリング材は，全般的に経済性と性能のバランスを基準として，木質系，鉄鋼系一戸建ではポリウレタン系1成分形が，コンクリート系ではポリウレタン系2成分形が多くを占める。またこのほかにも，変成シリコーン系，ポリサルファイド系などが適材適所で使用されているが，一戸建では1成分形，中高層では2成分形といった使い分けが完全に定着している。

平成2年度の新設住宅着工戸数は，若干減少が予想され，プレハブ住宅も多少の影響を受けると考えられる。またここにきて，プレハブ住宅で圧倒的シェアを占める貸家を中心とした低層連続建住宅が減少しており，従って，シーリング材の需要も懸念される状況である。

表－4 総　数

	60	61	62	63	平成1年度上半期
(A)プレハブ住宅販売戸数	199,707	221,192	252,545	269,083	128,385
伸　び　率	10.8	14.2	6.5		0.6
(B)全着工新設住宅数	1,250,994	1,399,833	1,728,534	1,662,616	869,389
(A)／(B)　%	16.0	15.8	14.6	16.2	14.7

(注)　△は減少



図－5 プレハブ住宅階層別販売戸数

表－5　構造別販売戸数

(注) 対前年同期比の単位：%

		60年度 (戸)	対前年同期比	61年度 (戸)	対前年同期比	62年度 (戸)	対前年同期比	63年度 (戸)	対前年同期比	平成1年度上半期 (戸)	対前年同期比
木質系		34,957	105.9	38,506	110.2	44,737	116.2	48,514	108.4	24,600	104.4
	低層	34,957	105.9	38,506	110.2	44,737	116.2	48,511	108.4	24,417	103.7
	中層	－		－		－		3	－	183	6,100.0
鉄鋼系		134,960	112.3	150,877	111.8	174,039	115.4	187,365	107.7	90,261	101.4
	低層	133,423	112.7	148,316	111.2	170,178	114.7	184,872	108.6	86,943	98.9
	中層	1,537	87.5	2,561	166.6	3,861	150.8	2,493	64.6	3,318	303.6
コンクリート系		29,785	101.5	31,809	106.8	33,769	106.2	33,204	98.3	13,524	89.8
	低層	6,656	84.9	6,812	102.3	7,454	109.4	7,021	94.2	2,609	77.9
	中高層	23,129	107.6	24,997	108.1	26,315	105.3	26,183	99.5	10,915	93.2

表－6　階層別，構造別販売戸数

(注) 対前年同期比の単位：%

				60年度 (戸)	対前年同期比	61年度 (戸)	対前年同期比	62年度 (戸)	対前年同期比	63年度 (戸)	対前年同期比	平成1年度上半期 (戸)	対前年同期比
一戸建	低層	木質系		24,155	99.5	25,328	104.9	28,654	113.1	31,735	110.8	16,565	107.8
		鉄鋼系		56,437	100.8	57,051	101.1	65,975	115.6	73,343	111.2	37,893	105.4
		コンクリート系		4,147	91.1	3,680	88.7	4,968	135.0	4,078	82.1	1,812	87.7
		小計		84,739		86,059	101.6	99,597	115.7	109,156	109.6	56,270	105.4
	中層	木質系		－		－		－		3	－	183	6,100.0
		鉄鋼系		－		－		－		2,315	－	1,334	144.8
		コンクリート系		－		－		－		13	－	283	4,020.9
		小計		－		－		－		2,331	－	1,800	193.3
	一戸建計			84,739	99.9	86,059	101.6	99,597	115.7	111,487	111.9	58,070	106.9
共同建	低層	木質系		10,802	127.5	13,178	122.0	16,083	122.0	16,776	104.3	7,852	95.9
		鉄鋼系		76,986	123.4	91,265	118.5	104,203	114.2	111,529	107.0	49,050	94.4
		コンクリート系		2,482	75.5	3,132	126.2	2,486	79.4	2,943	118.4	797	62.0
		小計		90,270	121.7	107,575	119.2	122,772	114.1	131,248	106.9	57,699	93.9
	中高層	木質系		－		－		－		－		－	
		鉄鋼系		1,537	87.5	2,561	166.6	3,861	150.8	178	－	1,984	1,153.5
		コンクリート系		23,129	107.6	24,997	108.1	26,315	105.3	26,170	99.4	10,632	90.8
			ＰＣ工法	18,149	103.6	20,136	110.9	21,378	106.2	20,538	96.1	7,478	82.1
			ＨＰＣ工法	3,880	112.0	3,966	102.2	4,117	103.8	4,103	99.7	2,013	115.4
			ＲＰＣ工法	1,044	269.8	802	76.8	802	100.0	212	26.4	106	59.6
			その他工法	56	44.4	93	166.1	18	19.4	1,317	－	1,035	151.8
		小計		24,666	106.0	27,558	111.7	30,176	109.5	26,348	87.3	12,616	106.2
	共同建計			114,936	118.0	135,133	117.6	152,948	113.2	157,596	103.0	70,315	95.9
(A) 合計				199,675	109.6	221,192	110.8	252,545	114.2	269,083	106.5	128,385	100.6
(B) 全着工新設住宅数				1,251,000	110.3	1,399,000	111.8	1,728,000	123.5	1,663,000	96.2	869,389	98.9
(A) ／ (B)				16.0		15.8		14.6		16.2		14.8	

3. 建築関連業界の動向

3-1 メタルカーテンウォール

平成元年のメタルカーテンウォール（以下MCW）需要動向も一昨年に引続き，相当量の伸びがあったと推定されている。63年度のサッシ等を含めたビル建材全体の売上額は1兆3,000億円，このうちカーテンウォール関連が1,200億円で，その900億円をMCWが占めると推定され，さらにその中で日本カーテンウォール工業会会員の受注高は600億円強と見られている。62年が過去最高の422億円で，63年はさらに40%増の高伸び率で推移したことになる。また，この趨勢は平成元年にも引き継がれ推定30～40%増の800億円前後の受注額が見込まれ，今年にはいってからも各メーカーともフル操業を続けている。現状では，この勢いに対する不安要素は見られず，メーカーの受注計画も1～2年分を抱えていることから，タイムラグを考慮すればMCWの着工について向こう3～4年の急激な低下は考えにくい状勢となっている。

MCWは一般的にコンクリートカーテンウォール（以下PCCW）に比べると建設コストが高く（約1.8

～2.0倍)，中層以下のビルではPCCWの方が需要が多い。昭和50年代の建設業冬の時代に，MCWとPCCWのシェアが入れ替わったのも，コスト優先的な背景があったと見られる。また，メタル表面の汚れや腐食防止など経年的な維持管理コストもPCCWに比べ高い。しかし，軽量性は高層建築の種々の要求機能に適合し，工期短縮，耐久性に優れるといったメリットもある。そして，大きな特徴は意匠性に富む点で，特に，近年のSSG構法に見られるように，ガラスをふんだんに用いたシャープな壁面の商業ビルの建設が急増している。これらがMCWの需要増をもたらしている要因と言えよう。こうした傾向から，最近は4～5階建の中層建物，主に店舗，遊戯施設，オフィスビルなどでのMCWの採用が目立っている。

MCWに用いられるシーリング材を時代的に追うと，まずポリサルファイド系が主流をなし，次にシリコーン系2成分形が進出，それに変成シリコーン系2成分形が加わってきた経緯がある。現在，高層物件については後者2材料がポリサルファイド系にほぼ置き替わったと思われる。

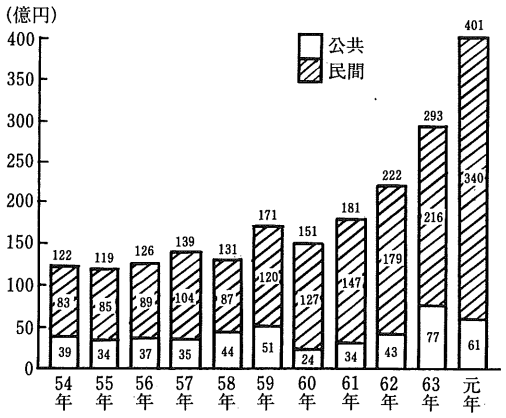
カーテンウォールにおけるシーリング材適用の過程は，シーリング技術の試行錯誤と要求性能に対する品質向上の歴史でもある。また，ある意味では，カーテンウォール目地へのシーリング材の適用に，シーリング技術全般の開発過程が集約されているとも言えるだろう。その結果がシリコーン系ならびに変成シリコーン系という高性能シーリング材をMCWに定着させ，反面，それでも拭い切れなかった不信感はシーリング材に頼らない，等圧システムを応用したオープンジョイント構法を誕生させることになった。同構法も本格的に採用され既に15年を経過，実績も着実に伸びている。海外，特に米国では，このオープンジョイント構法はゴムガスケットとの併用も含め主流になりつつある。しかし，わが国では，イニシャルコストが割高である点，工程数の増加，高温多湿な気候風土などの条件から一概には有利な構法と言い切れない。むしろ現時点では，MCW普及期に低下したシーリング材の信頼性も大方回復してきたと考えられ，適切なメンテナンス手法の確立をもってすれば，今後，シーリング構法の採用が衰退することは考えにくい。

一方，中型物件の増加などを背景に，日本カーテンウォール工業会では昭和63年5月より2年間会員ならびに学識経験者を中心に「新ファサードシステム開発委員会」を設置し，昨今の要請である高機能化，省力化に対応したビルファサードのシステム化に取組んできた。また，これとは別に，近年の周辺技術の変遷を背景に，同工業会では本年よりカーテンウォールの性能基準の見直し作業にはいった。水密・気密性，耐震性，耐風圧性などシーリングに直接関わるテーマが検討され注目される。

3-2 コンクリートカーテンウォール

コンクリートカーテンウォール（以下PCCW）の需要は，その特徴である施工単価が安い点，防水性，耐火・耐震性が良好であること，また近年では，仕上材の先付け技術が定着してきたことなどにより，大都市のホテルや再開発事業を中心とする新・増築ブームでの採用が活発で，好調に推移している。

最近の動向を材料面からみると，コンクリートの発泡化，あるいは各種工業用繊維（炭素・合成・鋼・



図－6　PCCW受注高の推移

耐アルカリガラス）の混入，また超緻密化した高強度材料などによる，薄肉軽量化の方向で，研究・開発，実用化されている。また工法的にはMCWとPCCWの中間的とも言えるフレーム工法による仕上材先付けの軽量パネルCWが使われ始めている。

PCCWと最近需要が急増しているPCF（型枠兼用材）を合わせた受注高は，昭和61年以降，毎年20％以上の伸び率で推移しており，平成元年度では455億円（対前年度比34％増）となっている。これは内需主導型経済構造への転換による建築ブームで，オフィスビル等が高層化，プレハブ化したことが要因である。なお今後も，ユーザーの外装デザインへの要求の多様化，現場労務者不足による工場生産ラインの増加などから，需要は増加が見込まれ，必然的にシーリング材の適用も増加すると思われる。

PCCWに使用されるシーリング材は，ポリサルファイド系2成分形が主流で，特に中低層物件では同材料が大半を占めている。しかし近年の耐久性，美観を最重視する傾向から，高層物件を中心に変成シリコーン系2成分形も伸長してきている。

シーリング材の耐久性では，2次シール設計の普及，また性能向上，品質の安定などの改善により，信頼を得てきている。一方オープンジョイント構法については，耐火性の問題，工程数の増加などから普及には至っていないものの，大型物件での実績も増えつつあり，今後も注目する必要があるだろう。

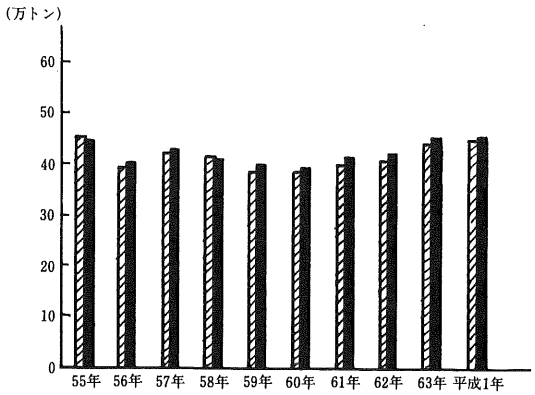
狭小な国土事情を背景とする，建築物の高層化ならびに再開発，また関西新空港をはじめとする，関西地区の大型プロジェクトの本格化，加えてゼネコン各社のPC板メーカーへの先物注文の増加などから，PCCW需要はまだ当分高水準を保つと見られる。PCCW業界では，今後も従来のCW，各種繊維補強CWに加え，電波吸収材料，超軽量骨材を使用したCWなど，耐久性・美装性・特殊機能性を兼ね備えた新素材による営業展開を図っており，また長期的には低層建築物への適用に対しても検討を加えている。なお平成2年度については，伸び率で30％以上の増加，受注額600億円を目標にする考えである。

3-3 サッシ

現在，市販サッシは，軽くて錆びにくいアルミ製が主流を占め，用途としては木造住宅用とビル用サッシに大別される。その他には，スチールサッシ（ステンレスサッシを含む）と寒冷地で多用されている樹脂（塩化ビニル）サッシがあるが，その量は，スチールサッシが生産量16,871トン，出荷量20,585トン（平成元年実績），樹脂サッシが生産量・出荷量ともに2万トン（平成元年推定）でアルミ製とはかなり差がある。

昨年のアルミサッシの需給動向は，木造住宅用が一昨年をピークとする新設住宅着工の安定横這い（166万戸，前年比1％減）から出荷量で25万3,053トン（前年比1.4％減），生産量25万5,092トン（同0.1％増）とやや頭打ちとなった。一方，ビル用サッシは好調なビル建築着工を背景に出荷量で前年比1.6％増の19万9,719トン，生産量で前年比3.1％増の19万3,666トンと共に増加を示した。また，アルミサッシ全体では生産量44万8,758トン（前年比1.4％増），出荷量45万2,772トン（前年比0.1％減）と生産，出荷とも年間ほぼ45万トン台に近い高水準の数字を堅持している。

日本サッシ協会がまとめた平成2年度および将来的展望では，建築着工の安定化から建設業界は量よ



図－7 アルミサッシ年度別生産・出荷実績

（㈳日本サッシ協会）

り質の時代に入るため，多機能，高度化の社会的ニーズが強まる，従って，木造住宅用，ビル用サッシ共にデザイン的にも性能的にも新開発商品がふえると見ている。また，内需中心の景気拡大が今後も続くとしてビル用サッシは次年度も生産・出荷量とも上昇気配と予測，木造住宅用の生産・出荷量は横這いを維持するとしてアルミサッシ全体の生産・出荷量は引続き45万トン程度の高水準を保つものとしている。

シーリング材の使用部位としては①アルミサッシのガラス回り②サッシと軀体との取り合い③サッシの裏打ち部分――に分類できる。このうち①では成形ガスケットであるグレイジングビードが大部分を占め，一部でシリコーン系1成分形が用いられている。また，②ではポリサルファイド系が主流で，一部で変成シリコーン系も用いられ，③ではブチルゴム系など経済的な製品が用いられている。

塩ビ製サッシは結露防止，断熱上のメリットからサッシ全体量からみると少ないが，寒冷地市場向けに年間約2万トン（推定）程度出荷されているようである。この場合，シーリング材としてはポリウレタン系，変成シリコーン系の各1成分形，2成分形が定着しているようである。

3-4 板ガラス

一般的に板ガラス製品は，普通板ガラス，変わり板ガラス，フロート板ガラス，みがき板ガラスの一次品とこれらを再加工した安全ガラス（合わせガラス，強化ガラス），複層ガラス等の二次品に分類されるが，用途としては建築用が60%，自動車等車輌用が30%，その他産業用が10%のシェアとなっている。

板硝子協会がまとめた平成元年の板ガラス国内出荷量は，ビル建築ブームと自動車販売の好調を反映して前年比4.3%増の3,826万9千換算箱と3年連続の増加で過去最高を示し，また輸出を合わせた総出荷量も同3.5%増の3,900万9千換算箱と3年連続の増加となった。内訳をみると，普通板・変わり板ガラスは国内が652万8千換算箱，輸出が2万4千換算箱で合計655万2千換算箱，フロート・みがき板ガラスの同合計は3,245万7千換算箱となっている。

建築分野では，新設住宅着工戸数が166万1千戸（前年比1%減）と微減ではあるものの依然高水準を維持し，また昨今の旺盛なビル建築投資に支えられたことから板ガラス一次製品は生産量3,604万4千換算箱(前年比1.7%増)，出荷量3,900万9千換算箱（前年比3.5%増）と共に好調に推移，一方自動車用を中心に広範な用途に用いられる二次品は，昨年の四輪車生産台数が1,302万6千台(前年比2.6%増)と増加したことから出荷量5,746万3千m²（前年比6.5%増），生産量5,392万8千m²（前年比4.9%増）と前年を上回る数字を示した。また，流通業界を含め板ガラス業界あげて普及キャンペーンを行なっている建築用安全ガラス(強化ガラス，合わせガラス)は，建設省の「ガラスを用いた開口部の安全設計指

表－7　板ガラス出荷実績推移　（単位：千換算箱）

年	普通板・変り板ガラス		フロート・みがき板ガラス		計	
	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)
60	7,008	98.5	27,568	104.7	34,575	103.3
61	6,711	95.8	27,616	100.2	34,327	99.3
62	6,784	101.1	28,282	102.4	35,066	102.2
63	6,990	103.0	30,714	108.6	37,706	107.5
元年	6,552	93.7	32,457	105.7	39,009	103.5

＊換算箱＝板ガラスの統計単位で，2㎜の厚みに換算して，1箱＝9.29m²で計算する。

表－8　安全ガラス出荷実績推移
（強化ガラス＋合わせガラス）　（単位：千m²）

年	建　築　用		産　業　用		計	
	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)	数　量	前年比(%)
60	934	97.0	49,729	109.0	50,663	108.7
61	1,050	112.4	49,883	100.3	50,933	100.5
62	1,406	133.9	49,721	99.7	51,127	100.4
63	1,919	136.4	52,058	104.7	53,977	105.6
元年	2,130	111.0	55,333	106.3	57,463	106.5

（板硝子協会調べ）

〔関連資料〕

年	四輪車生産台数	
	千台	前年比(%)
60	12,271	107.0
61	12,260	99.9
62	12,249	99.9
63	12,700	103.7
元年	13,026	102.6

（資料：日本自動車工業会）

針」の通達（61年5月）や，文部省推薦の「学校におけるガラスの安全設計指針」の普及，さらに㈶ベターリビングによる安全ガラスの使用を義務づけた浴室ドアなどから消費者の安全意識も高まりを見せ，前年比11％増の2,130万m²となっている。また，断熱性能，省エネ性能および結露軽減効果に優れる複層ガラスは昨年224万m²（前年比6.1％増）と前年に引き続き順調な需要増加を示し，今後もこの増加傾向は続くものと考えられる。

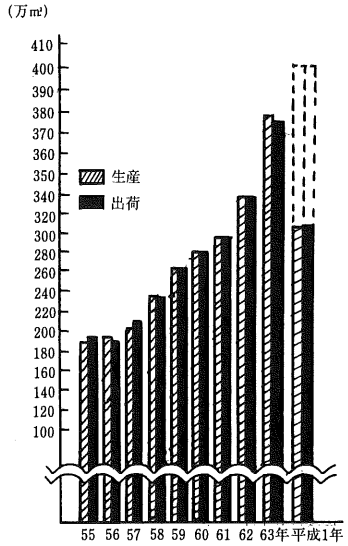
板ガラス業界では今後も社会的ニーズに応えた新しい機能をもつ板ガラス，具体的には省エネルギーおよび安全性に対するニーズの高まりに応え，複層ガラス，合わせガラス，強化ガラス等付加価値製品の普及に努力し，その伸びに期待をかけている。

窓ガラスに使用されるシーリング材は，耐震性など安全対策の面から弾性シーリング材およびグレージングビードが定着してきている。また，最近脚光を浴びているSSG構法では，ガラスとの接着性，耐久性・耐候性に優れたシリコーン系構造シーリング材が室内側のフレームとの接着固定シーリング材として用いられている。SSG構法はそのシャープなデザイン性，あるいは省エネ効果から，さらに採用の増加が確実と考えられるところからシリコーン系シーリング材の重要な用途分野となるであろう。また，大手のガラスメーカーによると今後の労務事情から，ビル用ガラス取付の省力化を考えた外装用ガラス施工機（グレージングロボ）を既に開発，将来的には施工面での機械化が進むだろうとみており，シーリング工法にも変革が要求される時代が来ると思われる。

3-5 ALCパネル

ALC（Autoclaved Lightweight Concrete）パネルは，1929年にスウェーデンで開発，工業化された軽量気泡コンクリート板で，我が国には，1962年に技術導入され，1964年から販売が開始された。現在，JIS製品としては，イトン（日本イトン工業），シポレックス（旭硝子建材・ジンポレックス販売），デュロックス（小野田エー・エル・シー），ヘーベル（旭化成建材）の5社4銘柄が市販されており，着実に需要を拡大してきている。

ALCパネルの最近の需要動向をみると，昭和62年度は生産量337万2,260m³（前年度比14.9％増），出荷量338万1,935m³（同14.6％増），昭和63年度が生産量379万6,342m³（同12.6％増），出荷量377万7,510m³（同11.7％増）と2桁台の高伸び率を示した。さらに平成元年度上半期（4月～9月）も生産量201万5,669m³（前年同期比8.9％増），出荷量201万128m³（同9.4％増）と半期だけで200万m³を越える好調を示し，4月以降（12月まで）生産量・出荷量とも30万m³台の高水準で推移しているところから，通年では400万m³を越えることが確実視されている。このALCパネルの著しい需要増の要因は，近年の好景気による建築ブームでALCパネルの主な需要分野である低中層住宅（戸建住宅，集合住宅，店舗併用住宅等）の着工が順調な点にあり，ALCパネルの軽量性（絶乾比重0.5），断熱性（熱伝導率約0.1Kcal／mh°C），耐火性といった諸特性がユーザー層に広く認識され，ニーズに適合しているためと考えられる。また，メ



図－8　ALCパネル生産・出荷統計

（通産省調べ　元年度は4月～12月の実績，点線は推定）

ーカー各社も製品開発に力を入れ，タイル調，ストライプ調といった意匠性に優れた製品による高級化，斜壁パネル，フリーコーナーパネル，一体成型大型パネルなど品種の多様化さらに，建物内部から外壁の施工を可能とする工法面の開発なども需要増に大きく貢献している。さらに20余年にわたる実績により耐火建築材料として住宅金融公庫の融資対象になっていることも需要増の要因に挙げられる。これらのことから近年高層ビルや工場などにもALCパネルの適用範囲が拡大しており，全体的な需要増をもたらしていると言える。ALC業界では，これらの需要増が好況を背景とした一時的なものではなく，日本の建築事情にマッチした基本的要因によるものとして今後も高水準の伸び率を維持して行くものと見ている。

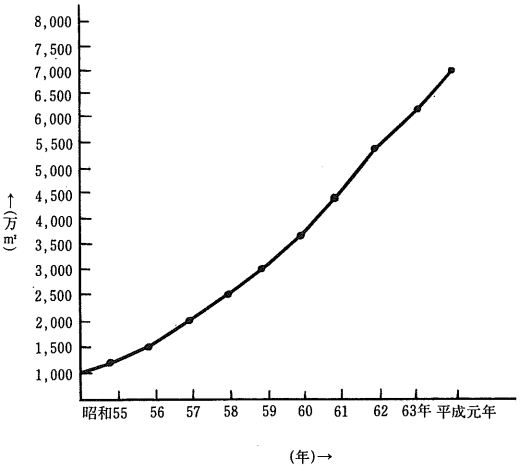
ALCパネルは主に外壁，屋根，床，間仕切りさらに最近ではスロープ部にも使用されているが，外壁用途が全体の約70%を占めており，最も多い。ALC目地に使用されるシーリング材は，作業性やコストの面で優れているアクリル系エマルジョンタイプが全体の約90%を占めており，他にはスライド工法など用途条件によってポリウレタン系，変成シリコーン系も実績をあげてきている。

3-6 サイディングボード

サイディングボードは，住宅など低層建築用の外壁パネルの一種で，比較的新しい素材だが，大型のプレキャストコンクリートパネルなどとは区別される。材質により窯業系，金属系，木質系に分類され，現在のところ，窯業系がその主流となっている。

つい最近まで一戸建住宅の外壁仕上げの多くは，ラスモルタル塗が大半を占めていた。これは，1923年（大正12年）の関東大震災で，木造板ばりの家屋が多数焼失したことが契機となっている。しかしその後，ひび割れや品質の不安定さなどモルタル塗への不満や工期短縮への強い要望から昭和40年代より軽量で施工しやすい金属系サイディングが登場した。しかし，消防法上の制約等があり，モルタル壁等の改修工事に使用されることが多く新築住宅への採用が少なかった。そこで現れたのが窯業系防火サイディングである。耐久性，作業性などに優れる新たな外壁材として注目を集め，その使用量は現在まで急激に伸びている。特に，新設住宅ではそれまでの主流であったモルタル塗による湿式壁と完全に置き替わったと推測されている。

窯業系乾式防火サイディングボードの需要動向は，日本乾式防火サイディング協会の調べによると，出荷ベースで昭和60年が3,695万9,000m²（前年比26.8%増），61年4,427万1,000m²（同19.8%増），62年5,382万8,000m²（同21.6%増），63年6,901万9,000m²（同28.2%増）と急速に需要を伸ばしている。さらに平成元年の出荷量も順調に伸びて7,542万8,000m²（同9.3%増）となり5年間で倍増の急成長を示した。その要因としては，モルタル塗の問題点，即ち①収縮や振動によるひび割れや剝離が生じ易い②仕上げ精度の均質化が難しい③防火上塗厚2cmを確保しなければならないなど施工手間が掛かる——等に対してサイディングボードは①プレハブ化製品であるため品質，寸法精度が安定②耐久性に優れ不規則なひび割れ等が生じない③断熱性に優れる④施工性に優れ工期短縮が可能——等現代の建築ニーズにマッチし



図－9　乾式サイディングの伸び

（日本乾式防火サイディング協会）

た特徴を有している点にある。従ってサイディング業界の伸長は今後当分続くと思われ，それに伴いシーリング材の需要も伸びてゆくものと考えられる。

サイディング住宅でシーリング材を使用する部位は，ボード同志のジョイント部，サッシ回り，玄関ドア回り，幕板の取合部，換気フード回りなど多数にのぼる。使用されるシーリング材は，低モジュラスタイプの1成分形が圧倒的でありポリウレタン系，変成シリコーン系が大部分を占めるが，施工業者の専門化が進むにつれて，特に北海道地区では2成分形の使用も増えている。また，その適用に当たってのシーリング材の流通形式は，ボードメーカーが専門シーリング材をボードとセットしたり，製品を指定，あるいは施工店に任せるなど様々である。しかし，サイディング住宅自体の歴史がまだ新しく，施工面でも成長過程にある現在，シーリング材に関する施工技術上のトラブルやクレームの発生が少なくないことも事実である。

こうした背景から，シーリング材メーカーとサイディングボードメーカーが協力して施工技術面での啓蒙活動に努めており，当工業会も日本乾式防火サイディング協会と共同で技術資料の作成や普及活動を行なっている。また，当工業会主催のシーリング管理士およびシーリング技術管理士検定講習会では昭和63年度から講習カリキュラムに「サイディング材とシーリング」を新設した。

4. メンテナンス用途のシーリング動向

昨今の新築部門の好調からやや影が薄くなった感もあるが，建物外壁の改・補修需要は，建築工事全体の中でも近年特に目立って増加している分野である。建物自体の寿命，即ち，コンクリートや鉄骨など構造体として主要をなす無機材料に比べ，シーリング材などの有機材料の耐用年数が短いのは宿命とも言え，必然的に劣化部に対しては改・補修工事が適用されることになる。そして，この適用機会は，過去から現在に至るまでの建築ストックが増加すればするほど増大する傾向にあり，今後益々需要を拡大する分野と言えよう。

これら建物の改・補修工事には，シーリング材の打替などの再施工も当然含まれてくる。シーリング材自体は，およそ10〜15年でその性能寿命をまっとうすると見られ(もちろん例外も多い)，改修工事もこの周期をめやすに行なわれることになる。机上の計算では，現在改修期にはいっているものは昭和50年代中期に施工されたシーリング材であり，これに先立ってポリサルファイド系が登場した昭和30年代後期に施工された目地は2度目の改修期を迎えることになる。シーリング材の改・補修需要は，現状ではまだ出荷量全体の一部を占めるに過ぎないであろう。しかし，上述の点に加え，昭和40年代以降の建物の軽量化，柔構造化，高層化を背景にもつ建設ラッシュ，そして，その時期に急速に拡大普及したシーリング材の発展過程を考慮すると，潜在的改修需要の膨大さは図り知れないものがある。

改・補修の対象となる建物は，超高層から低・中層のRC，PC建物など様々である。また，シーリング工事は全面的再施工となるケースが多く，使用量も多くを占める。改修もシーリングのみを目的とするのではなく，建物全体の保全計画に則って，外壁面の塗替工事に併せ，外足場を有効利用して行なわれることが多い。もちろん，サッシの取換え，設備機器の交換，漏水に伴う部分修繕等にシーリング材が用いられることも多いが，大量使用されるケースは稀である。

使用材料もケースバイケースで1成分形，2成分形が適宜用いられ，シリコーン系マスチック型など油性系の打替に多用されるものもあるが，改修専用のシーリング材というものは存在しない。一方，工具については，旧シーリング材の斫り機など自動化や省力タイプが各種開発され，それなりの評価も得られているようである。

外壁目地シーリングの改修工法として現在行なわれているのは①再充填方式②拡幅再充填方式③ブリッジ方式——の3種に大別できる。しかし，それぞ

れが満足のいく工法かと言うと，騒音問題や塵埃発生，経年後の再補修時の対応，被着体の問題など必ずしも万全とは言い切れない。そこで，最近は，意匠性も考慮し外装の一新を図るため壁面全体を包み込んでしまうパネル構法（クラッディング構法）が出現している。ただし，基本的に2重壁となるため水密性に対する要求がそれほどシビアではなくノンシール方式によることが多い。

さて，改修需要の増加に伴い，その経済的・効果的な実施を図るため官・民種々の機関で工法・仕様の確立が図られている。中でも，建設省が進めた総プロ活動では昭和61年にシーリング防水の劣化診断，補修・交換，総合耐久設計の各指針が作成され，シーリング材の耐久設計，管理について一応のめやすが示され注目を集めた。引続き62年度からは官民連帯共同研究として総プロ成果を継続する形で「シーリング防水改修設計・施工指針(案)」の作成作業が行なわれた。建設省建築研究所と当工業会との共同研究により一応の作業は昨年終了し，本年より本格普及活動にはいる予定である。研究の焦点でもある改修シーリング材の耐用年数推定式など，種々の成果について，その効果，運用が期待される。

5. ルートセールス分野でのシーリング材

シーリング工事専門業者以外のいわゆるルートセールス分野でも，シーリング材の需要が伸びている。特に最近急増しているサイディングボードなどの住宅の目地シーリングでは，一般工務店が建設工事を一貫して請け負うことがほとんどで，従来からの下請けである大工，左官業，吹付業，板金業，塗装業，内装工事業者が本業に伴う簡単なシーリング工事を行なってきたことで増加している。

使用されるシーリング材は，使用者が専門家でないことから，1成分形がほとんどで，種別では，ポリウレタン系，変成シリコーン系，シリコーン系の伸びが目立っている。

※工務店等関連工事ルート

工務店の場合，浴槽や台所などの内装シーリング工事は，ほとんど外注し，新築工事1件当り4本前後を使用している。また，最近増加してきているサイディングボード住宅の目地シーリングの場合は，サイディング業者に発注するのがほとんどで，一般標準住宅（建築面積70～100m²，外壁100～150m²）で，10～30本を使用し，これらを合わせて月間100本前後を使用している。

板金，塗装業でも簡単なシーリング工事は自前で施工する事がほとんどで，シーリング材は工事の必携品となっている。シーリング材の種類は，性能，価格，入手の容易さなどから，シリコーン系，変成シリコーン系，ポリウレタン系，ブチルゴム系が使われている。

配管設備関係，簡易補修を手掛ける営繕業者も，シーリング材を使うケースが多く，使用されるシーリング材は，カートリッジタイプのシリコーン系，変成シリコーン系が多い。

※建築金物・機械工具関係

建築金物分野でのシーリング材は，メーカー，代理店，もしくは1次問屋から建築金物問屋へ，そして建築金物店，建材店などへ流れ，全体の取り扱い量もシリコーン系，変成シリコーン系，ポリウレタン系を中心に，年々増加している。正確な数字の把握は困難であるが，中堅クラスの建築金物問屋で，月間10,000本程度の需要と見られる。

機械工具関係では，主に工具の総合問屋がシーリ

ング材を取扱っており，売上げのほとんどがシリコーン系１成分形のカートリッジタイプである。

※DIYルート

1977年(昭和52年)，わが国で初めて本格的ホームセンターが誕生して以来，DIY産業は，国民生活の向上，住宅の量的拡大，余暇生活時間の延長等によってマーケットを拡大，今や店舗数1,600店，年間取扱い高１兆円という巨大市場を形成している。

シーリング材はホームセンターでは，塗料・接着剤コーナーで扱われている。ちなみに日本DIY協会がDIY店，ホームセンター企業424社を対象に行なった調査報告書によると接着剤・塗料の取扱い率は100%で，年間販売額は１億6,800万円に昇る。その内，シーリング材の占める割合は４～５%程度と思われる。売上構成比は4.5%で，売場構成比4.7%，商品回収率5.1%，前年伸長率9.6%となっている。また，顧客特性はプロフェッショナル12%，アマチュア88%，男性客54%，女性客46%となっており，近年は女性客の擡頭が目立ってきている。

この様な傾向，即ち購入者の大部分が素人であり，それも女性が増えていることから業界では今後重視すべき顧客層として専業主婦・若年層にターゲットを絞っている。従って製品のネーミングやパッケージ，サイズの工夫，マニュアル等のヴィジュアル化が活発化しているのが最近の傾向である。その点で特にシーリング材の場合は，製品特性や使い方，メインテナンス方法などをより簡単かつ正確にわかるようにする必要があるようだ。

わが国DIY産業興隆の背景には㈳日本DIY協会を中心とする，メーカーや販売店，ユーザーに対する啓蒙活動がある。例えば，DIYアドバイザーの養成（現在2,037名），DIYショーの開催（大阪・東京他），各種調査事業，DIYスクールの実施などユーザーとの結び付きを強化するための諸事業が運営され，内外とも充実を見せている。

現在，わが国は米国・西独と並んで世界３大DIY国の１つに数えられているが，規模としては米国の1/10以下の売上げでしかない。しかし業界でも経営組織の近代化，チェーン化，多店化，専業化などが推進され，近代的業態としての基盤作りが着々と進められている。さらに補修需要の増加や慢性的な専門技能労働者不足による人件費の高騰もあり，当分はDIY業界における建材需要は伸びるものと思われる。

なお，DIY分野で主に用いられるシーリング材は以下の各種である。

〈シリコーン系〉 DIY関連で販売されるシーリング材の大半を占めている。浴槽，流し台などの水回りのほか，例えば電気接続部分などにも使われているようである。素材イメージとともに使い勝手の良さ

表－９　商品分野別取扱い状況　全体平均

商品群	取扱いの有無	年間販売額	売上構成比	売場構成比	商品回転率	前年比伸長率
	%	百万円	%	%	回	%
1 木材・建材	97.9	208	4.8	6.8	5.3	9.9
2 道具・工具・電動工具	100.0	258	6.7	6.2	4.0	10.6
3 建築金物	96.8	137	3.8	4.4	3.9	10.6
4 塗料・接着剤	100.0	168	4.5	4.7	5.1	9.6
5 住設・配管・水道・ガス	96.8	131	2.5	3.0	4.9	9.7
6 台所・浴用品	89.5	179	4.3	4.2	8.3	14.3
7 組立て収納用品	93.7	191	3.6	4.1	7.0	12.4
8 インテリア	97.9	315	6.7	7.7	6.1	14.5
9 エクステリア	96.8	210	5.5	8.9	8.5	13.5
10 園芸（生もの，種苗）	95.8	107	2.5	4.0	12.4	12.5
11 園芸用品	100.0	301	8.4	8.4	6.9	9.9
12 ペット	98.9	144	3.5	3.3	8.8	16.2
13 家電製品	54.7		4.0	2.5	5.5	21.8
14 電器・照明	96.8	296	5.9	4.9	5.7	16.9
15 ハウスサプライ	82.1	179	3.0	2.2	8.0	37.3
16 カー用品・自転車用品	95.8	534	11.4	10.0	5.7	12.1
17 レジャー・スポーツ・健康器具・ホビー・玩具	72.6	279	3.6	3.4	6.0	19.6
18 サービス業務	60.0	70	1.3	0.8	14.8	26.3
19 日用雑貨	98.9	511	9.5	7.1	10.1	16.1
20 その他	85.3	373	4.5	3.4	6.4	15.3

日本DIY協会調べ（DIY店，ホームセンター企業 424社対象）

がその人気を呼んでいるようだ。

〈油性コーキング材〉 一般家庭用充填剤の主流だった油性系も最近では他品種の攻勢もあり人気を落としつつあるのが現状。屋根，外壁など屋外の補修に用いられているが，内部が硬化せず汚れ易いことなどから家庭用としては敬遠されてきている。

〈アクリル系〉 相対的に安価であり，水性材料としての使い易さをメリットとして室内の壁目地や簡易補修に手軽に使用されているようだ。防音グレードなども登場しておりインテリア用途などにも適用されている。

〈その他のシーリング材〉 上記以外では，ポリウレタン系，変成シリコーン系なども徐々に進出してきているようだが，例えば，シリコーン系と差別化できるほどのユーザーに対するアピール度はまだないようだ。

●営業品目
①目地材
②断熱材
③防音材
④バックアップ材
⑤機密材
⑥防振シート
⑦養生マット
⑧結露防止マット
⑨接着シート
⑩ガスケット各種

sinwa
株式会社 新和商会
特殊な加工技術を蓄積した創造集団
常に一流サービスを提供する企業

本　社　東京都荒川区西日暮里２丁目24番14号
TEL. 03(803)1411（代表）
第一工場　埼玉県浦和市西堀５－９－31
TEL. 048(864)1751(代表)
第二工場　埼玉県浦和市栄和６－５－10
TEL. 048(857)1081(代表)

●委員会報告●

"活発なる工業会づくり"をモットーに

●総務委員会●

吹き続けるアゲインストの風が一寸その風速を増し始めた道を時折差す薄日にほのかな暖かさを感じつつ，小さな体を精一杯動かしている姿，これがこの一年の総務委員会活動イメージです。

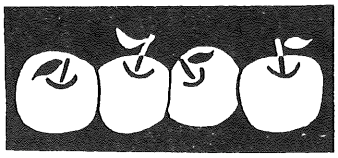
"活発なる工業会づくり"と云うモットー実現を目指し，その潤滑油の役割を果たすべくこの一年重点的に活動して来た内容は概略次のとおりです。いずれの内容もそれぞれのゴールは遠くその歩みを止めることは許されません。なお一層のご支援をいただきたくお願いする次第です。

①財政の健全化と強化

収入固定下の健全性追求の要点は合理的配分と使用に当たっての節約であり，現状かかる観点から合格点をいただいております。一方，旺盛なる活動期待を中期財政面でがっちり裏付ける事が求められますと，現状の延長では決して万全ではない事もご承知の方が多いと思います。今日シーリングメーカーの活動フロンティアが，広範囲に且つ多様化している実態にあることを現工業会会員数並びに構成内容面に投射してみますと，少しづつですがギャップが生じて来た様に思われます。ぜひともこのギャップ解消に現会員総力あげて取組み工業会の質量パワーアップと財政強化を実現したいと考えております。

②活動・体制の充実

外部諸団体の内，今後最も緊密なるコンタクトが求められている通産省窯業建材課，並びに日本シーリング工事業協同組合連合会など流通諸団体との新たなるパイプ作り並びに交流円滑化に努め，トップ間協議の定期開催など日シ工丸の航海運行に欠かせぬ大所高所からの指導・助言をいただける体制を構築いたしました。



一方会員からの付託を受けた各活動執行機関である本部各委員会と決定機関である理事会との関係機能強化を，スピードアップとレベルアップ両面に留意して努めて来ました。

年度末を迎え役員任期満了に伴う改選を実施し，新たなる陣容を以って新年度に臨むことになっております。

③会員間コミュニケーションの向上

今般当工業会会員名簿を初めて発行（元年７月）し会員内外に配布いたしました。各位のご協力の成果結集ではありましたが，常時使用していただく為には今後改訂する余地大と考えておりますので出来る限り小刻みに内容改訂に取組みたいと思います。

受動的な業務姿勢になりがちではありますが本部・支部間のコミュニケーション並びに会員特に賛助会員各位とのコンタクトは絶対量において少なく，せいぜい後手に廻った連絡・接触にとどまっておりますので期待に応えられる様改善努力いたしたいと思っております。

概略以上の活動と考えで経過したこの一年でありましたが，今後も諸機関の活動の潤滑油役を，独り善がりに陥ることなく積極的に担当してまいります。会員各位のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

●委員会報告●

平成元年度技術委員会活動概要の報告

●技術委員会●

平成元年度の技術委員会活動はJIS A 5758「建築用シーリング材」の改正作業とASC国際会議参加準備に精力の大半を費やしたと言っても過言ではないでしょう。もちろん上記以外にも多くのテーマを抱えており，これらに対応するため委員一同(24名)自社の仕事並に（あるいはそれ以上？）頑張ったと思います。この誌上を借りて委員の皆様に厚く御礼を申し上げます。さて，前置きが長くなりましたが，技術委員会活動の概要について報告させていただきます。

1．JIS A 5758「建築用シーリング材」改正原案作成作業

平成元年8月の第1回本委員会開催以来，東京工業大学小池教授を主査として本委員会2回，小委員会4回，工業会の準備委員会8回を経て，平成2年3月末日に委嘱元である日本規格協会へ改正原案を提出した。主な改正点および検討項目は次の通り。

(1)**米国生まれの製品**　変成ポリサルファイド系シーリング材1成分形の追加

(2)**国際化への整合**　単位を従来単位(例．kgf/cm²)から国際単位系（SI）（例．Kpa，N/cm²）に変更。

(3)**生産・流通の合理化**　「反応硬化2成分形には着色剤等を別成分にしている場合がある」を備考として追加。(カラートナーの別梱包を正式に認知)

(4)**国際化への整合**　引張接着性の試験体としてＩＳＯ形（バットジョイント形，付合せ目地形）の追加。

(5)**国際化への整合**　横向きスランプ試験の追加。限界定規の新設。

(6)**国際化への整合**　各温度の精度を±3℃から±2℃に変更。

(7)**判定の合理化および国際化への整合努力**　前回，改正時に持ち越された耐久性試験後の合理的判定方法について検討を重ねたが，現行通りとなった。ただし，解説では「金属カーテンウォールなどの温度ムーブメントの大きい目地を用途とするシーリング防水の設計時には，耐久性試験工程終了後の引張接着性試験結果を参考とすることが望ましい。」としている。

(8)**標準化への努力**　汚染性については，解説に参考として掲載されている目地周辺の汚染性試験および今回新たにシーリング材表面の汚染性試験に対し，検討されたが，標準化に至らず現行通りとした。

(9)**表示の合理化，明確化**　表示の内容を全面的に見直し，容器に表示する項目を具体的に明記した。

なお，この改正JIS規格は日本工業標準調査会建築部会を経て，平成2年末から平成3年春までの間に発行される見通しである。

2．ASC国際会議参加への準備

ASCからの当工業会への参加要請に対し，当工業会では建築用シーリング材の分野での参加を昨年7月に決定した。以来，参加メンバー（計9社）をはじめとする役割分担を選定し，「日本における建築用シーリング材の現状と展望」をテーマとする英文レポート（コンポジット・ペーパー）を作成，ASCへ提出するところまで進捗した。この国際会議は10月28～31日まで米国ワシントンD.C.で開催され，当工業会も日本接着剤工業会と同様に参加ツアーを計画している。会員はじめ多くの皆様方の参加を期待したい。なお，会議の概要は「シーリングニュース37号」で紹介されているので参照されたい。

3．消防法の改正に伴う対応検討

5月23日施行の改正消防法で，建築用シーリング材の扱いが注目されていたが，ノンサグタイプの殆どは問題ないとの判断となった。当工業会では検討の結果，各メーカーごとデーター登録など独自に対応することになった。

4．技術勉強会の開催

昨年度の「フッ素樹脂塗装」「サイディングとシーリング」に続いて「土木用シーリング材」をテーマとして，第2回技術勉強会を開催した。このテーマは会員各位へのアンケートにより，圧倒的多数で選定されたもので，会員・賛助会員ら約100名が参加して熱心に聴講した。(シーリングニュース38号参照)

5．その他下記のワーキンググループ活動を進めた

1）官公庁WG　2）視聴覚WG　3）試験法WG　4）防カビWG　5）その他，関連諸団体とのコミュニケーション強化を目的としたWG活動。

以上をもって報告と致します。

●委員会報告●

4つの課題に取り組んだ1年

●調査委員会●

元号が改まった節目の平成元年度に調査委員長の大役を仰せつかり何かととまどいながら事に当たって来た1年でした。その間の委員会メンバー諸兄の多大な援助と会員会社各位のご協力に深く感謝申し上げます。

さて，調査委員会では平成元年度の事業計画として次の四つの課題を掲げて取り組んでまいりました。

(1)製品基材別生産量の調査，集計。

(2)消費税対策定着化の推進。

(3)基材別分科会の活性化推進。

(4)シーリング材積算設計条件の適正化。

この内(3)の課題については実行し得ませんでしたので(1)(2)(4)につきまして以下順を追って活動内容をご報告申し上げます。

まず，(1)の製品基材別生産量の調査集計につきましては，従来シーリング工業会内で実施していましたが，より信頼性，正確性を高める事と，業界全体の地位向上をはかる事を目的に通産省窯業建材課と話し合いを持ち，平成元年7月から通産省主導のもとに実施するように改変いたしました。又統計内容も，従来の生産量統計のみ，それも年1回の集計から生産，(購入) 出荷，在庫量の統計，又三ケ月単位での集計等会員各位のご協力を頂いて充実をはかってまいりました。市場動向の的確，迅速な把握という点では少しは皆様方のお役に立てたのではないかと確信いたしております。

今後の課題としては，通産省の強い要請でもある出荷金額統計，生産設備，輸出入関係調査などじっくり皆様方と話し合って前向きに進めてゆきたいと考えております。

次に(2)の消費税対策定着化の推進につきましては，皆様ご存知の通り平成元年4月1日より消費税が施行されました。結論から申しますと混乱もなく順調に転嫁されている状況であると思います。これは偏えに前任の調査委員長を始めシーリング工業会全体が一丸となって消費税対策特別委員会を結成され対処された賜と感謝申し上げます。

最後に(4)のシーリング材積算設計条件の適正化についてですが，最近の人手不足による人件費の高騰，原材料価格のアップ，物流コストの上昇など急激な市場環境の変化を考えますと，シーリング事業活動もますます厳しくなってくるものと予想されます。業界の健全な発展の為には会員会社のより一層の経営努力とユーザー業界や関連諸団体に深いご理解を頂ける活動を継続して行なってゆくことが大切と考えます。

以上，平成元年度調査委員会の活動報告をさせて頂きましたが，重ねてこの1年間の委員会メンバー諸兄，会員各位の多大なご協力に深く感謝し御礼申し上げます。

●委員会報告●

受講者のための講習会日程変更を

●検定委員会●

検定委員会としては例年の如く，管理士養成講習の実施が主業務であり，現在合格者の決定を終了し，小休止といったところです。

さて，本年は管理士が第13回目，技術管理士が第11回目を数えることになります。昨年，応募者が過去最高となったことを報告しましたが，本年はそれを上廻る約200名近くの予想し得なかった応募者があり，委員会としては会場の都合上，可能な限りの人数に絞らさせていただきました。応募は締切日迄で，すでに予定人員を越えましたが，申し込み先着順のため，お断りした方については誠に申し訳なく，この紙面を借りましてお詫び申し上げます。

本年の最終受講者数は，管理士53名，技術管理士100名，計153名となりました。ここで受講者の概要について，触れてみたいと思います。管理士受講者の地域別数は，北海道・3人，東北・3人，関東・17人，中部・9人，関西・13人，中国・5人，四国・3人，計53人です。九州がゼロでしたが，ほぼ全国からの応募がありました。技術管理士の受講者は年々様変わりをみせておりますが，本年は特に日シ工会員メンバー以外の応募が多く，サッシメーカー（吉田工業，三協アルミニウム工業，日本アルミニウム建材，トーヨーサッシ，日本建鉄・敬称略）の方が計34名にのぼり，他にガラスメーカー，プレハブメーカーから3名が参加しています。サッシメーカーの1社では全国の事業所より19名の応募があり，この管理士講習を社内教育（研修会）の場として定着化させたものと思われます。部材メーカー，プレハブメーカーの方々の応募増は，シーリング材の重要性を位置付けるものと判断出来，我々日シ工としては喜ばしいことと考えますが，限りなく増加していくことは年1回の開催を2回にするなどの根本的検討が必要になるかも知れません。

さて，今年度の講習カリキュラムで大きく変わった点として，従来の3泊4日を4泊5日にしたことが上げられます。これは例年，地方特に北海道，九州，四国などの遠隔の人が初日午後からのスタートに間に合わないため，前日より熱海などに宿泊，また最終日の終了解散後その日のうちに帰れなく，もう一泊といった状況を考慮したものです。初日，19：30からのスタートとし，最終日は12：00終了として，カリキュラムの時間割も大幅に変えました。受講生の評判も良く，来年も同様に実施すべく考えております。

この他については，(1)開催日を前年の1月から再び2月に変更（これは，正月明けすぐに講習となると，受講生の心境として正月にゆっくり酒が飲めない，との苦言があったからです）(2)カリキュラムの配点変更(3)新カリキュラム「サイディング材とシーリング」の設置(4)ゼネコン外部講師の追加――などが行われ，それぞれ十分な評価が得られたものと自負しています。

平成2年度については，我々が最も応募を願っている管理士受講方々の所属会社を会員とする日シ工連が今春にも連合会法人化組織として全国統一されると聞き及んでおります。組織の近代化に伴う社員皆様の研鑽のため，数多くの応募があることを期待している次第です。

最後に，今年度の合格状況をお知らせします。受検者数は合計153名，（管理士53名，技術管理士100名），合格者は計120名（管理士39名→74％，技術管理士81名→81％，平均78.4％）で近年最高の合格率となりました。

以上

日シ工連が法人化
創立総会挙行
初代会長に山本氏

日シ工連設立総会風景

日本シーリング工事業協同組合連合会の創立総会が3月2日午後1時30分より東京駅・八重洲口のホテル国際観光で開催され，全国九地区十協組を傘下会員とする法人組織として新発足することが決定した。日本シーリング工事業団体連合会（山本勇会長）が発展的に解散したもので，初代会長には山本勇氏（アルファ産業）が就任した。

当日は，午前11時30分より日シ工連の解散総会が行われ，引続き午後1時30分より新連合会創立総会が開催された。創立総会では，まず，設立発起人を代表して東日本シーリング工事業協同組合・苅谷勝理事長が「われわれ中小の専門工事業者にとっては人材確保，コストの上昇など周辺環境は相変らず厳しいものがある。従来より，技術力の強化，経営体質の改善等を目標として，任意団体ながら日シ工連での組織活動を行ってきたが，事業のより効果的な運営，さらに，盛上る建設業の構造改善に向けて全国レベルでの一層の組織強化が必要となってきた。ここにきて，工連傘下の地域協議会も法人化が進み，団結への足固めが整ったわけで，発起人をはじめ皆様方の尽力に謝意を表したい」と挨拶，続いて，関西シーリング工事業協同組合・竹田晋吾理事長を議長に選出し議案審議に移った。

議事は①定款制定②初年度および次年度の事業計画決定③同収支予算決定④経費の賦課徴収方法決定――など13議案について慎重審議が行われ，全件とも原案通りに可決，承認，役員選挙では，山本勇氏を初代会長とする執行部体制を決定した。

審議終了後，山本会長が「15年間の活動を経て，ようやくひとつの大きな目標に達した。これからは，さらに厳しく組織活動の真価が問われることになるが，全会員一致団結しての事業展開で邁進したい」と挨拶，続いて，来賓の全国中小企業団体中央会・大竹和正氏が今後の活動に期待の言葉を寄せ祝辞とし，総会を終了した。

休憩後の記念祝賀会では，まず，山本会長が「傘下十地区協の法人化により新連合会の4月1日発足も目前となった。全会員で活路を開き将来の発展に繋げたい。目標を定め，旧工連の経験を生かし微力ながら尽力する所存であり，皆様方の倍旧のご支援を願いたい」と挨拶，続いて，来賓を代表して衆議院議員建設委員会理事・吉井光照氏の祝辞のあと，当工業会・大谷浩造会長も「21世紀に向け模索の90年代と言われる今日，組合連合会という力強い組織の形成に大いに敬意を表したい」と祝福，さらに，全国防水工事業団体連合会・岩崎一会長らからも新組織結成が称えられ，同会顧問・加藤正守千葉大学助教授の発声で乾杯，来賓多数を交え，新たな一歩を印すにふさわしい盛大な懇親の場となった。

改正JIS原案を提出
来春公布へ

昨年8月より実質改正作業を開始したJIS A 5758「建築用シーリング材」の改正原案がこのほどまとまり，3月30日付で委嘱元の日本規格協会に提出された。

主な改正点ならびに検討項目については，本誌32頁「技術委員会報告」，既刊の“シーリングニュース38”に紹介しているので参照さ

れたい。

今後の見通しは，日本工業標準調査会建築部会での審査，GATTへの照会等を経て，本年末から来春の公布が見込まれている。

JASS8　改定作業開始
篠沢・榎本両氏を派遣

JASS 8（日本建築学会建築工事標準仕様書・防水工事）の改定作業がいよいよスタートする。作業は，平成2年，3年の2年間を予定しており，現行JASS 8(1986年版）から5年ぶりの改定となる。

シーリング工事（3節）については3月に改正原案作成作業を終え通産省建築部会へ答申中のJIS A 5758「建築用シーリング材」での改正点の反映なども見込まれる。

建築学会では，現在，小委員会の専門委員を選任している段階で，当工業会からは，学会側の“できるだけ若手メンバーを”の意向も含め技術委員・篠沢一義氏（東芝シリコーン），同・榎本教良氏（サンスター技研）の両氏の参加を内定している。

使いやすさと信頼性の調和　タイルメントの充てん剤

S-100（シリコーン系）　S-200（変成シリコーン系）　S-300（ウレタン系）　S-500（アクリル系）　S-700（油性系）

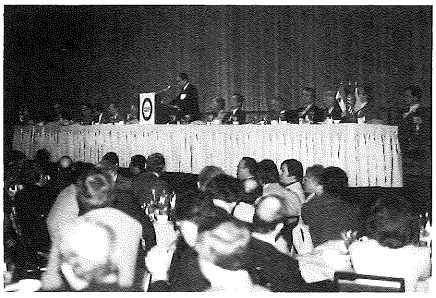
S-101（シリコーン系）　S-202LM（変成シリコーン系）　S-303LM（ウレタン系）　S-600（ブチルゴム系）　アクリルコーク ジャンボ（アクリル系）

株式会社 タイルメント

本社／〒453 名古屋市中村区宿跡町1の58　TEL(052)412-5300㈹　FAX(052)411-3516

■東京支店 ■大阪支店 ■名古屋支店 ■仙台営業所 ■福岡営業所 ■広島営業所 ■札幌出張所 ■横浜出張所 ■北陸出張所

ASC国際会議
参加準備順調に進む
コンポ・ペーパーを提出



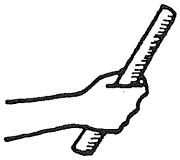
初参加した1984年ASC国際会議

当工業会では，現在，今秋10月28日から31日までの4日間，米国ワシントンD. C.で開催されるASC国際会議への参加準備を進めており，このほど同会議での基礎資料となる英文レポート（コンポジット・ペーパー）を作成しASC事務局へ送付した。

同会議の建築用シーリング材部門のメインテーマは“建築用シーリング材の現状と展望（将来的需要・技術予測）”であり，欧州，米国，日本でのそれらを比較し，類似点・相違点を明確にすることを目的のひとつとしている。今回送付したコンポジット・ペーパーも，その比較検討の基礎資料とするためにASCが欧州，米国，そして日本に同趣旨の質問で回答を求めたもので，同会議の開催前に米国の専門誌“Adhesives Age”に掲載され会議の資料となる模様。なお，コンポジット・ペーパーの作成は，チームリーダー・広石真孝氏（横浜ゴム），エディター・山内雅夫氏（カネボウ・NSC）を中心に行なわれた。また，引続き，会議での発表論文・スライド等資料作成を行なう予定であるが，細目に渡る条件等についてASCからの連絡待ちで，発表論文の概略文，JSIA（日シ工）の正式出席メンバーも事前に提出することとなっている。一応現段階ではチームリーダー兼論文発表者・広石真孝氏，論文編集者（エディター）・山内雅夫氏を決定したほか，日接工同様に当工業会からも平野英作副会長を団長とする独自のツアーを企画しているので，会員・非会員を問わず振ってご参加願いたい。参考までにASCへ提出したコンポジット・ペーパーの目次(contents)を以下に紹介する。

CONTENTS

1. Present Situation and the Prospect of Construction Sealants (Japan Sealant Industry Association) 1) Preface 2) Current major markets, Types of sealants being used, Saled forecast for 1995 a. Present sealant demand by kind and use b. Sales forecast for sealants by kind and use in 1995 3) Technical reasons why these materials are being used a. Raw material availability b. Safety and environmental considerations c. Handling characteristics d. Method of application e. Cure conditions f. Ultimate physical properties of each sealants g. Guarantee h. Tradition i. Worker skill level j. Cost performance 4) Considerations for estimating the life of the sealing a. Progress of preparing “the life estimating formula for sealing” b. Explanation of “life estimating formula for sealing” c. Utilization as table of right material in right place in sealing d. Application to life cycle cost and repair work 5) Current technical problems preventing a wider use of the existing sealant systems 6) Changes in product technology anticipated by 1995 a. Improvement of polymers b. New curing system c. New safety and environmental laws d. Expanding market trend in the future



リレー随筆
その3

思いつくまま

大泉洋一

1. とろろいも（自然薯）

毎年その年の最初の家内行事として初詣でをする習慣を永年続けている。年が改まると同時に前年を振り返り，また今年のあるべき姿を空想するとともにその成就を祈ることで少なからず信仰の奥処に触れた様な満足感を味わうのである。

2年程前の初詣は茨城県の笠間稲荷神社であったが，この神社の参道には美事なとろろいも（自然薯）が特産品として土産物屋に並んでいるので目をひく。太くて，直真ぐ伸びていてしかも今掘り出した如く土までついている地場物である。同道の妻とこれを初詣での土産に買って帰った次第である。

この自然薯は秋の終り頃に掘り起こされるのであるが，現物を見ているといかにも天然・自然のままの芋なので，その名称に適わしいものであると思える。

土の中で，永い間人知れずにむくむくと育ってゆく様を想像して非常に頼もしく，また力強く感じられる。そして，それゆえ自然の生きる力のたくましさをこれ程よく教えてくれるものはないのではなかろうかと感じ入った次第である。

話が少し固苦しくまた道義的になるかも知れないが，私は人もまたこの様にこそ生くべきものであると思っている。些かも外面に現われず，黙々と忍びながら，しかも決して萎縮することなく，見えない地下では，むくむくと生い伸び育って行き，他者のもとめに応じて行く，そういう生きかたこそ最も偉大にして望ましきものではないか，と考えるのである。だが，人はなかなかこの様に生きられるものではない。

自然薯は，春に太い芽を出すが，自分の力でその芽を支えることが出来ずに，その近くの木などに巻きついて，やっと伸びて行く。しかも，葉は形が悪くただ青い何の特長もない。誰にも振り返って見て貰えない存在であり，かつ花も咲かせない。地上の人の目につく所では全く実力を見せないのだが，翌年の春のために，人目につかないところに太陽の熱と大地の養分とを十分にうけて，大きな実力を貯えている。私にとって自然薯は人の法の必然性として頭を下げざるをえない。

2. 得意平然，失意悠然

サラリーマンで50歳代の中盤にさしかかって今更のごとくわが人生に1番必要でしかもよく反省させられた言葉「得意平然，失意悠然」は今だに貴重な座右の銘であると思っている。人生は決して奢って永続きするものではない。

人生あわてても仕方がない。まわりはどうであっても自分は自分で，たったひとつしかない人生を大事に見つめて歩いて行く。それも徳川家康の様に「重荷を負うて遠き道を歩む」などと気負うこともない。人生それほどたいしたものではない。ごく素直に，得意平然，失意悠然で歩けばいい。またこの様なボチボチだからこそ，歩きつづけられるのではないか。ともかく，前に向って歩いていることである。自分のペースで歩きつづけているということである。

巨人軍の川上哲治さんはゲームに勝利するための展開として「つながっている感触が大事」と言う。これもなんとなく理解出来る一種

の「失意悠然」だと思う。

経済学者ワルラスが好んだと言う言葉がある。「静かに行く者は健やかに行く。健やかに行く者は遠くまで行く」

私はこの言葉は「得意平然」と同じことと理解してこれまでの人生の支柱として来た。これからもそうして行くことだろう。

3. 春風秋雨

伊藤肇(はじめ)さんの「左遷の哲学」では与えられたポストで他人より多くの何かを身につけて行く，そうすれば，その人にとって左遷というものはあり得ないと書いている。

主流の仕事でなく，日の当らぬ不本意なポストに配転になったとき，どう生きるか。

中山素平さんは，興銀に入行したものの，最初の3年間は経理課に配属された。配置転換を申し出るよう仲間にすすめられたが，中山さんはそうはしなかった。「どこへ行けといわれても一切「ノー」と言ったことがない」　これが中山さんの人生だった。同時に地位に対しても綿々と未練を持たない。頭取から，代表権のない相談役へと言う中山さんの退きかたは，みごとなほど鮮やかであった。

東芝の岩田式夫さんが，社長候補の役員から一転して小さな子会社へ出されたことがある。あの岩田さんでも，会社を辞めようと思ったが，次に考えたのは自分はしょせんサラリーマン。徹底的に努力しようと，配転先に赴き，黙々とその仕事に打込み帝王学を実習し，やがて土光敏夫社長の跡を継いだ。

宗教心のある経営者には一種の打たれ強さ，芯の強さがある。花王の丸田芳郎社長にも，そのことがうかがえる。

「春風秋雨」とは，春に花が咲くと明日また見たいなと思っているのに，夜半に突風が吹いて花を散らしてしまう。秋に紅葉が綺麗に揃ったと思うが早いか，秋雨が紅葉を枯葉にしてしまうという運命の儚なさをいったものである。

本人が自覚すると否とにかかわらず，客観的に見れば左遷は必ずやって来る。その時どう生きるかが将来を決める。

デンマークの哲人キエルケゴールは放棄の絶望ではなくして，希望の再生であるといっている。自分の将来は自分が創造している。今日は来たるべき明日の第一歩である。

4. 充電期間

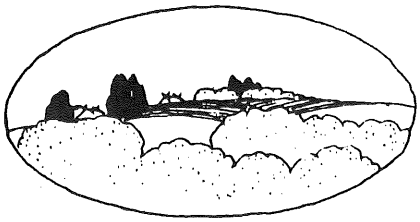
王監督時代の巨人はピッチャーが二度三度打たれると王監督が出て来てピッチャー交代を告げる。ピッチャーは口惜しそうにグローブを地面にたたきつけ，未練たっぷりに去る。

よく見かけた光景である。大観衆は至極あたりまえのこととして眺めている。そこで交代させられずに，その後，なお連打を浴びて，泣きそうな顔でさらしものにされ再起不能になってしまうよりは，遙かに適切かつ温情的采配だと理解する。

企業の配転人事も同様ではないか。赤字が出れば，さっと交代が出る。一見ドライなようだが「それはむしろウェットな人事だ」と山下俊彦松下電器産業相談役は言う。また，「赤字が出たときでは，むしろ遅すぎる。本当はその前で代えてやった方がいい」とも。配転や降格によって，当人は「わがこと終われり」と落胆したかも知れないが，しかるべきトップの人たちは，むしろそれが新しいはじまりと見ているのだ。そこで絶望して，落ち込んでしまったり，やけになっては，そのときこそ本当の終りが来る。

友人達の幾人もが，長いサラリーマン生活の中で，次々に不遇と思われるポストに移されるのを見て来た。

地方都市へかなり長い期間，すえ置かれたひともある。ただ友人たちはその時期をそれぞれ恰好の充電期間として1回りも2回りも大きくたくましく，安定したものを感じさせる姿になって戻って来て同期会にも出席して来る。赴任する時の姿からは想像出来ない姿でである。人にはそれぞれ才能や持味の違いがある。仕事への適不



適と言うことが出て来る。たとえその人に適した仕事であっても，勘が狂うこともあれば，気力や体力が整わぬときもあろう。神様でもない以上これは避けられないことだ。その時は一休みさせてもらうか，場を変えて貰った方がいい。降格や配転はむしろ救いの場合だってある。また，降板したピッチャーがベンチに入ってからも，椅子を蹴飛ばしたり，あるいは，がっくりうなだれ切っているのはどうであろうか。一息つきながら，続行されているゲームをじっと見守り続けることが，周囲に新しい期待の芽生えを感じさせるのではなかろうか。

5.異業種進出

隣りの芝生は緑に見えるものらしい。倒産記事を見ると気にかかることがある。「本業」が何か，さっぱりわからなくなって来たことだ。さして大きな会社でもないのに，扱い商品はミニ商社なみ。「脱本業」の流れは中小企業，大企業の別なく普及して来た。業界の垣根が崩れて来た。上場会社はかつての産業分類があてはまらなくなって来ている。いかに名門企業といえども，ライフサイクルの終った産業に属している企業は，複合企業に転進をはからねば生き残れないからだ。複合企業への変身が時代を彩どった。だが体力のない企業の変身は生易しくはない。かえって，「脱本業」のウネリに呑み込まれてしまっている。当然の帰結でもある。

異業種参入がうまくいくには，3つの条件が備わっていないといけない。ひとつは本業がしっかりしていること。ふたつは参入する業種に強烈に強い企業がいないこと。3番目は，やりかたをかえることだ。異業種へ進出するということは，新しい会社で出発するのと同じことである。「本業」では先発でも，異業種では後発だ。後発が強い先発と向いあっては，先発が捨てた「落ち穂」を拾うだけがオチである。先発とちがったやりかたを採らなければ，うまくいくわけがない。ましてや，本業がだめだから変身するのでは異業種でもだめなのはわかりきったことだ。

闇雲な異業種参入には注意したい。

6.財産目録にない財産

会社にとって，最大の財産はユーザーであることに異論は少ないだろう。ユーザーは貸借対照表にも財産目録にも記載されることはない。然したとえ，土地も建物もなくてもユーザーがいれば企業は継続していける。だから，会社の財産を増やすということはユーザーを増やすことにほかならない。従って，ユーザーが減るということは企業にとっては問題である。土地がよその名儀になっていたら泣き寝入りする会社はない。あらゆる手段を尽して取り戻すことは当然であろう。ユーザーを失うということも，これと少しも変りはない。会社の財産をとられたことになるのだ。ユーザーが減るのは，それだけ財産が減るわけだから，もっと真摯にならなければならない。

7.悪　貨

「悪貨は良貨を駆逐する」と言うのは，有名な「グレシャムの法則」である。いいおかねと悪いおかねを手もとにもっていれば，誰でも悪いおかねは先に使って，いいおかねはしまっておく。そこで，市場には悪いオカネばかり通用するようになる，というのがこの法則の安易な説明だが，この法則は，職場の中でもつらぬかれている。「サボる」「遅刻する」「報告しない」「連絡不足」「雑音過大」……そこで問題は，どの程度まで乱れると，後は次々と乱れていくのか，どの程度まで秩序が保たれていると，その後も乱れないのか，といったターニングポイントを見つけることである。結論的にいうと，2割の「けしからん」社員がいたら，8割が謹厳実直であっても，集団圧力が働いて，「けしからん」空気の雪崩現象がおきる。つまり，2割の「悪貨」で8割の「良貨」を駆逐できるのである。

集団の規範は，2割の「けしからん」者で崩れるほど脆いものなのだ。

いかにして集団の中によき習慣を根づかせるかが重要な課題である。

よい習慣はその人を良く改造する。

**（日本シーリング工業会副会長
横浜ゴム㈱理事，ハマタイト事業部長）**

IT'S JUST SEALANT !

JIS A 5758 許可番号576247

フジチオコール

液状**ポリサルファイド**をベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追随し、日光、油薬品等によく耐えます。

JIS A 5758 許可番号488016

ユーゼット103

ウレタンエラストマーの特性を活して、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

A 5758 許可番号 576247

メトリック

変成シリコーンポリマーをベースに耐熱性,耐久性は抜群,経済性や施工条件に対して許容度を高めた総合性能バランスの良さが大きな特徴のシーリング材です。

アクリルエマルションをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。

アクリルエース

JIS A 5758 許可番号580120

乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のパテ状にした**油性コーキング**材です。

エバーシール

JIS A 5751 許可番号573101

昭和シェル石油㈱グループ

昭石化工株式会社

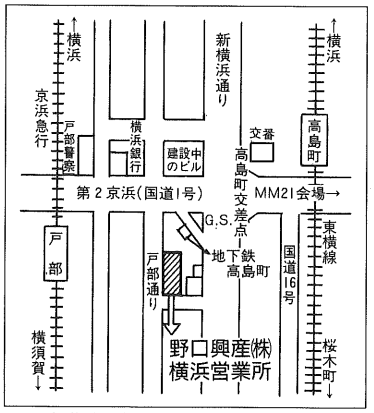
〒151 東京都渋谷区代々木1-11-2
TEL 03 (320)2005

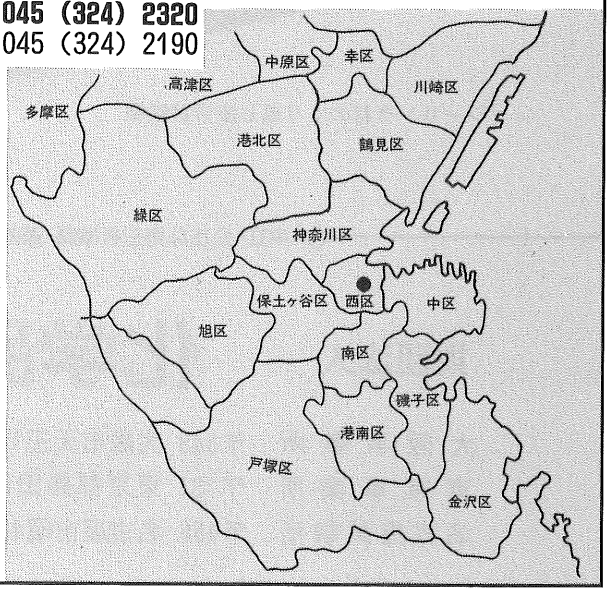
■札幌出張所 TEL 011(251)7912
■仙台営業所 TEL 022(267)5319
■東京営業所 TEL 03 (320)2013
■新潟営業所 TEL 025(225)2331
■名古屋営業所 TEL 052(231)6568
■金沢事務所 TEL 0762(22)4911
■大阪営業所 TEL 06 (341)6395
■広島営業所 TEL 082(283)9226
■福岡営業所 TEL 092(291)0008

野口興産株式会社 横浜営業所

所在地
神奈川県横浜市西区戸部町7丁目220番
郵便番号 220 粕川ビル1階
電話番号 045 (324) 2320
FAX No. 045 (324) 2190

◆案内図◆





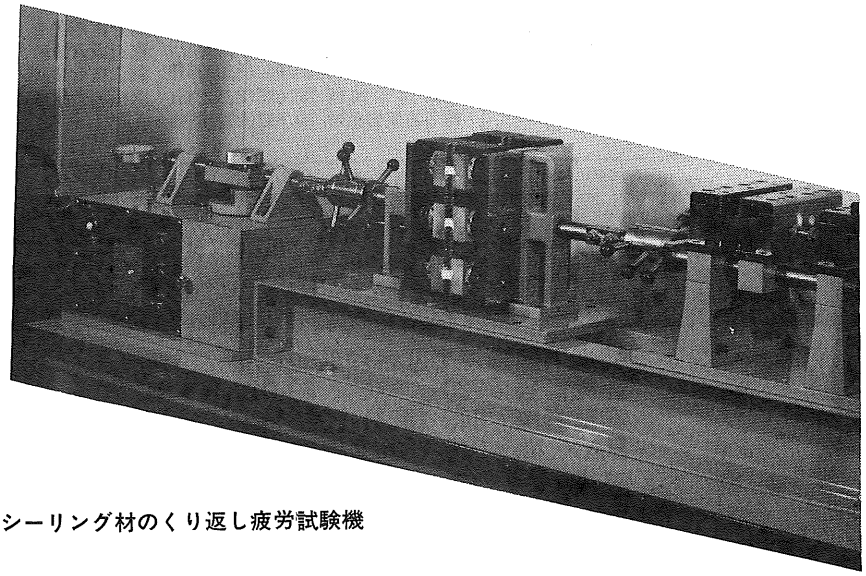
市営地下鉄 高島町より徒歩1分
東横線 高島町より徒歩3分
京浜急行 戸部駅より徒歩5分

代表取締役 野口賢一郎
横浜営業所長 舟木保雄

土木建築用高分子材料試験は化学品検査協会へ

建築用シーリング材，土木用目地材，塗膜防水材，合成高分子ルーフィング材，壁材，床材，保温材，断熱材，内装材，外装材などの試験および骨材のアルカリシリカ反応試験（アルカリ骨材反応試験）を日本工業規格（JIS），官公庁・公社規格及び諸外国の規格をはじめ，本会独自の評価方法により実施し，各方面の要望にこたえています。

また，ニーズに応じた新製品の研究・開発・技術指導・JIS表示取得のための工場指導も行っております。



シーリング材のくり返し疲労試験機

◇ 中立・公正な第三者機関・通商産業省指定検査機関 ◇

財団法人 **化学品検査協会**

大阪事業所　〒543 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-6-5 ☎06(771)5157
東京事業所　〒131 東京都墨田区東向島4-1-1 ☎03(614)1101
名古屋試験所　〒466 名古屋市昭和区折戸町4—1 ☎052(761)1185

性質・用途	アミノキシ型 1成分形	アミノキシ型 2成分形	アミノキシ型 3成分形	酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
低モジュラス（メタル・PCカーテンウォール・土木用）	トスシール 10 ※1	トスシール 361 ※2				
一般用（ガラス・一般建材用）				トスシール 371	トスシール 380	トスシール 381 ※3
中・高モジュラス（ストラクチュラルグレイジング用）		トスシール 62		トスシール 1200		
防カビ性（バスタブ用）		トスシール 63		トスシール 73		トスシール 83
超透明（ショーケース用）				トスシール 78		
難燃性（防火区画内用）		トスシール 64				
難燃充填シール用（シリコーンフォーム）		トスシール 300				
流動性（土木用）		トスシール 67				
マスチック型（油性補修用）			トスシール 90			

※1 JIS A 5758「SR-1-10030-A-N」
※2 JIS A 5758「SR-2-10030-A-N」
※3 JIS A 5758「SR-1-9030G-A-N」
認定品　許可番号 第381142号

信頼のブランド

トスシール

各種用途に適した製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足のゆく製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコーンにご相談ください。

Toshiba SILICONE
東芝シリコーン

東芝シリコーン株式会社
本社/〒106 東京都港区六本木6-2-31
☎(03)479-3501(代) ●支店/大阪・名古屋・静岡 ●営業所/札幌・仙台・宇都宮・熊谷・北関東・松本・厚木・金沢・広島・福岡

kaneka

建築美を支える。

変成シリコーンポリマー
カネカMSポリマー®

超高層ビルからプレハブ住宅まで、

目立たないけれど
高反応で定着しています。

▲耐久性、耐候性に優れています。
▲作業性が良好です。
▲石材、タイルなど目地周辺を汚染しません。
▲塗料の付着性が良好です。
▲超高層ビルから小住宅まで幅広い用途に使用できます。

きれいなシーリング

鐘淵化学工業株式会社
特殊樹脂 二部

●本　　社　〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
電話：大阪(06)226-5331(ダイヤルイン)
●東京支社　〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
電話：東京(03)479-9675(ダイヤルイン)

建設省建築工事施工監理指針
平成元年版発刊

シーリング工事も一部改定

建設省の建築工事施工監理指針平成元年版が，このほど㈳営繕協会より発刊された。同書は「公共建築工事に携わる監督職員が工事監理に必要な基礎知識を得るとともに，建設大臣官房官庁営繕部監修『建築工事共通仕様書』に従って工事を進める際の参考資料として」活用されることを目的としており，いわば「建築工事共通仕様書」（以下「共仕」）の解説書的な位置付となっている。今回の発刊も昨年改定された「共仕」平成元年版に合せてのもので，昭和60年版以来４年振りの改定となる。

シーリング工事（９章８節）の主な改定内容は，「共仕」で追加規定された「9.4.6検査」に対し，その方法としてダンベル状に打抜いたサンプルによる引張試験ならびに２成分形シーリング材のサンプリングなどについて具体的な方法が示された点などである。

以下に，同指針より９章８節「シーリング」を掲載（一部，省略）する。

8節　シーリング

9.8.1　作業の流れ（省略）

9.8.2　施工計画書（省略）

9.8.3　シーリングの分類（省略）

9.8.4　一般事項（省略）

9.8.5　材　　料

(a)　「共仕」9.4.1表のシーリング用材料の一般的な性質及び使用上の注意を下記に示す。

(1)　シリコーンシーリング材（１成分形）高モジュラス形

(i)　シリコーンシーリング材には１成分形と２成分形があり，いずれも主成分はオルガノポリシロキサンであり，耐候性，耐熱性，耐寒性及び耐久性にすぐれている。

１成分形のシーリング材には，硬化時に酢酸を放出する酢酸形と，放出しない無酢酸形があり，無酢酸形にはオキシム形，アルコール形，アミド形，アミノキシ形，アミン形など多くの種類がある。

１成分形シーリング材は大気中の湿気と反応して表面から硬化が進み，硬化速度は温度と湿度に左右される。

一般に，酢酸形，オキシム形には高モジュラス形（50%引張応力が2.5kg/cm²を超えるもの）が多く，またアルコール形，アミド形，アミノキシ形，アミン形では低モジュラス形（50%引張応力が2.5kg/cm²以下のもの）が多い。

(ii) 高モジュラス形は，主にガラスとガラスの取合いに用いられている。

(iii) 一般に酢酸形は無酢酸形に比べ硬化が速く，各種の被着体によく接着するが，コンクリート，石材及び鋼・銅・亜鉛などの金属には不適で，これらの被着体には無酢酸形が使用される。

(2) シリコーンシーリング材（1成分形）低モジュラス形

(i) シリコーンシーリング材（1成分形）低モジュラス形には，アミド形，アルコール形，アミン形などがあるが，いずれも無酢酸形に属する。

主成分（オルガノポリシロキサンを主鎖とする）硬化の形態（表面硬化，湿気硬化）は1成分形高モジュラス形と同様である。

しかし，硬化後のゴムは2成分形シリコーンシーリング材に似て低モジュラスであり伸びが大きい。

1成分形シーリング材の基本的特徴としては，現場で直ちに使用でき，練混ぜによる気泡混入がなく，へら押え仕上げ面が平滑である。

また，練混ぜによるむらの心配もない。

(ii) ジョイントの動きに対する追従性，耐疲労性は，2成分形シリコーンシーリング材に匹敵する性能を有するものもあり，主な用途としては，金属カーテンウォール，PCカーテンウォール，ガラスの留付けなどに用いられる。

(iii) 表面硬化形のため硬化途上のジョイントムーブメントが大きい場合には，2成分形シリコーンシーリング材より影響を受け易いといわれている。

(3) シリコーンシーリング材（2成分形）

(i) シリコーンシーリング材（2成分形）は基剤と硬化剤とからなり，両者を均一に練混ぜることにより反応硬化する。

基剤は末端に官能基をもつオルガノポリシロキサン，充てん剤及び無機顔料からなり，硬化剤はアミノキシシロキサン，充てん剤からなっている。

なお，2成分形シリコーンシーリング材は低モジュラスで接着性もよく，伸びが大きく，部材の挙動によく追従する。また，引裂き抵抗が大きく刺激臭や毒性も少ない。

耐候性，耐疲労性，耐熱性，耐寒性及び耐オゾン性に優れている。

(ii) 主な用途としては金属カーテンウォール，PCカーテンウォール，ガラスの留付けなどに用いられる。

(iii) 被着体に対する接着には製造所指定のプライマーを使用する。

塗料，吹付材などの仕上げ材をシリコーンシーリング材（2成分形）の上に塗布する場合には，専用表面処理剤をあらかじめシーリング材の上に塗布しておく。

タイル，石材には，目地周辺部を汚染することがあるので，使用する場合には，汚染防止に注意する必要がある。

(4) 変成シリコーンシーリング材（1成分形）

(i) 変成シリコーンシーリング材（1成分形）は，オルガノシリル基をもつ有機ポリマー及び充てん材を主な原料とし，大気中の湿気と反応してシロキサン結合を形成し，ゴム弾性体となる。

性能は，シロキサン結合を含むため耐熱性，耐候性，耐久性が良好であり，また作業性にも優れ，シーリング材としての要求性能をバランス良く保持している。

(ii) 主な用途は，コンクリート（石張り，タイル張り含む）の目地，PC板目地などに用いられる。

なお，ALCパネルに用いる場合は特記による。使用にあたっては被着体の欠損を防ぐ

ため低モジュラス形としなければならない。

(iii) 変成シリコーンシーリング（1成分形）は，プライマーの併用により，比較的多くの被着体に優れた接着性を示し，短時間で実用性能を発揮する。一般にはタックフリー時間が短いのでヘラ仕上げを速やかに行う必要がある。

なお，ガラスの留付けには用いない。

(5) 変成シリコーンシーリング材（2成分形）

(i) 硬化は，水と触媒の作用によりシロキサン結合を形成しゴム弾性体になる。

性能は，シロキサン結合を含むためシリコーンシーリング材に近く，作業性，耐熱性，耐候性，耐久性が良好であり，シーリング材としての要求性能をバランス良く保持している。

プライマーの併用により，すぐれた接着性，安定した硬化性を示す。

変成シリコーンシーリング材（2成分形）は，基剤及び硬化剤からなり，基剤はオルガノシリル基をもつ有機ポリマー及び充てん材を主な原料とし，硬化剤は金属化合物などを主な原料としている。

(ii) 主な用途は，金属カーテンウォール目地，PCカーテンウォール目地などに用いられる。

なお，ALCパネルに用いる場合は1成分形に準ずる。

(iii) 変成シリコーンシーリング材（2成分形）は，ガラス留付けに用いない。

(6) ポリサルファイドシーリング材（2成分形）

(i) ポリサルファイドシーリング材には，湿気硬化する1成分形と，基剤と硬化剤の反応により硬化する2成分形とがあるが，1成分形はほとんど製造されていないので，「共仕」9.4.1表では2成分形のみを定めている。

ポリサルファイドシーリング材(2成分形)は，基剤としては液状ポリサルファイド，可塑剤，充てん材を主な原料とし，硬化剤としては金属酸化物，可塑剤などを主な原料としている。

ポリサルファイドシーリング材は弾性シーリング材として最も早くから使用されており，過去の実績から長所，短所などが比較的明確になっているので使用部位に応じて適切に選定する。

(ii) 主な用途は，PCカーテンウォール，コンクリート，タイル，石目地など熱伸縮の小さい目地が中心であり，金属カーテンウォール目地の場合には，目地幅を拡大するか，部材寸法（部材長2m以下が望ましい）を小さくして使用することが重要である。他にサッシ回り，ガラスの留付けなどに用いられる。

(iii) ポリサルファイドシーリング材は，製品によっては石目地の周辺を赤色又は黄色に汚染する場合があり，またシーリング材表面の吹付材を変色させる場合が多いので，原則として，吹付塗装は行わない。

(7) ポリウレタンシーリング材（1成分形）

(i) ポリウレタンシーリング材は，大気中の湿気と反応して硬化する1成分形と，基剤と硬化剤とからなる2成分形がある。

(ii) ポリウレタンシーリング材（1成分形）は，イソシアネート基をもったウレタンポリマーであり，充てん材・可塑剤などを主原料としている。現場で直ちに使用することができ，練混ぜ時の気泡の混入や混合むらがない。

硬化は表面から進み，硬化速度は湿度，温度によって左右される。耐寒性にすぐれ，復元性，耐疲労性の良好な弾性体となる。

(iii) 主な用途は，コンクリート，PC板目地，サッシ回り目地などに用いられる。

(iv) ポリウレタンシーリング材（1成分形）は，耐熱性，耐候性にやや劣るため金属パネルや金属笠木などへの使用は避ける。

なお，吹付材や塗料による表面仕上げを行う場合に用いられるが，シーリング材の配合，吹付材，塗料の種類によっては，吹付材，塗料を汚染するものがあるので注意する。

(8) ポリウレタンシーリング材（2成分形）

(i) ポリウレタンシーリング材（2成分形）はイソシアネート基をもつウレタンプレポリマ

ーであり，硬化剤は活性水素を有する成分及び充てん材，可塑剤などを主な原料としている。

ポリウレタンシーリング材（2成分形）は，ガン吐出性が良く，硬化収縮も無く，硬化後は耐寒性にすぐれ，復元性，耐疲労性の良好な弾性体となる。

(ii) 主な用途は，PC板目地，コンクリート目地，サッシ回り目地などに用いられている。

(iii) ポリウレタンシーリング材（2成分形）は，耐熱性，耐候性にやや劣るため金属パネルや金属笠木などへの使用は避ける。また，吹付材や塗料による表面仕上げを行う場合に用いられる。

(9) エマルション系アクリルシーリング材

(i) エマルション系アクリルシーリング材はアクリル樹脂エマルションを主成分とし，含有水分が蒸発し又は被着体に吸収され，乾燥することによってシーリング機能が発揮される1成分形乾燥硬化タイプのシーリング材である。

エマルション系アクリルシーリング材は，作業性がよく，臭気が少なく，引火性がなく，取扱いが容易である。

硬化後の性能は，油性コーキング材と弾性シーリング材の中間的な挙動を示す。

(ii) 主な用途はALCパネルのように多孔質で吸水性の大きい被着体で構成された動きの小さい目地に適している。また，吹付材や塗料による表面仕上げを行う場合に用いられる。

(iii) エマルション系アクリルシーリング材は，未硬化の状態では水に弱く，雨に流される欠点があり，また常時水に浸される箇所には使用できない。

なお，乾燥タイプの欠点である体積収縮を考慮して仕上げる必要がある。冬期施工の場合，材料が凍結する恐れがあるので保管に注意する。

(10) 油性コーキング材

(i) 油性コーキング材は，JIS A 5751に規定された液状展色剤（天然及び合成油脂など）並びに鉱物質充てん材（石綿，炭酸カルシウムなど）により作られたもので，瀝青系及びガラスパテなどは含まない。JIS A 5751の規格は15mmの目地幅でスランプ試験をしているが，一般の市販品は最大20mm程度の目地幅まで適用できる。

なお，施工時期により，夏用，冬用及び一般用とに分けられている。

(ii) 油性コーキング材は，JIS A 5751の規格品とする。

なお，品質などを下記に示す。

① 油性コーキングの作業性は，温度によって影響を受けやすいので，季節に応じて，高温時は夏用(やや硬めのもの)，寒冷時には冬用(やや軟らかめのもの)，その他は一般用を使用する。

② JISでは，試験温度が30±3℃に合格するものを夏用とし，5±2℃に合格するものを冬用と呼んでいる（9.8.2表（建築用油性コーキング材の品質：JIS A 5751表1；省略）参照)。

(b) JIS A 5758—86（建築用シーリング材）の抜粋を下記に示す（省略）

9.8.6 補助材料

(a) プライマー

プライマーはシーリング材と組になっている材料であり，油性コーキング材以外のシーリング材には必ず使用する。

(1) プライマーの機能

プライマーは目地に充てんされたシーリング材と被着体とを強固に接着させ，その結果，シーリング材が目地挙動によく追従し，長期間にわたって水密性・気密性を維持する働きをさせる。

従って，シーリング材の施工においては，プライマーの使用を省略することはできず，また確実に塗布することが重要である。

更に，ALCパネル，モルタルなどの表面を安

定させ，内部からの水あるいはアルカリ成分のしみ出しなどを防止する。

(2) プライマーの種類と選定

プライマーは，シーリング材及び被着体によって対応する種類が異なり，また，同種のシーリング材，同種の被着体に対しても，シーリング材製造業者によってプライマーの種類は異なっている。一般に，1種類のプライマーはすべての用途に使用できるものはなく，数種類のプライマーを使い分ける仕様になっている。

従って，プライマーの選定においては，シーリング材製造業者の指定するものを用意し，事前に接着性の試験を実施しておくことが望ましい。

ただし，ガラス・ALCパネルなどのように比較的施工実績の多いものについては，シーリング材製造業者の事前の試験成績書によって，確認すればよい。

(b) バックアップ材

(1) 主たる使用目的

(i) 二面接着とし，三面接着を避ける

(ii) 目地深さの調整

(iii) 底のない目地の目地底の形成

(2) 材質と形状

(i) 一般にはポリエチレンなどの発泡体（独立気泡が多い）が用いられる。

大きな風圧のかかるガラス回りの緩衝材としてはゴムビード（エチレンプロピレンゴム系，クロロプレンゴム系），又は硬化ポリエチレンフォームが用いられるが，ゴムビードの場合はゴムとシーリング材が接着してしまったり，変色を生ずることがあるのでボンドブレーカーなどを併用する。

(ii) 材料の選択の注意事項を下記に示す。

① バックアップ材自体が圧縮，復元できるもの（特に発泡体について）

② 油分，瀝青質，水分などを含有せず，またシーリング材を侵さないもの

③ シーリング材と接着しないもの

④ 耐久性のあるもの

(iii) 形状

① プレキャストコンクリート目地

丸形（皮膜ありで糊なし）発泡体（9.8.1図㋑）

② 金属パネル，サッシ回り

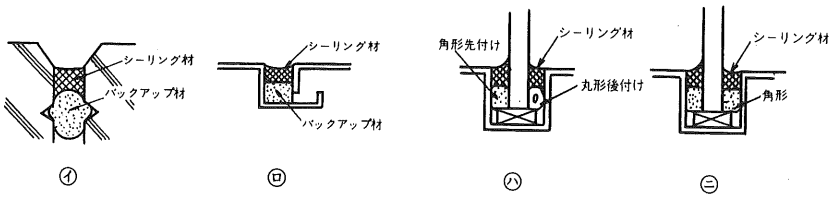
角形（皮膜なしで糊付き又は糊なし）発泡体（9.8.1図㋺）

③ ガラス留付け

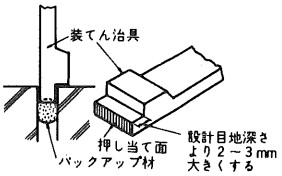
ゴムビード（角形先付け糊付き，丸形後付け糊なし）（9.8.1図㋩）や角形発泡体（9.8.1図㋥）が使用されることが多い。

(iv) 使用方法

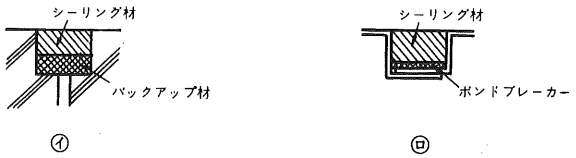
① 丸形のバックアップ材を充てんする場合は，目地幅より20～30％大きめのものを圧



9.8.1図



9.8.2図　充てん治具



9.8.3図　ボンドブレーカーの使用例（三面接着の防止）

縮しながら装てんする。

② 装てんに際しては，バックアップ材がねじれたり，傷つけられたりしないように丁寧に装てんする。

③ 規定の目地深さがとれるように治具(9.8.2図)などを用いて注意深く所定位置に装てんする。

(c) ボンドブレーカー

(1) 使用目的及び使用方法

目地が浅くバックアップ材を用いると適正目地深さがとれない場合に，ボンドブレーカーを目地底に張り付け底面への接着（三面接着）を避ける（9.8.3図㋺）

(2) 材質

紙，布，プラスチックフィルムなどの粘着テープで，使用シーリング材と接着しないものを使用する。

一般には，ポリエチレンテープ，ポリエチレンコートテープ，シリコーンコートテープ，ビニールテープなどが使用されているが，シリコーンコートテープにはシリコーン系及び変成シリコーン系のシーリング材が接着しやすいこと，ビニールテープは延びやすい材質であることなどから，選定にあたってはシーリング材の材質に適合するものを選定する必要がある。

(d) 清掃溶剤

(1) 使用目的

シーリング材を確実に接着させるためには，目地（被着面）を十分清掃し乾燥させることが必要であり，被着面上に付着している油分，瀝青質，はく離剤などを溶解除去する。

(2) 溶剤の種類，選定

一般にトルオール（トルエン）が用いられる。ただし，常乾形塗料の塗面，プラスチック面など耐溶剤性の低い被着面は，ノルマルヘキサンを用いるなどの注意が必要である。

このほかシーリング材製造業者などの指示によっては，アセトン，MEK（メチルエチルケトン）などの溶剤が用いられることもある。

(3) 使用方法

白ウェスに溶剤を含ませて被着面を確実に，丁寧にふく。油分などの溶解物除去のほか，被着面上のごみ，モルタルくずなども除くので，ウェスは頻繁に取替えて，きれいな布面でふくようにすることが重要である。

(4) 注意事項

引火性があるので火気を近づけないようにし，保管は密閉容器に入れて冷暗所に保管する。

また，発生する蒸気をなるべく吸わないように注意する。

(e) マスキングテープ

(1) 使用目的

プライマー塗布及びシーリング材充てん部分以外の汚染防止と，目地縁の線を通り良く仕上げるために用いる。

(2) 材質及び選定

(i) プライマーの溶剤などによって粘着剤などが溶出しにくいこと。また，溶出することがあっても，それがシーリング材の接着性に悪影響を及ぼさないこと。

(ii) テープの粘着剤が部材（張付面）に移行したり，汚染しないこと。

(iii) 作業し易い適度な粘着性を有し，また折返しなどの張付け作業のための適度な厚みと硬さを有すること。

(iv) テープ幅は施工箇所にあった幅のものを選択する。

(v) テープは仕上げ作業完了後，直ちに除去する。特に気温の高い時期に長時間放置すると，テープの粘着材が被着面を汚染したりテープ除去が困難になるので速やかに除去する。

9.8.7 材料選定

(a) シーリング材料の種別とその適用箇所は特記による。特記のない場合は「共仕」9.4.1表による。

(b) シーリング材の種類と適用部位について，一般的な使われ方の目安を9.8.3表(シーリング材の種類と使用部位：シーリング材ハンドブック表3.6適材適所表；省略）に示す。

(c) 接着性の検討

(1) 「共仕」9.4.2(d)では，施工に先立ち，外部に面する金属，コンクリート，建具などに用いるシーリング材は，接着性試験を行い，試験成績書などを監督員に提出して，シーリング材と被着体との接着性について，承諾を受けることとしている。

(2) 接着性試験には，JIS A 5758による引張接着性試験と簡易接着性試験があり，特記がなければ簡易接着性試験とする。

(3) JIS A 5758—86（建築用シーリング材）の引張接着性試験の抜粋を下記に示す。（省略）

(4) 簡易接着性試験方法は「共仕」9.4.2(e)(2)による。

9.8.8 材料の貯蔵など

(a) 材料は，高温多湿又は凍結温度以下になる場所を避け，直射日光や雨露のあたらない場所に密封して保管する。

(b) プライマー及び溶剤については，消防関係法令に基づき火気に注意して保管する。（17.2.2(h)参照）

(c) シーリング材料の容器には製造年月日，有効期間が表示されているので，確認する。

9.8.9 目地寸法及び下地処理

(a) 目地はムーブメントの大きさによりワーキングジョイントとノンワーキングジョイントに大別されるが，「共仕」9.4.4では特記がなければ幅10㎜以上，深さ7㎜以上としておりノンワーキングジョイントを想定している。

(b) 目地は，充てんしたシーリング材に過度の応力又はひずみを生じさせないと共に，必要な接着面積を十分に確保できるものとし，凹凸，広狭などのないものとする。

(c) 「共仕」9.4.4(f)では，目地にバックアップ材及びボンドブレーカーを使用した時は，その挿入状況を監督員に報告するとしている。

(d) 被着体に対する処理及び養生

(1) コンクリート，PC板及びモルタルの場合

コンクリート表面にレイタンスなどのぜい弱層がある場合は，接着性が低下するので，サンダーなどで除去，清掃し，予想されるシーリング材の発生応力より被着面の強度が大きくなるようにする。また，油分，はく離剤，仕上材が付着している場合には，サンダー掛けなどの適切な方法で除去し，清掃溶剤で清掃する。

コンクリート下地の欠けなどは，シーリング材との接着が良好な接着剤入りモルタルなどで補修しておく。

シーリング工事の際，被着体の含水率が高いと接着が不十分となるので，乾燥は十分に行う。

(2) ALCパネル，石綿スレート，石材などの場合

ALCパネルにはシーリング材の発生応力が被着面の強度以下のものを使用する。

ALCパネル，石綿スレート，石材などの表面の汚れは，サンダーなどで除去し清掃溶剤でふきとる。また，被着面に水分がある場合には接着が不十分となるため，降雨後の乾燥は十分に行う。

(3) 金属の場合

金属の表面に油分保護フィルムの粘着剤，その他の汚染物が付着している場合には，サンドペーパー，清掃溶剤などを用いて清掃する。

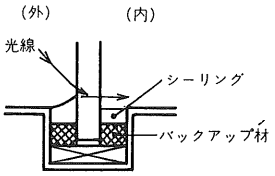
特に金属の表面に塗装されている場合には，塗膜を溶解しない清掃溶剤，プライマーが必要であり，シーリング材も塗膜の凝集破壊，下地とのはく離を起さないものを選定する。

(4) ガラスの場合

太陽光線がガラスを透過するため紫外線により接着層が劣化し，はく離をおこすことが多い。従ってプライマー，シーリング材は耐紫外線性を検討しておく必要がある。また，外側は傾斜をつけて，接着面に太陽光線があたらないようにし，水はけを良くする必要がある（9.8.4図参照）。

(5) 異種材料の取合い部

タイル及び石とコンクリート，金属サッシとガラス，金属サッシとコンクリートなどのように被着面が異種材料の場合には，最適プライマーを塗分けることが必要であるが，これは不可



9.8.4図

能な場合が多い。

この場合には両被着面に適した共通プライマーを使用するか，もしくは2種類のプライマーの重ね塗りとなるが，いずれの場合も事前に接着性を確認しておく必要がある。

9.8.10 工　法

(a) 一般には，シーリング材の施工性，硬化速度などは温度や湿度に影響される。湿度が85%を超える多湿度ではプライマー中の溶剤の気化熱により被着体が冷却して結露するおそれがあるので施工を避けるのがよい。

降雨，降雪時の施工は中止し，降雨雪が予想される場合は目地部の浸水を防ぐ処置を行う必要がある。

(b) 不定形弾性シーリング材の工法（「共仕」9.4.1表のA種・B種・C種・D種）

(1) 目地などの形状は，凹凸，広狭などがないように成形されたものでなければならない。また，目地は作業がしやすく，シーリング材の性能を十分発揮させるような寸法・形状になっていることが必要である。

(2) 目地に水分が付着していたり，モルタル，コンクリートなどが湿っている場合は，十分乾燥させる。油分，じん芥，モルタルくず，さび，塗料などが付着し汚れている場合は，入念に清掃除去する。

(3) バックアップ材又はボンドブレーカーを使用する場合は，浮き上りやずれがなく，目地の深さが均一になるように十分に押さえる。

(4) バックアップ材又はボンドブレーカーを用いて三面接着を避け，二面接着になるようにする。材種の特性上二面接着が原則であり，三面接着した場合には破断などをおこしやすい。二面接着と三面接着では耐久性に相違がある。ただし，「共仕」9.4.4(e)では，三面接着とすることのできる部位は，動きの小さいコンクリート壁の打継ぎ目地，ひび割れ誘発目地並びに単窓及び1スパン内の連続窓回りなどである。

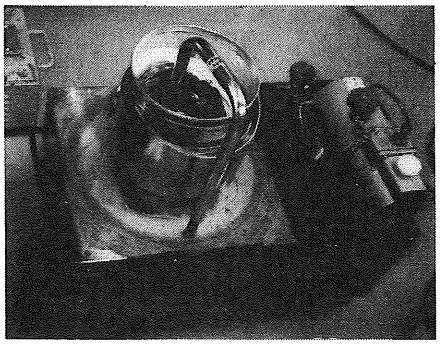
(5) シーリング材には，下地に応じて専用のプライマーがあるので，製造所の指定するプライマーを塗布してからシーリング材を施工する。

(6) 2成分形シーリング材の練混ぜは機械練混ぜを原則とし，直射日光，雨露をさけ，ごみ，ほこりの少ない場所を選び，気泡が混入しないように注意する。

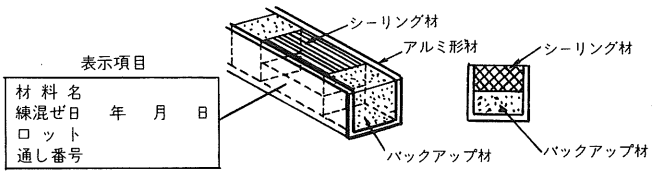
混合比は製造所の指定によるものとし，練混ぜ量は可使時間内に施工し終わる量とする。(9.8.5図参照)

やむを得ず手練りとする場合は，小型の缶にはいったものを使用し全量を練板上に移して一度に練り上げる。練混ぜ時間は10分以上とする。

(7) 「共仕」9.4.5(2)(vi)では2成分形シーリング材を用いる場合は，充てんされたシーリング材の



9.8.5図　練混ぜ機械



9.8.6図　サンプリング例

硬化の経過や硬化状態を確認するため，各ロットごとにサンプリングを行うことと定められている。

この場合のサンプリングの採取方法は，1日1回かつ各製造ロットごととし，アルミニウム製チャンネルに練混ぜたシーリング材を充てんし，材料名・練混ぜ年月日・ロット番号・通し番号を表示する。(9.8.6図参照)

(8) シーリング材の充てんは，プライマー塗布後，製造所の指定する時間内に行う。

指定時間を経過した場合又は塗布後，ごみ，ほこり，水分などが付着した場合には，清掃溶剤（トルエン，ノルマルヘキサンなど）で清掃を行い，プライマーを再塗布し，充てんを行う。

(9) 充てんには，一般にコーキングガンを使用し，完全に目地の隅々まで行きわたるように加圧しながら施工する。

コーキングガンのノズルは，目地幅よりわずかに細く，底まで届くものでなければ充てんは不完全になる。

充てん後は必ずへら押さえを行い，下地と完全に付着させるとともに，表面の凹凸をならして滑らかに仕上げる。

(10) 異種シーリング材とは接触させないことが望ましいが，やむを得ない場合には取合うシーリング材の製造所の資料，シーリング材の種類，施工手順及びプライマーを十分検討して施工する。

異種シーリング材が取合う場合には，シーリング材相互間の接着性試験を行うことが望ましい。

なお，異種シーリング材の取合いの適否の判断の一般的な目安を9.8.4表(異種シーリング材の取合いの適否：シーリング材ハンドブッグ表2.11シーリング材の打継ぎ；省略）に示す。

(11) 施工時に被着体が5℃以下又は50℃以上になる恐れがある場合には，作業を中止する。やむを得ず作業を行う場合には，保温，断熱などの処置を行わなければならない。

(12) 目地からシーリング材がはみ出し，仕上面の美観を損なう恐れがある場合は，マスキングテープを張って，充てんし，へら押さえ後直ちにマスキングテープをはぎとる。

(13) 充てん箇所以外にシーリング材が付着した場合は，直ちに清掃溶剤などでふきとり清掃する。

(c) 不定形弾性シーリング材の工法（「共仕」9.4.1表のE種）

(1) 下記以外は上記(b)による。

(2) 目地深さが所要の寸法であれば，バックアップ材又はボンドブレーカーを要しない。

(3) 充てん後，硬化過程において水分の蒸発に伴う材料収縮があるので，充てん量に注意し，表面は平滑に仕上げる。

(4) 施工直後の降雨によって流失する恐れがあるので，注意しなければならない。

(5) 充てん箇所以外に付着した場合には，直ちに水でふきとり清掃する。

(d) 油性コーキング材の工法（「共仕」9.4.1表のF種）

(1) 目地などの形状は，凹凸，広狭などがないように成形されたものでなければならない。また，シール後，だれなどの変形を生じないような目地寸法になっていることが必要である。

(2) 目地に水分が付着していたり，モルタル，コンクリートなどが湿っている場合は，十分乾燥させ，また油分，ごみ，モルタルくず，さび，塗料などが付着し，汚れている場合は入念に除去清掃する。

(3) 油性コーキング材の場合には，目地深さが所要の寸法であれば，バックアップ材又はボンドブレーカーを要しない。

(4) 油性コーキング材の場合には，プライマーを省略することができる。

(5) 充てんには，一般にコーキングガンを使用し，完全に目地の隅々まで行きわたるように加圧しながら施工する。コーキングガンのノズルは目地幅よりわずかに細く，底まで届くものでなければ充てんは不完全になる。

充てん後は必ずへら押さえを行い，下地と完全に付着させるとともに，表面の凹凸をならし

て滑らかに仕上げる。

(6) 油性コーキング材と他のシーリング材とが接触するような取合い箇所は，設けないようにする。

やむを得ない場合は，シーリング材を先に充てんし，2週間以上の十分な硬化期間を置いてから油性コーキング材を充てんする。

(e) 日本シーリング工業会では，工事の管理者のための資格制度を設けている。

9.8.11 検　査

(a) 「共仕」9.4.6では，外部シーリングについては下記の検査を行うこととしている。

(1) 目地に対して正しく充てんされていることを目視などで確認し，またシーリングの硬化及び接着状態も指触などにより確認して，その結果を監督員に提出して，承諾を受ける。

(2) 硬化，接着などの不具合がある場合は，切取り検査を行う。なお，切取った部分は，直ちに充てんして補修する。

(3) 切取り検査は，不具合のあった材料ロットごと，かつ同日に行った部分について3箇所とする。

(4) 切取り検査の結果，不具合があった場合は，監督員と協議を行う。

(b) 具体的内容は下記による。

(1) 目視及び指触検査

① 色　調：指定色との違いはないか。

② 波うち：仕上げ状態に波うちが多くないか。

③ 硬化状態：シーリング材が弾性体でなく未硬化状態ではないか。

（手に材料が付着する）

④ 巻き込み気泡の程度：3～5㎜程度の気泡が表面上に多くないか。

（へこみ又はふくれ）

(2) へら押さえ検査

被着面とシーリング材の接着性：接着面を3～5㎜程度へラ押さえした時，はく離現象は起きないか。

(3) 切取検査

(i) 試験項目

① 外観検査

② 引張試験

(ii) 試料の採取

① 試料は上記(a)(3)により，1箇所当り原則として50cmの試料を採取する。

採取した試料は，採取箇所を明示し，引張試験に供するため，小巻きにしない。

② 採取した試料を長さ10cmに切断し番号を付ける。

(iii) 試料のスライス

① 長さ10cm，幅5cmのアルミニウム合金及び木材などの板材の上に，適切なシーリング材又は接着剤を幅約3cm，厚さ約1cmに盛り上げ，その上に切取り試料の底部を押しつけて表面が水平になるように固定する。（9.8.7図参照）

② 50°Cで約7日間硬化させてから約2～2.5㎜のステンレス板をガイドとして，薄刃の刃物（カッターの刃）でスライスし，表層のものを試験対象とする。(9.8.8図参照)

(iv) 外観検査

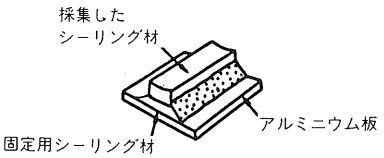
各試験片ごとに下記の項目について観察し記録する。

① 気泡の有無と程度

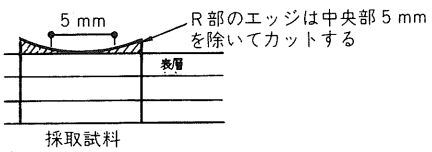
② 練混ぜ不良の有無と程度

③ 断面形状及び寸法

(v) 引張試験片



9.8.7図　固定方法



9.8.8図　スライス方法

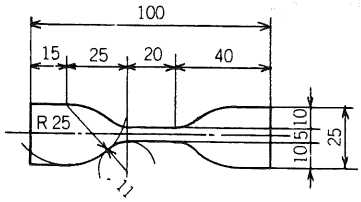
① 試験片は，上記外観検査の結果異常がなく，かつ厚みの均一なものとする。

② 試験片の成形は，JIS K 6301（加硫ゴム物理試験方法）に規定されているダンベル状3号形試験片に打ち抜く。その場合，試験片の平行部が不均一な厚さになったり，大きな気泡に当たらないように注意する。（9.8.9図参照）

③ 試験片の厚さ及び幅の測定に用いる測定器は，0.01㎜の目盛をもつマイクロメーター又はダイヤルゲージ付厚さ計を用いる。

厚さの測定は，試験片の平行部の数箇所で行い，測定値の最低値をその試験片の厚さとする。

幅，打ち抜き型の刃の幅（5㎜）をそのまま用いる。



9.8.9図　ダンベル状3号形試験片(単位：㎜)

(vi) 引張試験

① 標準状態又は常温において，200㎜/minの引張速度で試験片が破断するまで引っ張る。

② 20㎜の標線間距離が50㎜になった時の荷重，更に最大荷重及び標線間距離を読み取り，以下の特性値を算出する。

㋑ 150%引張応力（kg/㎠）

㋺ 最大引張応力（kg/㎠）

㋩ 最大荷重時の伸び（%）

㋥ 破断時の伸び（%）

(vii) 測定結果の判断

当該シーリング材の製造所が提示しているダンベル状3号形試験片の150%引張応力，最大引張応力，最大荷重時の伸び及び破断時の伸びの各平均値 $\bar{x}$ と標準偏差 σ を用い，9.8.1式により合格下限値sを算出する。

合格下限値sを上記(vi)の測定値のうち1つでも下まわれば不合格とする。

ただし，試験片に傷や気泡などの欠損が認められたものは除外する。

$$s=\bar{x}-3\sigma \cdots\cdots \text{(9.8.1式)}$$

9.8.12 養　生

シーリング材を充てんした箇所は，ほこり，ごみなどの付着，汚染，損傷などの恐れのある場合には養生する。養生はシーリング材の性質，施工，仕様に応じて行う。

なお，「共仕」15.6.1(1)により，溶剤を用いた材料などによりシーリング材と被着体との接着性が阻害される恐れがあるので，シーリングの施工面には，溶剤を用いた吹付け材及び仕上げ材を用いてはならない。

9.8.13 用語の説明（省略）

当会では先頃行なった第13回シーリング管理士試験および第11回シーリング技術管理士の合格者を決定，上位合格者それぞれ5名は5月17日の総会で表彰される。

結果内容は，シーリング管理士については講習受講者52名が受験，うち合格者39名(合格率75%)，シーリング技術管理士については100名が受験，うち合格者が81名（同81%）となっている。

今回の試験は，静岡県田方郡函南町の生産性研修会館で2月9日から13日までの5日間にわたって実施されたシーリング管理士および技術管理士の養成講習会を経て，第5日目の13日に行なわれた。

講習内容は例年の建築一般知識，図面の見方，目地設計，施工技術，安全管理，材料，保証，積算などに加え，前年度に続きサイディングボードの目地シーリングについての科目「サイディング材とシーリング」が行なわれた。また，「シーリング防水の改修設計・施工指針」についての解説も行なわれた。

シーリング管理士・技術管理士合格者上位5名

シーリング管理士	シーリング技術管理士
松下 公俊（日本化成工業㈱）	本田 純司（大和ハウス工業㈱）
平沢 達也（アルファ産業㈱）	小森　勇（サンスター技研㈱）
丸浦 正美（㈲西部シール）	高橋　明（横浜ゴム㈱）
高木 雄一（㈲ミツワ建産）	尾崎 征洋（東レチオコール㈱）
半田 直人（クリステル工業㈱）	松田　忠（日本アルミニウム工業㈱）

これらの知識を実際の現場で有効に活かせる技術者の養成を目的としているため，資格判定基準もかなり厳しいが，現場監理者および技術管理者資格に対する認識の高まりから，毎年受験者は増加しており，前回に続き今回も申し込み時点で既に定員をオーバーした。なお，管理士，技術管理士の平均合格率は78%だった。

今回の合格発表で現在の有資格者は，シーリング管理士が358名，シーリング技術管理士が521名となった。

シーリング管理士合格者名簿（39名）

吉田英治	京葉シール㈱
飯塚安雄	拓友防水工業㈱
平間栄	〃
檜木健史	㈱占部防水工業
佐無田良文	〃
石原洋邦	アオケン㈱
川口智治	㈱岩本商店
中村勝則	㈲中村コーキング工業
高橋直史	㈲山本コーキング
熊沢実	㈱三栄
石上正秋	㈱静岡コーキング工業
高木雄一	㈲ミツワ建産
丸浦正英	㈲西部シール
岩間鉄雄	㈲東北シール工業
大崎利行	愛知トヨタ興業㈱
平沢達也	アルファ産業㈱
狭間秀樹	㈱マサル
塩田延明	〃
半田直人	クリステル工業㈱
沢賢造	㈱工業技術研究所
芝田俊幸	理建工業㈱
幸本和史	〃
野口共成	〃
小熊邦彦	北洋コーキング㈱
浅倉康明	日本ビソー㈱
大谷信幸	〃
松岡直樹	四国日本工材㈱
泉川嘉教	㈱濱建
高橋道弘	東北化工㈱
石田守	㈱東洋防水
坂下公要	〃
坂下芳春	〃
三木拓	八鉱シーリングコンサルタント
寺田盛雄	〃
松下公俊	日本化成工業㈱
赤石一	㈱天草シール
坂元雅彦	〃
平井祐一	不二興業㈱
土屋智	㈱東光商会

シーリング技術管理士合格者名簿（81名）

南保宏樹	吉田工業㈱
野崎勇一	〃
東高士	〃
平山立夫	〃
楠利公	〃
原橋信二	〃
和多田誠	吉田商事㈱
越川仁志	㈱ＹＫＫ千葉
小川正広	〃
葉騰俊幸	㈱ＹＫＫ埼玉
増田聡	〃
秋月浩之	㈱ＹＫＫ大分
田中昭彦	福岡ＹＫＫ工業㈱
水腰雅巳	㈱ＹＫＫ富山
長谷部豊	化成品通商㈱
早川秀樹	㈱東郊産業
木村英之	〃
明石憲二	㈱タイルメント
米沢富夫	〃
三浦清	東洋商事㈱
尾崎征洋	東レチオコール㈱
中島暢	〃
笹ノ間充	㈱日東
大山誠	〃
茄子川俊	㈱大豊工業所
加納保	三協アルミニウム工業㈱
勘坂真司	〃
梶原祥一	サンスター技研㈱
斉藤隆良	〃
森田哲広	〃
小森勇	〃
高柳邦重	東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱
森秀之	〃
川村直司	〃
谷口哲	〃
島田浩貴	〃
黒田佳伸	〃
荻野耕造	サンライズメイセイ㈱
山内誠	日本シーカ㈱
森田要一	東芝シリコーン㈱
大和俊夫	〃
安西正吉	〃
大下淳宏	セントラル硝子㈱
刀根定司	〃
岸憲孝	テイパ化工㈱
吉川敏郎	日東ポリマー工業㈱
梅本邦夫	〃
桜井喜代裕	昭石化工㈱
広川康弘	〃
本田純司	大和ハウス工業㈱
松田忠	日本アルミニウム建材㈱
鈴木快典	セメダイン㈱
水野政幸	〃
田原健治	㈱横山商会
荒屋外志夫	㈱横山産業
足立慎治	モリシタ化学産業㈱
鳥羽啓之	〃
柏木顕正	鐘工業㈱
高村博之	トーヨーサッシ㈱
尾田幸正	〃
長沢広章	〃
岡和雄	〃
土屋勝広	〃
菊地正紀	福岡トーヨーサッシ工業㈱
国崎悟	〃
高田拓佶	㈱新和技建
高橋明	横浜ゴム㈱
森博幸	〃
正田和久	ヨコハマゴム工業品関西販売㈱
矢倉康次	〃
安倍克也	ヨコハマゴム工業品中部販売㈱
米沢忠芳	ヨコハマゴム工業品東北販売㈱
佐野英一	ヨコハマゴム工業品東京販売㈱
長谷川浩	東京ハマタイト㈱
土本高史	日本添加剤工業㈱
遠藤直樹	三洋工業㈱
木村光延	〃
石岡庄厚	〃
佐々木実	日本建鉄㈱
沢口雅之	〃
赤間正典	フヨー㈱

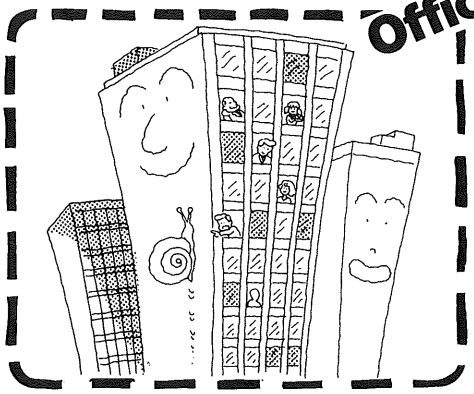
戸建住宅から
超高層ビルまで

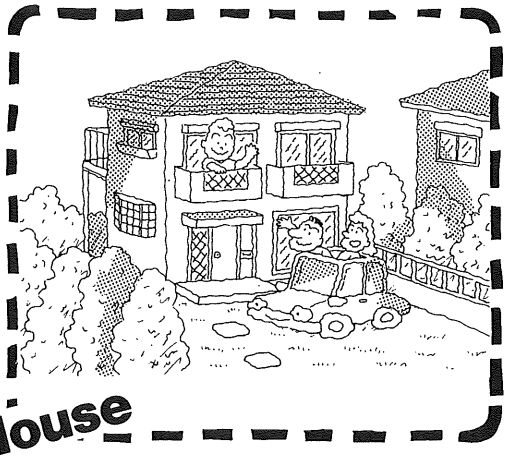
Kanebo-NSC Features & Benefits

KBKシーリング工法

ビル・マンション・学校・工場等に
ベルエースシリーズ
（缶入りタイプ）

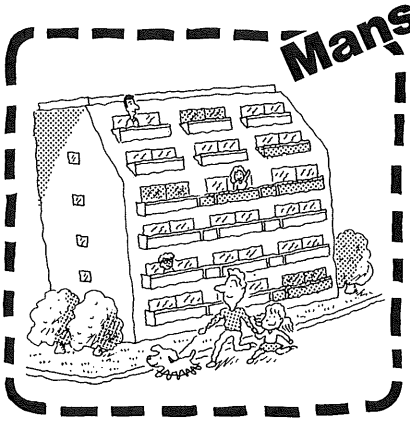
ベルエースMS	2成分形変成シリコーン系
ベルエースワン	1成分形変成シリコーン系（カートリッジタイプ）
ベルエースP-5000	2成分形ポリサルファイド系
ベルエースP-6000	2成分形ポリウレタン系
ベルエースP-4000	1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系
ベルエースP-3000	1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系

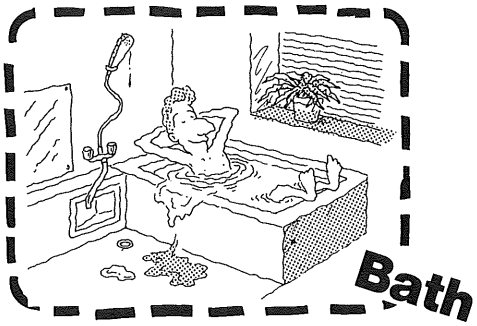




内装・設備・戸建住宅等に
デュアリボンシリーズ
（カートリッジタイプ）

デュアリボンMS	1成分形変成シリコーン系
デュアリボン6500	1成分形ポリウレタン系
デュアリボン4000	1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系
デュアリボン3000	1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系

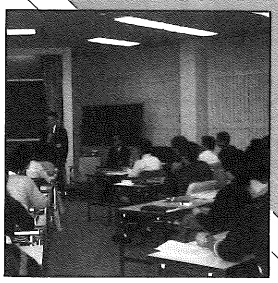




カネボウ・エヌエスシー株式会社

本社・大阪営業所	〒562 大阪府箕面市船場西1丁目6番5号 カネボウ千里ビル	☎(0727)28-4701	FAX (0727)28-3333
東京営業所	〒102 東京都千代田区平河町1丁目3番13号 菱進平河町ビル	☎ (03)263-4701	FAX (03)263-4705
名古屋営業所	〒450 名古屋市中村区名駅4丁目17番19号 錦紡ビル	☎(052)583-8606	FAX (052)583-8608
広島出張所	〒733 広島市中区舟入幸町18番地11号 サンケイ・ハイム	☎(082)234-9322	FAX (082)234-9323
福岡出張所	〒810 福岡市中央区大手門3丁目7番19号	☎(092)715-5378	FAX (092)752-0024
四国出張所	〒760 香川県高松市木太町8区4062-4	☎(0878)66-2287	FAX (0878)66-2296

検定講習で思うこと



検定副委員長
松浪久夫

シーリング管理士，技術管理士の検定講習会は熱海の梅が咲き始める頃に行われます。今年も，まさにその季節，２月９日から13日迄の５日間，静岡県函南町の日本生産性本部研修会館で実施されました。

この会館は富士山麓に隣接する小高い丘の上にあり，晴れた日には雪化粧した霊峰富士が眼前にクッキリと浮かびあがります。また，夜は遠くに熱海市の夜景を一望できるところでもあります。

この周辺には遊興施設らしきものは全くなく，当日全国から集う受講生の皆さんは，まず始めにこの施設の広さと同時に，勉強をするしかない環境を十分に認識させられることになるのです。

講義は朝の８時から夜８時半迄，一日だけでも大変に疲れるものですが，全員に一科目も取りこぼすまいとの気迫が感じられ，真剣な雰囲気の中で，連日メニューが消化されてゆきます。

講義の終了後も皆，復習と予習とに余念がなく12時頃ならまだ宵の口，最終日の試験にそなえての猛勉強。

さらに，トップリと夜が更けて，受講生の部屋の明りが一つ，また一つと消えてゆき，最後の明りが消えるころ……

「サァー朝です。」

というような具合ですから彼らの努力の程が知れようというものです。

……アア，思えば３カ月前，送られてきた茶封筒，ぶ厚いテキストと問題集，積算演習一目見て，コリャーとても受からない，溜息まじりの愚痴まじり，落ちた時の言い訳さえ用意した人もあっただろうに……。

今は互いに啓蒙され，集中して猛勉強，全員が合格に向けて力を尽くして努力しているのです。

……アアその昔，社会人一年生の頃には，勉強の意欲があったのに，スッカリ《初心》の忘れ物，いつのまにやらこの歳に，と言う訳で勉強の文字さえ忘れてしまうのが世の常，人の常。

「なにを今更この俺が」……。

そんな心に打勝って，この検定講習会に臨んだ人もいることを思うとき，受講生の皆さんの意欲に心からこの薄い頭が下がってしまいます。強いて勉めると言う意味で勉強というそうですが，彼らにとってこの数日は，まさにその「勉強」そのものです。

こうしてむかえた最終日，無事試験も終了してのパーティーは参加者全てにとって実に楽しいものです。

受講生にとっては尚更です。

会場は一気に盛り上がり，アチコチで朗らかな笑い声があがります。

やり終えた満足感と，苦労を共にした連帯感が会場を包んでいるからです。

帰りの車中では解放感に酒の酔いも手伝ってか，居眠り族が急増するのも無理からぬこと。

でも，皆の寝息が静かなのは，きっと良い夢でもみているからでしょう。

家族の夢
仕事の夢
将来の夢

皆さん本当にご苦労様でした。
お気をつけておかえりなさい。

いろいろな思いを乗せて，バスは下界へ，下界へと下って行きます。

そして，終点の熱海では，梅が今盛りです。

《終わり》

実績と信頼の シーリング材

PS2000
JIS-A-5758　9030認定品
ボニーシーラー
ポリサルファイド系シーリング材

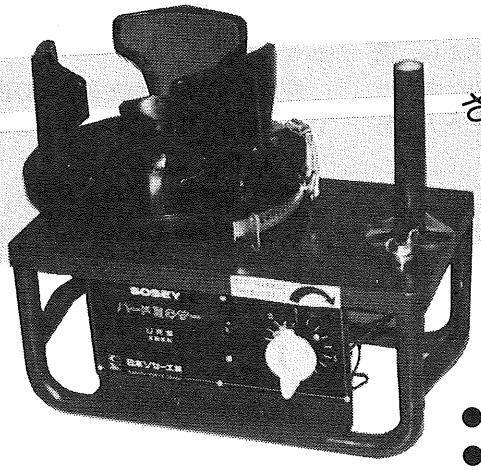
MS3000
JIS-A-5758　9030認定品
ボニーシーラー
変成シリコーン系シーリング材

U3000
JIS-A-5758　8020認定品
ボニーシーラー
ポリウレタン系シーリング材

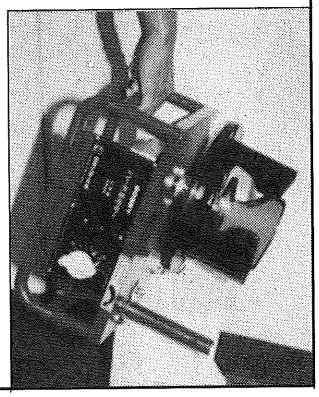
RH200D
JIS-A-6024規格合格品
エポセット
エポキシ系注入剤

テイパ化工株式会社
本　　社　〒533 大阪市東淀川区下新庄3－11－28
TEL 大阪(06)328－1118(代表)
東京営業所　〒105 東京都港区新橋6－10－3(遠江ビル)
TEL 東京(03)431－9357(代表)

SOSEY シーリング・コーキング材専用ミキサー



さらに軽く持ち運びが容易！
ハードミキサーシリーズに
ライト Light 登場!!
重量10kg



●LR型(自動反転)¥11万円
●LB型(正回転)　¥10万円
●従来型(UR・UB)も発売しております。

●高粘度ミキサーのパイオニア
日本ソセー工業

本社工場／名古屋市南区南野1－99〒457 TEL052(612)7321(代) FAX052(611)2011
東京営業所／東京都品川区西五反田8-5-1〒141 TEL 03(494)7141(代) FAX 03(490)5966
大阪営業所／大阪市淀川区西中島6-7-1〒532 TEL 06(303)7141(代) FAX 06(306)4544

● 本部事務局だより

年改まり平成２年を迎え，もうすっかり平成の年号にもなじんでしまいました。好景気，金あまりの日本，個人の懐もあったかく，正月休みを海外ですごされた方も多いことでしょう。

さて，工業会では恒例の新年会を１月17日にホテル国際観光で開催いたしました。今年は建設省営繕部工事検査官・梧原幸八郎氏より「官公庁建築工事の現状と展望について」の講演を頂きました。引続くパーティには90名に及ぶ参加者があり，時間一杯まで親睦・懇談を交わされ盛会裏に終了いたしました。新年会の参加者は年々増加の傾向にあり，裏方としては喜ばしいことです。折角の機会ですから，１社１名と言わず，より多くのご参加を願っています。

２月９日～13日にかけては，管理士検定講習会を開催，昨年に続き今年も152名の参加があり，管理士39名(合格率75％)，技術管理士81名(81％)，合計120名(79.9％)の方々が合格されました。教室の収容人員の関係から，これ以上の受講者を受け入れることが出来ないのが残念です。

引き続いて管理士の更新を実施いたしました。今年は200名を超える該当者があり，４月末日までに更新を終了する予定で作業を進めています。

３月末日が年度末ですので，決算，新予算の編成，総会準備と，事務局の一番忙しい時期です。

梅も桃の花も横目で見てすごしました。桜の季節もアッと言う間にすぎてしまうことでしょう。本誌発行の頃はヤマ場もすぎて，多少のゆとりが出てきますが，ゴールデンウイークの予定も立てていないので，今からどう過ごしたものかと思案投首のていです。

● 北海道支部の動き

長い冬も終りに近づき，春がすぐそこに来ています。

今年ほど気象変化が激しい冬は珍しく，年末の12月中旬より２月上旬まで大雪，厳寒と続き，２月の札幌雪まつり後半より今度は暖冬に一変，そのまま３月に続いて，例年より１カ月位春が早まりそうです。

このように変化の激しい今年の冬ですが，シーリング工事は依然好調で，我々メーカーも大いに喜ばしいことと思います。なお先季号にてお知らせしました日乾防との共催による新春講習会「寒冷地における窯業系防火サイディング用シーリング材について」を旭川，帯広両地区で開催，ともに多勢の参加者（約400名）があり，盛況裡に終りました。

最終報告となりましたが，この一年間乱筆にお付合頂きどうもありがとうございました。

● 仙台支部の動き

「冬来たりなば春遠からじ」正に今冬にピッタリの名句となりました。

春は何かと人の流れが早く多くなる時期，ともすれば浮かれ調子になりがちですが，私を離れれば，気になるのは「金利」「円安」「経済動向」等々，益々難しくなる経済の読み，安定成長を心より祈願……。

東北地方の当関係業界は相変わらずの人手不足，売込みに伺えば，商品より，まず人手等と言われる始末。ま，不景気と言われるよりまだましと渋々納得……。

東北シーリング工事業協同組合も建設省の正式認可を受け法人化スタート，運命共同体の我ら，来るもの（注文）拒まずの精神で頑張りたいと思います。

なお去る２月23日に支部役員会，例会を開き，新年度の新役員を選出，支部長に日立化成ポリマー㈱名原所長，副支部長に信越化学工業㈱桜井所長，会計にセメダイン㈱旗野所長が決定しました。同時に役員選出ルールを満場一致で採択，今年度も新役員ともども宜しくお願い致します。

● 東京支部の動き

２月の記録的な降雨日数で工事も遅れましたが，３月に入ってからの好天続きで久し振りに材・販・工，活況を呈しております。特に東シ協の皆様におかれましては，工程の追い込みで多忙な毎日が続いていると思われます。しかしながら季節の変わりは必ずおとずれます。御存知の通り桜前線は

例年より早く北上中，忙中閑有でゆっくりと眺めていただきたいものです。

さて，通産省の統計によりますと，昨年度のシーリング材総出荷量は,対前年比111％と2桁の伸びでしたが，利益はそれにともなっていないのが実態です。

これは7日会メンバーにも同様の事が言えます。1月の市場懇談会の席では東シ協より材・販の絆を問われております。2月のKSD・M会でも反省しきりです。今年はこの様な問題を解決するラストチャンスではないかと考えております。

“量”“質”ともに思い通りになれば願う所ですが，我々に必要なのは“質”の変換であり，支部メンバーの一層の努力が必要と判断します。7日会，東シ協皆々様の御支援賜りたく誌面を借りてお願い致します。

● 名古屋支部の動き

1月26日本部検定委員，広石真孝氏に御来名頂き30名のシーリング技術管理士受講受験生を対象に積算を主内容とした予備講習を実施してもらいました。

東京，大阪の受験生も遠路参加され，盛況の内に終ることが出来ました。皆様の御協力に深く感謝致します。

今回が2回目の開催で，前回もそうでしたが，講師の先生を始めとして受講生の皆さんが非常に熱心なことに感銘を受けました。また，今年は当地域からの管理士受講生は9名，昨年の3名増となっています。

検定本番を目前にした講師に御出張を願うことは大変心苦しく思うのですが，1名でも多くの管理士誕生を祈る当支部としては今後も継続したく御協力をお願いする次第です。

今，建設業界紙は労働者不足を伝えています。入りたがらない，定着しない，と最悪の深刻さです。いまこそ共存共栄を念頭においた行動の必要性を痛切に感じています。

● 大阪支部の動き

変革の平成元年度より，平成2年と年も変わり，大阪支部としても頑張って行きたく活動を開始しました。1月23日三井アーバンホテルで新年会を開催。中尾支部長より，工事量増大と労働力不足の傾向の中で，業界としてどう取り組むべきか問題提起がなされ，増収減益とならぬよう皆で考えていく必要性が力説されました。また，各副支部長より研修会，市場懇談会，総会等今年度行事予定の説明があり，本部より大谷会長，関シ協・竹田理事長の挨拶，なにわ会専修副会長の乾杯の音頭で新年会に入り，カラオケも交え賑やかに新春を祝いました。

2月14日日シ工，なにわ会，関シ協代表による市場懇談会を開催。設計価格と積算資料の実勢価格との格差の問題，通産統計資料による出荷・生産動向について，労働力不足と週休2日制との関連，業界の体質改善等について意見交換をはかりました。

2月19日府立労働センターで研修会を開催。テーマは(1)「建設省建築工事施工監理指針解説」(2)JIS A 5758の改正について(3)Q&Aについて（本部技術副委員長・山内氏）(4)通産省シーリング材生産統計説明（サンスター技研㈱西村氏）――で，多数の出席の下に研修致しました。

3月8日平成2年度支部役員候補選出のため投票実施。この結果，幹事および監事会社が選出されました。支部長等の人事は4月の幹事会で行う予定です。

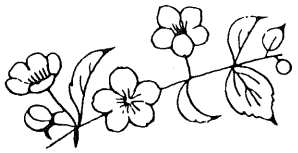
大阪支部では会の一層の発展に向け，賛助会員の新規入会を募ったところ，㈱井上製作所大阪支店，白石カルシウム㈱2社の賛同を得，平成2年度より入会していただけることになりました。本年も支部会員各位の協力を得て，地域に密着した活動を地道に行い，業界の地位向上に努めたく存じます。

● 広島支部の動き

すっかり春めいた陽気に，心の底から伸び伸びとした気分で一杯の感があります。というのも，このところ漸く天候にも恵まれ，シーリング工事業の仕事が順調にはかどり，年度末ということもあってシーリング関連諸資材の販売がほぼ順調に推移しているからに他ありません。当地区広島も，引続き建築ブームで，にょきにょきと建築最中の建物が方々で眺められます。噂では平成6年のアジアオリンピックまでは，この勢いが続くと言われています。しかし，ただ，多忙なだけでは能が無いわけで，工業会およびシーリング工事業協同組合の業界の融和と地位の向上を図るべく努力せねばならず，一層の連携と官公庁・コンサル・ゼネコン等への共同PRを計画しています。

● 九州支部の動き

3月上旬，太宰府天満宮の満開の梅の下，平安の昔を再現する曲水の宴が行われました。この宴は中国に起源を持ち，飛鳥時代に日本に伝わり，同宮では天徳9年(958年)に始まったと言い伝えられております。彎曲(わんきょく)しながら流れる庭園の水に浮かべた杯(はい)が，自分の前を通り過ぎないうちに和歌を詠むものです。また，九州各地では，早くもプロ野球オープン戦が



始まり，日一日と春が近づいています。

さて去る2月9日，九州シーリングディーラー会と工業会幹事会社との情報交換会，3月5日に工業会幹事会を開催し，平成2年工業会定例総会について打合せを行いました。

九州北部は，1月下旬より天候不順に悩まされ，工期の遅れが官公庁の年度末と重なり，各工事店とも期日と人手不足に泣いている状況です。

ビルを駆ける フヨータイト (熱線反射ガラス映像調整バックアップ材)

シーリング材
シリコーン1液2液　変成シリコーン
ポリサルファイド
ウレタン1液2液
アクリル　ブチル　油性

物流機能更に充実

バックアップ材
角型　丸棒　超硬質　特殊形状
ゴムグレイジングロープ
マスキングテープ
他副資材

★防水吹付材・エポキシ注入材
★エポキシライニング材・防水塗床材
★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入

フヨー株式会社
本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel. 03(626)3371(代)
大阪支店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel. 06(395)0201(代)
仙台営業所/〒982仙台市太白区富沢3-28-30 Tel.022(244)4911(代)
横浜営業所/〒248横浜市保土ヶ谷区東川島町62-1 Tel.045(373)7234

注目の的！

JIS耐久性区分9030に合格

高性能一成分形ポリウレタンシーラント

JIS A 5758
PU-1-9030-A-N
許可番号386031

AUTONSEALER 101A

■ 特長
- ○一液ですので、計量、混練、脱泡などの手間がいりません。
- ○モジュラスと伸びとのバランスが良く、振動伸縮に対する追従性が優れています。
- ○多くの被着体に対し非常に優れた接着性をっています。
- ○硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
- ○耐候性、耐熱耐寒性、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたり高性能を維持します。

■ 荷姿　カートリッジ（320mℓ）25本入りカートン箱
ミニペール缶（4ℓ）2個入りカートン箱、
ペール缶（12ℓ）

■ 色　グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー

製造元

オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋2－23－1　☎(03) 437－3482(代表)
大阪市淀川区東三国1-12-15　☎(06) 396－1421

発売元

株式会社 岩田商会

札幌	011-741-3302	名古屋	052-231-8591
仙台	022-266-1007	大阪	06－356-1121
東京	03－438-0511	広島	0822-49-7642
長野	0262-93-4328	福岡	092-472-0235
浜松	0534-64-6331		

高性能カルテット「変成ポリサルファイド系シーリング材」

変成ポリサルファイド系ポリマー（パーマポール®）を主成分とした酸素硬化型一成分形シーリング材。

耐久性がよい

露出使用でも長期間表面にクラックが生じません。

耐候性がよい

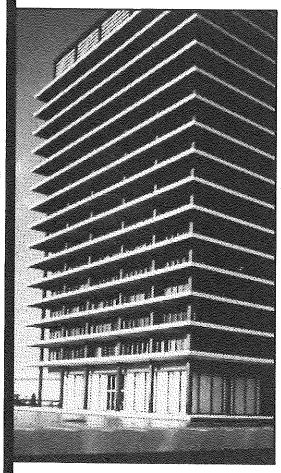
低モジュラス、高伸びであり、耐疲労性、復元性にすぐれ長期にわたって目地の伸縮に対応できます。

安定性がよい

酸素硬化型ですので硬化時の温度湿度依存性が少ない。また貯蔵安定性もすぐれています。

塗装性がよい

塗料との密着性がよく塗料を汚しません。しかも石目地、タイル目地などに対する汚染がありません。



変成ポリサルファイド系シーリング材は、建築・複層ガラス用シーラントとしてアメリカをはじめ世界各国で20年以上の実績があります。

変成ポリサルファイド系ポリマー

パーマポール®

日本触媒

日本触媒化学工業株式会社

成形品営業部●東京(03)506-7553東京都千代田区内幸町1-2-2(日比谷ダイビル)●大阪(06)223-9225大阪市中央区高麗橋4-1-1(興銀ビル)

建築用シーリング材

ミリオネートシリーズ

カーテンウォール工法が主流になって以来、シーリング材も高度な性能が要求されてきています。シーリング材は種類による性能のちがいが大きく、建物のシール部位により適用するシーリング材は適切な種類を選ぶ必要があります。そこで我社は2成分形シーリング材のさきがけであるミリオネートNSの他にこの度、変成シリコーン系(NS300)、ポリサルファイド系(NS200)の2成分形シーリング材の開発を致しました。今後とも、技術の進歩にともない益々高性能、高品質化をはかる所存です。

〈主な種類〉

- **NS-300** 〈変成シリコーン系〉
- **NS-200** 〈ポリサルファイド系〉
- **NS-Ⅲ** 〈ポリウレタン系〉
- **ミリオネートシーラー** 〈1成分ポリウレタン系〉

〈主な特長〉

- JIS認定品
- 着色方法合理的なカラートナー式
- 耐久・耐候性良好
- 被塗装性良好
- 石材を汚染しない
- 経済性に優れる

〈用　途〉

- ◆金属、PCカーテンウォール
- ◆各種笠木目地(NS-200、NS-Ⅲ)
- ◆サッシ、窓ガラス廻り
- ◆コンクリート、モルタル各種目地(NS-Ⅲ)
- ◆各種パネル目地

▼プライマー種類

項目＼プライマー	MS－300用プライマー	MS－200用プライマー	MS－60	CB－20D
状　態	1液　無色透明液	1液　褐色透明液	1液　微褐色透明液	1液　微褐色透明液
乾燥時間(20℃)	10分	30分	3時間	30分
シーリング材の充てん時間(20℃)	乾燥後から2時間	乾燥後から3時間	塗布後30分から6時間	乾燥後から4時間
開封後の処置	当日内に使い切る(不使用時密栓)	当日内に使い切る(不使用時密栓)	当日内に使い切る(不使用時密栓)	当日内に使い切る(不使用時密栓)
貯蔵限度(冷暗所貯蔵)	6ケ月	6ケ月	6ケ月	6ケ月
包装・容量	500g缶入 1ケース＝12缶)	500g缶入 (1ケース＝12缶)	500g缶入	800g缶入
主用途	ガラス	塗装面	汎　用	コンクリート、木部
適用シーリング材	ミリオネートNS－300	ミリオネートNS－200	ミリオネートNS－Ⅲ	ミリオネートNS－Ⅲ

保土谷建材工業株式会社

本社　〒105 東京都港区浜松町1-18-14　TEL.03(437)9471(代)
スパックスビル2F　FAX.03(433)5720

●大阪営業所☎ 06(203)4651　●福岡出張所☎092(751)3506　●新南陽出張所☎0834(63)8363
●札幌出張所☎011(231)7618　●名古屋営業所☎052(231)7225

建築用シーリング材参考標準設計単価

平成２年４月１日

(単位:m当り円)

材料区分	積算基準(円／ℓ)	目地寸法(幅×深さmm)	材料価格	材料ロス	労務費	副資材費	諸経費 直接経費	諸経費 間接経費	施工単価	備考
シリコーン系 1成分形	5,600	10×10	560	168	520	149	112	331	1,840	
		15×10	840	252	607	182	150	449	2,480	
		20×10	1,120	336	714	216	191	563	3,140	
シリコーン系 2成分形	4,800	10×10	480	96	552	149	102	301	1,680	
		15×10	720	144	650	182	136	398	2,230	
		20×10	960	192	791	216	173	508	2,840	
		20×15	1,440	288	933	254	233	692	3,840	
		25×15	1,800	360	1,103	289	284	844	4,680	
		30×15	2,160	432	1,300	327	338	1,003	5,560	
		40×20	3,840	768	1,733	399	539	1,601	8,880	
変成 シリコーン系 1成分形	5,500	10×10	550	165	520	149	111	325	1,820	
		15×10	825	248	607	182	149	439	2,450	
		20×10	1,100	330	714	216	189	561	3,110	
変成 シリコーン系 2成分形	4,400	10×10	440	88	552	149	98	293	1,620	
		15×10	660	132	650	182	130	386	2,140	
		20×10	880	176	791	216	165	492	2,720	
		20×15	1,320	264	933	254	222	657	3,650	
		25×15	1,650	330	1,103	289	270	798	4,440	
		30×15	1,980	396	1,300	327	320	947	5,270	
		40×20	3,520	704	1,733	399	508	1,506	8,370	
ポリサル ファイド系 2成分形	4,400	10×10	440	88	552	149	98	293	1,620	
		15×10	660	132	650	182	130	386	2,140	
		20×10	880	176	791	216	165	492	2,720	
		20×15	1,320	264	933	254	222	657	3,650	
		25×15	1,650	330	1,103	289	270	798	4,440	
		30×15	1,980	396	1,300	327	320	947	5,270	
		40×20	3,520	704	1,733	399	508	1,506	8,370	
アクリル ウレタン系 2成分形	3,700	10×10	370	74	552	149	92	273	1,510	
		15×10	555	111	650	182	120	352	1,970	
		20×10	740	148	791	216	152	453	2,500	
		20×15	1,110	222	933	254	202	599	3,320	
		30×15	1,665	333	1,300	327	290	855	4,770	
ポリウレタン系 1成分形	3,000	10×10	300	90	520	149	85	256	1,400	
		15×10	450	135	607	182	110	326	1,810	
		20×10	600	180	714	216	137	403	2,250	
ポリウレタン系 2成分形	2,500	10×10	250	50	552	149	80	239	1,320	
		15×10	375	75	650	182	103	305	1,690	
		20×10	500	100	791	216	129	384	2,120	
		20×15	750	150	933	254	167	496	2,750	
		25×15	938	188	1,103	289	201	601	3,320	
		30×15	1,125	225	1,300	327	238	705	3,920	
		40×20	2,000	400	1,733	399	363	1,075	5,970	
アクリル系	1,200	10×10	120	24	364	149	53	160	870	
		15×10	180	36	428	182	66	198	1,090	
		20×10	240	48	499	216	80	237	1,320	
ＳＢＲ系	1,000	10×10	100	20	364	149	51	146	830	
		15×10	150	30	428	182	63	187	1,040	
ブチルゴム系	1,200	10×10	120	24	364	149	53	160	870	
		15×10	180	36	428	182	66	198	1,090	
油性	1,000	10×10	100	20	364	18	40	118	660	
		15×10	150	30	428	27	51	154	840	
		20×10	200	40	499	37	62	182	1,020	

注）1.　製造業者，JIS規格合否，或いは地域による物流費などの差異によって多少変動することがあります。

注）2.　上記価格には消費税は含まれておりません。

建築用シーリング工事参考標準設計単価付帯条件

1. 施工時の材料を次のように設定する。
   (1) 2成分形シーリング材のロスは20%とする。
   (2) 1成分形シーリング材のロスは30%とする。(仕上げ時にはみだした材料の再使用ができない)
   (3) (a) ガラス：ガラス突付け …… 50%
   (b) ガラス：ガラス+リブ付 …… 100%

   〔ガラス上下の中間にブレ止め用の器具を取り付け，気泡が混入しないよう2～3方向から同時に充填し，同時にヘラ仕上げをする。その際，はみだした材料は再使用できない。
   また，ブレ止め部のダメ工事がある。〕

2. ゴンドラ使用の場合は，次の通りとする。
   (1) ゴンドラは無償供与とし，揚重・取付け点検費用は別途とする。
   (2) 階層割増しは，下記のように設定する。

項目＼階高	31m以下	31m以上	備考
a 労務費	40%アップ	50%アップ	・ゴンドラの盛替え作業 ・未作業昇降時間，大規模現場の場内運搬，その他の管理業務等の費用がa，bに含まれる。
b 直接経費	25%アップ	50%アップ	
c 間接経費	a，bに準じてアップする		
作業稼働日数の平均	18日／月	16日／月	

※ゴンドラ作業の計算例

項目＼階高	材料	積算単価	目地寸法	材料価格	ロス	労務費	副資材	諸経費 直接	諸経費 間接	施工単価	アップ率
31m以下	ポリサルファイド(2成分)	4,400円/ℓ	20×10	880	176	1,107	216	238	573	3,190	17.2%
			20×15	1,320	264	1,306	254	314	762	4,220	15.6%
31m以上			20×10	880	176	1,187	216	295	606	3,360	23.5%
			20×15	1,320	264	1,400	254	387	795	4,420	21.1%

3. 本価格の適用は目地長さ500m以上とする。
4. 施工体系

2次工事業者 → 1次工事業者 → 関連業者 → ゼネコン → 設計事務所 → 施主

注) シーリング工事の流れは非常に複雑で，上図のようにいくつかの段階を経て工事業者に発注される場合が多い。図中の関連業者とは防水，サッシ，PC，カーテンウォール，ガラス業者等を指す。
また1次工事業者は施工管理のみを行ない実際の工事は2次工事業者以下が行なう場合が一般である。

上表に示す価格はゼネコンが施主から請負う段階での標準的な単価である。

建築用シーリング材市販製品一覧

シリコーン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱ エービーシー商会	ABCシリコーンカートリッジ	クリアー,ホワイト,グレー,ブラック,ダークブラウン,アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
コニシ㈱	ボンドシリコーンコーク	グレー,クリアー,ホワイト,ダークブラウン,アルミ,ブラック,アイボリー,アンバー,ダークアイボリー,防カビ剤入ホワイト・ダークアイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
サンスター技研㈱	ペンギンシール2505	クリアー,ホワイト,アイボリー,グレー,ダークブラウン,ブラック	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス ⓓ9030G
	ペンギンシール2520	ホワイト,グレー,アイボリー,ブラック	3ℓセット	100:2.7:(6.5~8.0)	低モジュラス ⓓ10030
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールS	クリアー,グレー,アンバー,アイボリー,ホワイト,アルミ	330mℓカートリッジ	1成分形	
信越化学工業㈱	KE42	クリヤー,白,黒,グレー,アルミ,アンバー,ダークブラウン,アイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型
	シーラント45	クリヤー,白,黒,グレー,アルミ,アンバー,アイボリー,ダークブラウン,ダークアイボリー,ダークグレー	330mℓカートリッジ	1成分形	ⓓ9030G 高モジュラス オキシム型汎用
	KE422	クリヤー	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型,水槽用
	KE420	ハイクリヤー(高透明)	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 高透明,酢酸型
	シーラント4588	白,アイボリー,ダークアイボリー,ライトグレー	330mℓカートリッジ	1成分形	ⓓ9030G 防かび性, オキシム型
	シーラント72	グレー,ダークブラウン,アンバー,アイボリー	330mℓカートリッジ	1成分形	ⓓ9030G 中モジュラス, アルコール型
	シーラント70	白,グレー,アンバー,黒,ブラウン,アイボリー,ブロンズ	3ℓセット カラーマスター方式	10:1	ⓓ10030 低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント701	白,グレー,黒,アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント79	白,グレー,アンバー,黒,ブラウン,アイボリー,ブロンズ	3ℓセット カラーマスター方式	100:10:0.71	塑性シーラント, 3成分形, アミノキシ型
	シーラント74	白,グレー	3ℓセット カラーマスター方式	10:1	低モジュラス, 60分耐火 アミノキシ型
	シーラント90	黒,グレー	330mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス, SSG用 アルコール型
	シーラント76	黒,グレー	3ℓセット	10:1	中モジュラス, SSG用 アミノキシ型
	シーラント92	黒	3ℓセット	10:1	超高モジュラス SSG用 アルコール型

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱スリーボンド	スリーボンド5211	ホワイト,クリアー,アルミ,グレー,アイボリー,アンバー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型
	スリーボンド5221	ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	防カビ型
	スリーボンド5271	ホワイト,グレー,アンバー	3ℓセット	10：1	低モジュラス
	スリーボンド5241	ホワイト,クリアー,アンバー,グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
世界長㈱	セカイチョーシーラーＳＩ	クリアー,ホワイト,ダークブラウン,グレー,ライトアイボリー,ダークアイボリー,アルミグレー,黒	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
セメダイン㈱	セメダイン シリコーンシーラー8060	クリアー,アルミ,ホワイト,アンバー,ナチュラルストーン,ダークアンバー,グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	セメダイン シリコーンシーラー8065	クリアー,シルバー,ホワイト,アンバー,ナチュラルストーン,グレー,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
㈱タイルメント	アークシール　Ｓ－100	ホワイト,クリアー,グレー,アンバー,アルミ,ブラック,アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
		ホワイト,クリアー	100ｇチューブ	1成分形	オキシム型
	板金用シリコーン	ホワイト,クリアー,ニュークリーム,シルバー	150ｇチューブ	1成分形	オキシム型
㈱東郊産業	ハイシーラー#5000	クリアー,ホワイト,アンバー,アイボリー,グレー,ブラック,シルバー	330mℓカートリッジ	1成分形	
東芝シリコーン㈱	トスシール361	ホワイト,ライトグレー,グレー,ダークブラウン,ブラック	3ℓセット	100：3	㊐10030 低モジュラス アミノキシ型
	トスシール62	グレー,ダークブラウン,ブラック	3ℓセット	100：3	中モジュラス アミノキシ型 ＳＳＧ用
	トスシール63	ホワイト,アイボリー	3ℓセット	100：3	低モジュラス 防かび性
	トスシール64	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック	3ℓセット	100：3	低モジュラス 準不燃性
	トスシール67	グレー,ブラック	16ℓセット	100：3	低モジュラス 流動性
	トスシール10	ライトグレー,グレー,ダークブラウン,ブラック	500mℓフィルムパック 5ℓ丸缶	1成分形	㊐10030 低モジュラス アミノキシ型
	トスシール371	クリアー,ホワイト,グレー,アルミグレー,ブラック,ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型,速硬性
	トスシール73	ホワイト	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび性 酢酸型
	トスシール381	クリアー,ホワイト,グレー,アルミグレー,ダークブラウン,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	㊐9030Ｇ オキシム型
	トスシール83	ホワイト,アイボリー,ライトアイボリー,ダークアイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび性 オキシム型
	トスシール380	ホワイト,グレー,ダークブラウン	333mℓカートリッジ 4ℓ丸缶	1成分形	低モジュラス アルコール型
	トスシール90	ライトグレー,グレー,ダークブラウン	3ℓセット	100：3：0.64	油性目地補修用, 3成分形
	トスシール1200	ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型 ＳＳＧ用
	トスシール52	ブラック	2ℓセット	100：10	高モジュラス アルコール型 ＳＳＧ用

会　社　名	商　品　名	色	容量・荷姿	混合比	備　考
東芝シリコーン㈱	トスシール300	ブラック	2kgセット	1：1	フォーム 貫通部シール用
	TGS711	ブラック	3ℓセット	100：10	超高モジュラス アルコール型 複層ガラス用
東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	SH780	クリアー,ホワイト,グレー,アイボリー,ニューアイボリー,アルミ,アンバー,ブラック,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㈹9030G 無酸型
	SH781	クリアー,ホワイト,グレー,アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㈹9030G 酢酸型
	SH790	ホワイト,グレー,ナチュラルストーン,アンバー,ブラック,アイボリー	1/2ℓフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	SE797	ブラック	2ℓセット	10：0.5	SSG用
	SE798	ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	SSG用
	SE1811	ブラック	1.5ℓセット	1：1	貫通部シール 耐火充填材
	SE1900	ブラック	1.5kgセット 40kgセット	1：1	貫通部シール フォーム
	SE555	グレー,アンバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㈹9030G 脱アルコール 中モジュラス
	SE778	グレー,アイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	オキシム 低温用
	SE777	スーパークリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	SE5003	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	準不燃性
	SE5010	ホワイト,アイボリー,ニューアイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	㈹9030G 無酸型, 防かび性
	SE5085EC	ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	導電性 電磁波シール
	SE9090	グレー	1/3ℓカートリッジ 4ℓ	1成分形	マスチックタイプ (表面のみ硬化)
	SE794	グレー,アンバー	3ℓセット	100：3	準不燃性 カラーマスター
	SE796	グレー,アンバー	3ℓセット	100：3	中モジュラス SSG用 カラーマスター
	SE792	ホワイト,アイボリー,グレー,ナチュラルストーン,アンバー,ブラック	1/3ℓセット	100：2.5	㈹10030 低モジュラス カラーマスター
	SE9500	ブラック	1kg缶	10：1	超高モジュラス 複層ガラス用
日東ポリマー工業㈱	ニューワイドシーラー	クリアー,グレー,ホワイト,アンバー,シルバー,アイボリー,ブラック	330mℓカートリッジ	1成分形	
日本フランシール㈱	ロードシルV−2	クリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 中モジュラス
	ロードシル3−B	クリアー,グレー,ホワイト,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	ロードシルV−70	クリアー,グレー,ホワイト,ダークブラウン,アイボリー,ブラック,アンバー,シルバー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	ロードシル5C	グレー,ホワイト,ブラック,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
バイエル合成シリコーン㈱	バイエル合成シリコーンシーラント　BA−10	アイボリー,グレー,アンバー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型, 低モジュラス
	バイエル合成シリコーンシーラント　AP−20	クリアー,ホワイト,グレー,アンバー,ダークブラウン,ブラック,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラント　AP−22	グラスクリアー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型,超透明

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
バイエル合成シリコーン㈱	バイエル合成シリコーンシーラント　BO−50	クリアー,ホワイト,アイボリー,グレー,アンバー,ダークブラウン,ブラック,アルミ	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコーンシーラント　BO−50A	クリアー,ホワイト,ダークブラウン,アンバー,ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型,速硬性
	バイエル合成シリコーンシーラント　BL−40	クリアー,ホワイト,グレー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
	バイエル合成シリコーンシーラント　MS−60	グレー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	マスチック型
横浜ゴム㈱	ハマタイトSS−310	ホワイト,グレー,ダークブラウン,アイボリー,ブラック,クリアー	333mℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	ハマタイトシリコーン70	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック	4ℓセット	10：1：(0.48〜0.57)	㈱10030

＊（　）内はカラーマスター

変成シリコーン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱エービーシー商会	ABC変成シリコーンM	ホワイト,ライトグレー,グレー,ブラウン,ダークブラウン,ブラック	4ℓ	10：1	㈱9030
	ABC変成シリコーンカートリッジ	ホワイト,グレー,アイボリー	333mℓ	1成分形	
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエースMS	グレー,ブロンズ,アンバー,ベージュ,ホワイト	4ℓセット	100：10：(3.8)	㈱9030
	ベルエースワン	グレー,ホワイト,アイボリー,ブロンズ	333mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
	デュアリボンMS	ホワイト,グレー,アイボリー,ベージュ,ブロンズ	333mℓカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工㈱	セルスーパー	ホワイト,グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	
	セルシールMS	ホワイト,グレー,アンバー	4ℓセット	2成分形	
コニシ㈱	ボンドMSシール	ホワイト,アイボリー,グレー,アンバー,ブロンズ,ブラック,ニューアイボリー	4ℓセット	100：10：(3)	㈱9030
	ボンド変成シリコンコーク	グレー,ホワイト,アイボリー,ベージュ,ブロンズ,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	
	ボンド変成シリコンコークLM	ホワイト,他	333mℓカートリッジ	1成分形	中モジュラス
サンスター技研㈱	ペンギンシール2500DRY	グレー,アンバー,ホワイト,ベージュ,ブラック	4ℓセット トナー200g	10：1：(0.4)	㈱9030
	ペンギンシール2550LM	グレー,アンバー,ホワイト,ベージュ,他30色	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス ㈱8020
	ペンギンシール2550 (パワーファイブH)	グレー,アンバー,ホワイト,ベージュ,ブラック,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス
三洋工業㈱	スリーコーンB−4000	ホワイト,グレー,アンバー,アイボリー	4ℓセット	10：1	㈱9030
	スリーコーンC−320	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー,他	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ㈱	SRシール　S50	グレー,白,ブラウン	3ℓセット×4	10：1	㈱9030
	SRシール　S70	グレー,白,クリーム,ブラウン,黒	333mℓカートリッジ 4ℓ缶	1成分形	
	SRシールS70B	クリーム,グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	防火タイプ
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールM−LM	ホワイト,グレー,アイボリー,ブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	㈱8020
	シャーピーシールM	ホワイト,グレー,ブラウン,アイボリー,ベージュ	320mℓカートリッジ	1成分形	
	シャーピーシールM−2	グレー,ホワイト,ブラウン	4ℓセット	10：1	㈱9030

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
昭石化工㈱	メトリック	グレーA,グレーB,ホワイト,ベージュ,ダークアンバー,ダークブラウン,ブラック他	4ℓセット	100:10:(3)	ⓖ9030
㈱スリーボンド	スリーボンド5222	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	
世界長㈱	セカイチョーシーラーMS	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー,ダークブラウン,ブロンズ,黒	4ℓセット	100:10:(3)	ⓖ9030
	セカイチョーシーラーM-1	グレー,ダークブラウン,アイボリー,ホワイト,黒	320mℓカートリッジ	1成分形	防カビ剤入り
セメダイン㈱	POSシールLM	ホワイト,グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	ⓖ8020
	POSシールタイプII	ホワイト,グレー,ブラック,ブロンズ,アンバー,アイボリー	4ℓセット	100:3:(3)	ⓖ9030
㈱タイルメント	アークシール S-200	ホワイト,グレー,アンバー*,アイボリー*	333mℓカートリッジ	1成分形	*は特注色
	アークシールS-202LM	ホワイト,グレー,アンバー*,アルミ*	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス *は特注色
テイパ化工㈱	ボニーシーラーMS-3000	グレー,ブラウン,ホワイト	4ℓセット	10:1	ⓖ9030
	ボニーシーラーMS-8000	グレー,ブラウン,ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
㈱東郊産業	MSシーラント	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ		
日興化学工業㈱	ニッシーラーMS	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	5ℓセット	10:1	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク500MS	ホワイト,グレー他3色	4ℓセット	100:10:(3)	
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo.500	グレー,ダークブラウン,ホワイト,ブラック	4ℓセット カラーマスター	100:3:(2.5)	ⓖ9030
㈱服部商店	サンシール#801	グレー,ホワイト,アイボリー,ダークブラウン	4ℓセット	10:0.7:(0.3)	
	コスモシール	グレー,ホワイト,ダークブラウン,アイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
日立化成ポリマー㈱	ハイポン2000	オフホワイト,グレー,ダークグレー,ベージュ,ブロンズ,ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	ⓖ9030
保土谷建材工業㈱	ミリオネートNS-300	グレー,ブロンズ,ブラウン,アイボリー,ニューアイボリー,ブラック,ホワイト	4ℓセット	100:10:(3)	ⓖ9030
三星産業㈱	変成シリコーンZ	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラック	320mℓカートリッジ	1成分形	
横浜ゴム㈱	ハマタイトスーパーII	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ダークアンバー,ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	ⓖ9030
	ハマタイトスーパーワン	ホワイト,グレー,ベージュ,ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	
	ハマタイトスーパーワンLM	ホワイト,グレー,ベージュ,ダークブラウン,ダークアンバー,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	

*（ ）内はカラーマスター

ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱エービーシー商会	チオコーク	グレー,ライトグレー,ブラウン,ダークブラウン,ブラック,ブロンズ	4ℓセット 7ℓセット	10:1	ⓖ9030
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエースP-5000	グレー,ブロンズ,アンバー	4ℓセット	100:10:(6)	ⓖ9030
関西パテ化工㈱	ハイトシール	ダークグレー,ブロンズ,ホワイト,アンバー,ブラック	3.4ℓセット	10:1	
コニシ㈱	ボンドシール#10	グレー,ブロンズ,アンバー,ブラック,ベージュ,オフホワイト	4ℓセット	100:10:(6)	ⓖ9030

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
サンスター技研㈱	ペンギンシール169	グレー,ホワイト,アンバー,ブラック,ダークアンバー,ライトアンバー,ベージュ,オフホワイト	4ℓセット トナー285g トナー290g	10:1:(0.5)	㊐9030
三洋工業㈱	スリーコールB−4000 スリーコールB−4000S	グレー,アンバー,オフホワイト,アイボリー	4ℓセット	10:1	㊐9030 ㊐8020
サンライズメイセイ㈱	SRシールT27	グレー	3ℓセット	10:1	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールT−35	グレー,ライトグレー,ダークブラウン,ブラック,ホワイト	4ℓセット	10:1	㊐9030
昭石化工㈱	フジチオコール	グレー,ベージュ,ダークアンバー,ダークブラウン,ブラック他	4ℓセット	100:10:(6)	㊐9030
住友スリーエム㈱	ウェーザーバンシーラー	ブラック,グレー	4ℓセット	ブラック 10:1 グレー 10:1	
世界長㈱	セカイチョーシーラーTH	オフホワイト,ブルーグレー,ダークグレー,グレー,アンバー,ダークブラウン,ブロンズ,黒	4ℓセット	100:10(5.5) (オフホワイトのみ100:10)	㊐9030
セメダイン㈱	ポリシール	グレー,ブラック,ブロンズ,アンバー2,アンバー3	4ℓセット	100:7:(7)	㊐9030
大日化成㈱	サンシーラーP	グレー,アンバー,ブラウン,黒	4ℓセット	100:8	㊐8020
テイパ化工㈱	ポニーシーラーPS−2000	グレー,ブロンズ1,ブロンズ2,ブラック,アンバー5	4ℓセット	100:8	㊐9030
㈱東亜応用化工	エポコールシーラ	グレー,ブロンズ,黒,白,アイボリー	4ℓセット	100:8	㊐9030
東レチオコール㈱	トプコールS	ホワイト,アイボリー,グレー,ブラウン,ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	汎用タイプ
日興化学工業㈱	ニッシール	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	3ℓセット	10:1	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク300S	グレー,アンバー他3色	4ℓセット	100:8:(5)	
㈱日本化学研究所	チオシールニッカ#3151	グレー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#501	ブロンズ	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#1000	アイボリー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#300	アンバー	4ℓセット	10:1	
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo.300	グレー,ダークブラウン,ブラック	4ℓセット	10:1	㊐9030
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#501	グレー,各色	4ℓセット	100:8:(5)	㊐8020
日立化成ポリマー㈱	ハイボン1000	グレー,ダークグレー,ブロンズ,アイボリー,アンバー,ブラウン,ブラック,(ホワイト)	4ℓセット	10:1 95:10:(5)	㊐9030
保土谷建材工業㈱	ミリオネートNS−200	グレー,ブロンズ,ブラウン,ベージュ,ブラック	4ℓセット	100:10:(6)	㊐9030
三星産業㈱	三星シールPS	グレー,ダークグレー,ブロンズ,アイボリー,ブラック	4ℓセット	10:1	㊐9030
横浜ゴム㈱	ハマタイトSC−500	オフホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック,アンバー ＊オフホワイトは主剤着色方式で㊐8020	4ℓセット	100:5.2:(8)	㊐9030

＊（　）内はカラーマスター

アクリルウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日東電工㈱	ニトシールA2000	グレー他	5.5ℓセット	1:2.5	
ヤマウチ㈱	トップシーラー#7	グレー,白,その他	6ℓセット	1:3	

ポリウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
㈱エービーシー商会	ABCウレタン80	グレー,アイボリー,ホワイト,ダークブラウン,ライトグレー	6ℓ	1:3	JIS8020
	ABCコーキングウレタンカートリッジ	ホワイト,グレー,アイボリー,ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	
オート化学工業㈱	オートンシーラー101A	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ 4ℓ缶 12ℓペール缶	1成分形	JIS9030 一般汎用
	オートンシーラー101N-LM	ライトグレー	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	ノンブリージング 低モジュラス
	ALCコーク	ホワイト	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	JIS8020 ALC専用
	オートンサイディングシーラント	各色	320mℓカートリッジ	1成分形	JIS9030 サイディング板用
カネボウ・エヌエスシー㈱	ペルエース P-6000	グレー,ブロンズ,ホワイト	6ℓセット	1:3:(0.1)	JIS8020
	デュアリボン6500	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工㈱	セルシールPU	グレー,白	12ℓ	1成分形	
	セルシールPU	グレー,アンバー,白,アイボリー	4.8ℓセット	1:3	
	セルシールPU	グレー,アンバー,白,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
コニシ㈱	ボンドUシール	グレー,ブロンズ,アイボリー,白,黒,ダークグレー	6ℓセット	1:3:(0.1)	JIS8020
	ボンドウレタンコーク	グレー,白,アンバー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンスター技研㈱	ペンギンシール980	グレー,ホワイト,ベージュ,アンバー	6ℓセット トナー300g	1:2.9:(0.15)	JIS8020
	ペンギンシール970	ブラック,グレー	12ℓセット	1:1	
	ペンギンシール955 (ガードワン)	グレー,ホワイト,アンバー,ベージュ	14ℓ 320mℓカートリッジ	1成分形	
三洋工業㈱	スリーウレッチ103	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	4.6ℓセット	1:3	JIS8020
	スリーウレッチC320	グレー,アイボリー,ホワイト,アンバー,他	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ㈱	SRシールU31	グレー,白,ベージュ,ブラウン	7.1ℓセット	1:3	
	SRシールU73	グレー,白	320mℓカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールU	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
	シャーピーシールU-75	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラック	6ℓセット	1:3	JIS8020
昭石化工㈱	ユーゼット103	グレーA,グレーB,ホワイト,ベージュ,ダークアンバー,ダークブラウン,ブラック他	8ℓセット 6ℓセット 4ℓセット	1:2.9:(0.1)	JIS8020
	ユーゼットカートリッジ	グレー,ホワイト,ベージュ他	320mℓカートリッジ	1成分形	JIS8020
㈱スリーボンド	PANDO412A	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
世界長㈱	セカイチョーシーラーU-1	ホワイト,グレー,アイボリー,ダークブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
	セカイチョーシーラーPU-213	グレー,アイボリー,ダークブラウン,ニューホワイト,黒	6ℓセット 4ℓセット	1:2.9:(0.1)	JIS8020

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
セメダイン㈱	S－750	ホワイト,アイボリー,ブロンズ,アンバー,グレー,ブラック	6ℓセット	1:3:(0.15)	ⓓ8020
	S－700M	ホワイト,グレー,アンバー,ブラック,アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	
大日化成㈱	サンシーラーU－13	白,グレー,アイボリー,ブラウン	5.8ℓセット	1:3	ⓓ8020
	スカイシールU	白,グレー,アイボリー,ブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
㈱タイルメント	アークシール　S－300	ホワイト,グレー,アンバー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
	アークシール　S－303LM	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
テイパ化工㈱	ボニーシーラーU－2000	グレー,ブラウン,アイボリー,ブラック	7ℓセット	1:2	ⓓ8020
	ボニーシーラーU－3000	グレー,ブラウン,アイボリー,ブラック	6ℓセット	1:3	ⓓ8020
	ボニーシーラーU－8000	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー	1000mℓカートリッジ 320mℓカートリッジ	1成分形	
㈱東亜応用化工	エポコールU－3	グレー,ブロンズ,黒,白,アイボリー	6ℓセット	1:3	
㈱東郊産業	ハイシーラーハイレタン	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー,ブラック	320mℓカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンジャンボ	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	850mℓカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンSPミゼット	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	640mℓソーセージパック	1成分形	
日興化学工業㈱	ニッシーラーウレタン	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	5ℓセット	1:3	
日東電工㈱	ニトシール　A2100	グレーほか	7ℓセット	1:8	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク200U	ホワイト,グレー他4色	6ℓセット	100:29:(1)	ⓓ8020
	ニットーウレタン	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ	1成分形	
㈱日本化学研究所	ニッカウレタイトシーラー	グレー,ホワイト,ブラック	6ℓセット	1:2 1:3	
日本シーカ㈱	シーカフレックス1a	グレー,白,ダークアンバー,黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	
	シーカフレックス15LM	グレー,白,ダークアンバー,ベージュ,アイボリー,黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	低モジュラス
	シーカフレックス11FC	グレー,白,黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ	1成分形	速乾型
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo.200	グレー,ダークブラウン,ブラック,クリームホワイト	6ℓセット 3ℓセット	1:3:(0.1)	ⓓ8020
	ファインシーラーNo.20	クリームホワイト,グレー	6ℓセット	1:3:(0.1)	ALC用
	ファインシーラー No.200水路用	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo.2000	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo.201	グレー,ダークブラウン,ホワイト	320mℓカートリッジ	1成分形	
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#401	グレー,各色	6ℓセット	1:3:(0.1)	ⓓ8020
㈱服部商店	サンシール#701	グレー,ホワイト,アイボリー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
	サンシール#903	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー,ダークブラウン	7.5ℓセット,6ℓセット,4ℓセット	1:2.9:(0.1)	ⓓ8020
	サンシールAU	ホワイト,グレー,ダークブラウン	7.0ℓセット	1:9.75:(0.25)	ALC専用

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日立化成ポリマー㈱	ハイボン5000	グレー,ダークグレー,ブロンズ,オフホワイト,ブラック,アイボリー	6ℓセット,4ℓセット	1:3:(0.15)	ⓓ8020
	ハイボン5100	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
保土谷建材工業㈱	ミリオネートNS−III	グレー,ホワイト,ブラウン,アイボリー,ブラック	6ℓセット	1:2.9:(0.1)	ⓓ8020
	ミリオネートシーラー	グレー,ホワイト,ブラウン,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
三星産業㈱	三星シールAU	グレー,ブロンズ,ホワイト,ベージュ,ブラック	6ℓセット	1:3	ⓓ8020
	三星シールU−1	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
ヤマウチ㈱	トップシーラー#U2	グレー,白	6ℓセット	1:3	
横浜ゴム㈱	ハマタイトUH−30	アイボリーホワイト,グレー,ダークブラウン,ブラック,ベージュ	6ℓセット	1:3:(0.1)	ⓓ8020
	ハマタイトシールエース	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ベージュ	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	

＊（ ）内はカラーマスター

アクリル系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエース P−4000	ホワイト,グレー	17ℓ	ⓓ7020
	デュアリボン4000	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	
関西パテ化工㈱	ハイトコーク	白,アイボリー,グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
	ハイトコークボンド	白,アイボリー,グレー,アンバー,木色地各色	500g	
コニシ㈱	ボンドアクリルコーク	ホワイト,アイボリー,グレー	17.4ℓ 330mℓカートリッジ	ⓓ7020 (缶タイプのみ)
	ボンドコークホワイト	ホワイト	500gチューブ	
	ボンドコークアイボリー	アイボリー	500gチューブ	
サンスター技研㈱	ペンギンシール1250	ホワイト	333mℓカートリッジ 340mℓチューブ 18ℓ	
三洋工業㈱	スリーラント	ホワイト	17ℓ 333mℓカートリッジ 500ccチューブ 1.5kgカートリッジ	ⓓ7020
サンライズメイセイ㈱	SRシールY60A	白,グレー	17ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールA	ホワイト,グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ	ⓓ7020
昭石化工㈱	アクリルエース	グレー,ホワイト,アイボリー	18ℓ缶 900mℓカートリッジ	ⓓ7020
世界長㈱	セカイチョーシーラーEA	ホワイト	17ℓ	ⓓ7020
	セカイチョーシーラーEAカートリッジ	ホワイト	333mℓカートリッジ	ⓓ7020
	セカイチョーシーラーEAチューブ	ホワイト	500gチューブ	
セメダイン㈱	メジシールS−10 S−20	ホワイト	18ℓ	S−10 一般用 S−20 厳寒用
	メジシール	ホワイト	333mℓカートリッジ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
大日化成㈱	サンシーラーA	白,グレー	17ℓ	
	サンシーラーAK	白,グレー	1/3ℓカートリッジ	
㈱タイルメント	アークシール S−500	ホワイト,グレー,アイボリー	333mℓカートリッジ	
		ホワイト	18ℓ缶	
	アクリルコークジャンボS	ホワイト	900mℓカートリッジ	㊐7020
	アクリルコークジャンボL	ホワイト	900mℓカートリッジ	㊐7020
	コークボンド	ホワイト,アイボリー,ニューベージュ,ジュラク*,ベニヤ*,ニス*	500gチューブ	*は特注色
テイパ化工㈱	アクリルコーク A−100	ホワイト	330mℓカートリッジ 17ℓ	
㈱東郊産業	ハイシーラー#2000	ホワイト,グレー,アイボリー	17ℓ 330mℓカートリッジ	㊐7020
	アクリルジャンボ	ホワイト,グレー	900mℓ ジャンボカートリッジ	㊐7020
	アクリルSPジャンボ	ホワイト	900mℓソーセージパック	㊐7020
日東ポリマー工業㈱	エラスコーク	ホワイト,グレー,アイボリー	17ℓ 330mℓカートリッジ 500gチューブ	㊐7020
	エラスコークブリット	ホワイト	700mℓフィルムパック 350mℓフィルムパック	㊐7020
㈱日本化学研究所	ニッカシールA	白	17ℓ	ALC,PC専用
日本添加剤工業㈱	ファインシーラーNo1000	ホワイト,グレー	17ℓ缶	㊐7020
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#301	白	17ℓ 330mℓカートリッジ 900mℓカートリッジ	㊐7020
㈱服部商店	サンシール#5001	ホワイト,グレー,アイボリー	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	㊐7020
三星産業㈱	三星シールAC	ホワイト,グレー,ブロンズ	17ℓ 333mℓカートリッジ	㊐7020
ヤマウチ㈱	トップシーラー #5000 #5000N	白,グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ	㊐7020 N:凍結防止品

ブチルゴム系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー㈱	ベルエース P−3000	グレー	18ℓ	
	デュアリボン3000	グレー	320mℓカートリッジ	
関西パテ化工㈱	セルシールB	グレー,新茶	18ℓ 333mℓカートリッジ	
コニシ㈱	ボンドシールパテ	グレー	18ℓ	
	ボンドブチルコーク	灰,新茶,青	330mℓカートリッジ	
サンスター技研㈱	ペンギンシール850	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
三洋工業㈱	ブチラー	グレー,新茶,ブラウン,ブルー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
サンライズメイセイ㈱	SRコーキングR−40	グレー	18ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業㈱	シャーピーシールB	グレー,ホワイト,ブラック,ブラウン	17ℓ 330mℓカートリッジ	
住友スリーエム㈱	リボンシール	グレー	300mℓカートリッジ	
世界長㈱	セカイチョーシーラーRB	グレー,シンチャ,シルバー	320mℓカートリッジ 18ℓ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
セメダイン㈱	ブチルシール S－620	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
大日化成㈱	サンシーラーB	グレー	17ℓ	
	サンシーラーBK	グレー,ブラウン,黒	1/3ℓカートリッジ	
㈱タイルメント	アークシール S－600	ホワイト,グレー,アルミ*,シンチャ*,レンガ*	333mℓカートリッジ	*は特注色
テイパ化工㈱	ブチルコーク B－100	グレー	330mℓカートリッジ 18ℓ	
㈱東郊産業	ハイシーラー#3000	グレー,ホワイト,ブラウン,シルバー,ブルー,グリーン,アイボリー,ブラック	330mℓカートリッジ	
日興化学工業㈱	プレンシール	グレー,黒	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
日東ポリマー工業㈱	ニューゴムコーキング	グレー,黒	330mℓカートリッジ	
日本添加剤工業㈱	ファインシーラー№150	グレー	18ℓ缶 330mℓカートリッジ	
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#201	グレー,各色	20kg缶 330mℓカートリッジ	
㈱服部商店	サンシール#601	グレー,新茶,レンガ,青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
早川ゴム㈱	ミケロンコーク	黒,グレー	330mℓカートリッジ 16ℓ 330mℓチューブ	
日立化成ポリマー㈱	ハイボン310	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ	
三星産業㈱	三星シールブチル	灰,新茶,赤,青	333mℓカートリッジ	
ヤマウチ㈱	トップシーラー#30	グレー,黒,茶ほか	18ℓ 330mℓカートリッジほか	用途別多品種取揃

油性コーキング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
㈱エービーシー商会	ABCコーキング	グレー	18ℓ	
関西パテ化工㈱	Kコーク	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ 1kgチューブ 500gチューブ	㊟
コニシ㈱	ボンド油性コーク	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ	
	ボンドコーキング	グレー	500gチューブ	
サンスター技研㈱	ペンギンシール750	グレー	333mℓカートリッジ 18ℓ	㊟
三洋工業㈱	スリーコーキング	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ 800mℓチューブ	㊟
サンライズメイセイ㈱	SRシールB20G	グレー	17ℓ 670mℓチューブ 333mℓチューブ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業㈱	シャービーシールP	グレー,ホワイト,ブラウン	17ℓ 330mℓカートリッジ 500gチューブ 1kgチューブ	㊟
昭石化工㈱	エバーシール	グレー	18ℓ缶	㊟
世界長㈱	ケミコーク	グレー	320mℓカートリッジ 18ℓ	㊟

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
セメダイン㈱	ポリコーク	グレー	18ℓ 333mℓカートリッジ	㊙
大日化成㈱	サンコーク	グレー	17ℓ	
	サンコークK	グレー,ブラウン	1/3ℓカートリッジ	
㈱タイルメント	アークシール S−700	グレー	320mℓカートリッジ	
テイパ化工㈱	グレインコート	グレー	330mℓカートリッジ 18ℓ	㊙
㈱東亜応用化工	ポリシール#100	グレー,ブロンズ,白	18ℓ 330mℓカートリッジ	㊙
㈱東郊産業	ハイシーラーハイコーク	グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ 500gチューブ 1kgチューブ	
日東ポリマー工業㈱	ニットーコーク100G	グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ,他	
㈱日本化学研究所	ニッカシール	グレー	18ℓ	
	ニッカシールカートリッジ	グレー	400mℓカートリッジ	
日本添加剤工業㈱	ファインコーク	グレー	16.5ℓ缶 330mℓカートリッジ	
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#101	グレー	26kg缶 330mℓカートリッジ	㊙
㈱服部商店	サンシール#101	グレー,新茶,レンガ,青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	㊙
三星産業㈱	三星コーキン	グレー	18ℓ 800mℓチューブ 500mℓチューブ 360mℓカートリッジ	

新基材

変成ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
三洋工業㈱	スリーコールC−320	グレー,ホワイト	320mℓカートリッジ	
セメダイン㈱	ポリシール1（ワン）	グレー,ホワイト	4ℓペール缶 900mℓカートリッジ	1成分形
日東ポリマー工業㈱	パーマシール	ホワイト,アイボリー,グレー,ブラック,アンバー	330mℓカートリッジ	1成分形
㈱ノーベル樹脂化学	ニューコーク#601	グレー,各色	330mℓカートリッジ	

超高層ビルでの実績と信用

シーリング工事 責任施工

日本化成工業株式会社

許可番号　大阪府知事許可(般—63)第34549号
〒564　吹田市南金田1—4—46
TEL 06(385)3886(代)　FAX06(385)3055

昭和日本化成株式会社

許可番号　知事許可(般—63)第12100号
〒819　福岡市西区野方3—1—8
TEL 092(812)3311(代)　FAX 092(812)2633

南日本化成株式会社

許可番号　知事許可(般—1)第4182号
〒891　鹿児島市西別府町3116
TEL 0992(82)8111(代)　FAX 0992(82)5500

シリコーン系シーリング材JIS A 5758　耐久性区分9030適合品

エヌシーシーラント

耐火2時間
無汚染タイプ

製造元　日東紡コンパウンド株式会社
本社／〒103 東京都中央区日本橋富沢町9の10(稲村ビル)
TEL. 03(669)1007(直)
・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

発売元　KM　化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.
〒105 東京都港区西新橋3—8—1(第2鈴丸ビル)
TEL. 03(436)3011(代)
FAX. 03(433)3914

平成2年度 日本シーリング工業会役員（候補）

※なお，平成2年5月17日の第27回通常総会に当案が上程される予定である。

会長

理事　横浜ゴム㈱

副会長

理事　サンスター技研㈱

理事　昭石化工㈱

理事会

理事　信越化学工業㈱

同　カネボウ・エヌエスシー㈱

同　コニシ㈱

同　東芝シリコーン㈱

同　東レチオコール㈱

同　東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱

同　セメダイン㈱

同　日立化成ポリマー㈱

同　世界長㈱

同　エービーシー商会㈱

同　オート化学工業㈱

同　日本添加剤工業㈱

名誉顧問

西　忠雄

顧問

小池　迪夫

同　加藤　正守

相談役

岩崎　一

同　渡辺　三郎

同　青木　済

同　梅沢　芳朗

同　太田　稔

会計監事

会計監事　日東電工㈱

同　日本シーカ㈱

同　三洋工業㈱

委員会構成表

	(委員長)	(副委員長)
総務委員会	東レチオコール㈱	横浜ゴム㈱
技術委員会	サンスター技研㈱	カネボウ・エヌエスシー㈱ 東芝シリコーン㈱　横浜ゴム㈱
広報委員会	日立化成ポリマー㈱	カネボウ・エヌエスシー㈱
調査委員会	コニシ㈱	サンスター技研㈱　世界長㈱ セメダイン㈱　横浜ゴム㈱
検定委員会	東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	三洋工業㈱　信越化学工業㈱

分科会構成表

機能別分科会

	(リーダー)	(サブリーダー)
○弾性系1成分形分科会	オート化学工業㈱	信越化学工業㈱
○弾性系2成分形分科会	サンスター技研㈱	横浜ゴム㈱
○非弾性系1成分形分科会	世界長㈱	日東ポリマー工業㈱

支部組織

- 北海道支部
- 仙台支部
- 東京支部
- 名古屋支部
- 大阪支部
- 広島支部
- 福岡支部

日本シーリング工業会

会　員　名　簿

事務局所在地

〒101　東京都千代田区外神田2－2－17　共同ビル　電話 03（255）2841

1. 正　会　員　41

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	東京都千代田区永田町2—12—14	100	(03) 507 7111
オート化学工業㈱	〃　港区西新橋2—23—1　第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー㈱	大阪府箕面市船場西1—6—5　カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
関西パテ化工㈱	〃　東大阪市日下町3—7—36	579	(0729)82 2131
コニシ㈱	大阪市中央区平野町2—1—2　沢の鶴ビル	541	(06) 228 2970
サンスター技研㈱	大阪府高槻市明田町7—1	569	(0726)81 0351
三洋工業㈱	東京都江東区亀戸6—20—7	136	(03) 685 3452
サンライズメイセイ㈱	大阪府堺市浜寺石津町中1—4—7	592	(0722)44 7500
シャープ化学工業㈱	〃　堺市築港浜寺西町13—12	591	(0722)68 0321
昭石化工㈱	東京都渋谷区代々木1—11—2	151	(03) 320 2005
信越化学工業㈱	〃　千代田区神田鍛冶町3—6—7 フジトシビル5F	101	(03) 256 3651
住友スリーエム㈱	〃　世田谷区玉川台2—33—1	158	(03) 709 8111
㈱スリーボンド	〃　八王子市狭間町1456	193	(0426)61 1333
世界長㈱	兵庫県西宮市津門大箇町3—39	663	(0798)26 5724
セメダイン㈱	東京都品川区東五反田4—5—9	141	(03) 442 1341
大日化成㈱	大阪府門真市末広町8—13	571	(06) 909 6755
㈱タイルメント	名古屋市中村区宿跡町1—58	453	(052)412 7321
武田薬品工業㈱	大阪市中央区道修町2—3—6	541	(06) 204 2480
テイパ化工㈱	〃　東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328 1118
㈱東亜応用化工	香川県坂出市室町1—3—32	762	(0877)46 2185
㈱東郊産業	愛知県春日井市森山田町7	486	(0568)33 5118
東芝シリコーン㈱	東京都港区六本木6—2—31　東京日産ビル	106	(03) 479 3501
東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	〃　中央区日本橋室町2—3—16　三井ビル6号館	103	(03) 246 1641
東レチオコール㈱	千葉県浦安市美浜1—8—1　東レビル	279	(0473)50 6151
日興化学工業㈱	東京都江東区白河4—9—5	135	(03) 642 7155
日東電工㈱	〃　千代田区麹町5—7—2　第31森ビル	102	(03) 264 2101
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2—5—1	660	(06) 418 7421
㈱日本化学研究所	東京都中央区京橋1—6—13	104	(03) 564 5161
日本シーカ㈱	〃　大田区大森北2—4—18　東京建物大森ビル	143	(03) 767 9821
日本添加剤工業㈱	〃　板橋区前野町1—21—5	174	(03) 965 5731
日本フランシール㈱	〃　港区赤坂1—9—20　第16興和ビル別館	107	(03) 587 4711
㈱ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4—19—4	332	(0482)23 4511
バイエル合成シリコーン㈱	東京都港区高輪4—10—8　京急第7ビル	108	(03) 280 9881
㈱服部商店(淀支店)	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
早川ゴム㈱	東京都江東区佐賀1—16—10	135	(03) 642 9434
日立化成ポリマー㈱	〃　千代田区内神田1—13—7　四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業㈱	〃　港区浜松町1—18—14　スバックスビル	105	(03) 437 9471

三井東圧化学㈱	東京都千代田区霞が関3—2—5　霞が関ビル	100	(03) 592 4700
三星産業㈱	〃　千代田区神田小川町3—28　三東ビル	101	(03) 292 1961
ヤマウチ㈱	大阪府枚方市招提田近2—7	573	(0720)56 1131
横浜ゴム㈱	神奈川県平塚市中原上宿900	254	(0463)31 3002

(1) 北海道支部　15

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	札幌市中央区南三条西13丁目　柴田ビル	060	(011)231 7904
オート化学工業㈱	〃　東区北15条東3丁目10—35　岩田商会内	065	(011)741 3302
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃　中央区北一条東9丁目　潮物産㈱内	060	(011)261 8271
コニシ㈱	〃　西区琴似一条5丁目　札幌松井ビル	063	(011)612 0211
サンスター技研㈱	〃　中央区北一条西4丁目　札幌東邦生命ビル	060	(011)271 0392
三洋工業㈱	〃　白石区南郷通21丁目南5—31	003	(011)864 5155
シャープ化学工業㈱	〃　豊平区清田5条2丁目	061-01	(011)883 2489
信越化学工業㈱	〃　中央区北一条西5丁目　北一条ビル	060	(011)221 6471
世界長㈱	仙台市宮城野区小田原弓ノ町31　第一青葉商工ビル	983	(022)295 7051
セメダイン㈱	札幌市中央区北七条西25丁目2—2　協栄生命札幌西ビル	064	(011)644 6621
日本シーカ㈱	〃　中央区北二条西2丁目　加森ビル	060	(011)221 6331
日本添加剤工業㈱	〃　中央区北一条東9丁目　潮物産㈱内	060	(011)261 8271
保土谷建材工業㈱	〃　中央区北一条西5丁目　北一条ビル	060	(011)231 7618
三星産業㈱	〃　中央区南五条西24丁目	061	(011)551 3781
ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱	〃　中央区大通東7丁目	060	(011)241 5111

(2) 仙台支部　11

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
コニシ㈱	仙台市若林区卸町1—6—15　卸町セントラルビル	983	(022)235 3178
サンスター技研㈱	〃　青葉区本町1—9—6　利根川ビル	980	(022)261 3391
三洋工業㈱	〃　宮城野区扇町5—9—1	983	(022)232 5311
昭石化工㈱	〃　青葉区国分町2—8　ウェーブ88	980	(022)267 5319
信越化学工業㈱	〃　青葉区一番町4—6—1　仙台第一生命タワービル	980	(022)264 2777
㈱スリーボンド	〃　若林区六丁の目西町8—8	983	(022)287 2905
世界長㈱	〃　宮城野区小田原弓ノ町31　第一青葉商工ビル	983	(022)295 7051
セメダイン㈱	〃　若林区卸町2—12—14	983	(022)284 6167
日立化成ポリマー㈱	〃　青葉区一番町1—5—5　日立仙台別館	980	(022)227 8665
三星産業㈱	〃　青葉区本町1—3—20	980	(022)262 5201
ヨコハマゴム工業品東北販売㈱	〃　宮城野区萩野町3—1—8	983	(022)284 0437

(3) 東京支部　26

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	東京都千代田区永田町2—12—14	100	(03) 507 7240
オート化学工業㈱	〃　港区西新橋2—23—1　第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃　千代田区平河町1—3—13　菱進平河町ビル	102	(03) 221 2384
コニシ㈱	〃　台東区台東4—28—11　第一勧銀渋沢ビル	110	(03)5688 2280
サンスター技研㈱	〃　港区三田1—3—35　ヤナバビル	108	(03) 453 9301
サンライズメイセイ㈱	横浜市神奈川区三枚町299—5	221	(045)383 4651
シャープ化学工業㈱	東京都江東区東陽5—26—1　小川ビル	135	(03) 649 8103
昭石化工㈱	〃　渋谷区代々木1—11—2	151	(03) 320 2005
信越化学工業㈱	〃　千代田区神田鍛冶町3—6—7　フジトシビル	101	(03) 256 3651
世界長㈱	〃　渋谷区道玄坂2—10—7　新大宗ビル	150	(03) 462 5161
セメダイン㈱	〃　品川区東五反田4—5—9	141	(03) 442 1341
テイパ化工㈱	〃　港区新橋6—10—3　遠江ビル	105	(03) 431 9357
東京ハマタイト㈱	〃　港区芝浦2—13—7　宇徳田町ビル	108	(03) 769 3111
東レチオコール㈱	千葉県浦安市美浜1—8—1　東レビル	279	(0473)50 6151
日興化学工業㈱	東京都江東区白河4—9—5	135	(03) 642 7155

日東電工㈱	東京都千代田区麹町5—7—2　第31森ビル	101	(03) 295 4441
日東ポリマー工業㈱	〃　千代田区外神田2—2—17　共同ビル	101	(03) 255 6338
㈱日本化学研究所	〃　中央区京橋1—6—13	104	(03) 564 5161
日本シーカ㈱	〃　大田区大森北2—4—18　東京建物大森ビル	143	(03) 436 4131
日本添加剤工業㈱	〃　板橋区前野町1—21—5	174	(03) 965 5731
㈱ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4—19—4	332	(0482)23 4511
早川ゴム㈱	東京都江東区佐賀1—16—10	135	(03) 642 9430
日立化成ポリマー㈱	〃　千代田区内神田1—13—7　四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業㈱	〃　港区浜松町1—18—14　スバックスビル	105	(03) 437 9471
三井東圧化学㈱	〃　千代田区霞が関3—2—5　霞が関ビル	100	(03) 592 4697
三星産業㈱	〃　千代田区神田小川町3—28　三東ビル	101	(03) 292 1961

(4) 名古屋支部　17

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
カネボウ・エヌエスシー㈱	名古屋市中村区名駅4—17—19　鐘紡ビル	450	(052)583 8606
コニシ㈱	〃　中区栄5—28—12　興亜火災名古屋ビル	460	(052)262 8173
サンスター技研㈱	〃　千種区萱場町2—4—7　サンスタービル	464	(052)722 6815
三洋工業㈱	〃　緑区鳴海町字母呂後26	458	(052)623 0061
サンライズメイセイ㈱	〃　名東区一社3—90　チサンビル202号	465	(052)703 2061
昭石化工㈱	〃　中区丸の内1—17—19　長銀ビル	460	(052)231 6568
信越化学工業㈱	〃　中村区名駅4—27—23　名古屋三井ビル東館4F	450	(052)581 6511
世界長㈱	〃　東区矢田町8—20	461	(052)722 3301
セメダイン㈱	〃　千種区井上町34	464	(052)781 3166
テイパ化工㈱	大阪市東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328 1118
㈱東郊産業	愛知県春日井市森山田町7	486	(0568)33 5118
日本シーカ㈱	名古屋市千種区内山3—10—17　今池セントラルビル	464	(052)733 7353
日本添加剤工業㈱	〃　中村区太閤4—1—18　フタバビル	453	(052)451 8632
㈱服部商店	〃　中区丸の内2—18—1	460	(052)221 9461
日立化成ポリマー㈱	〃　中村区名駅南1—24—21　名古屋三井ビル別館5F	450	(052)581 2967
保土谷建材工業㈱	〃　中区錦1—17—13　名興ビル	460	(052)231 7225
横浜ゴム㈱	〃　中区錦1—17—13　名興ビル3F	460	(052)231 4321

(5) 大阪支部　22

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	大阪市淀川区西中島4—2—9	532	(06) 305 1181
カネボウ・エヌエスシー㈱	大阪府箕面市船場西1—6—5　カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
コニシ㈱	大阪市中央区平野町2—1—2	541	(06) 228 2961
サンスター技研㈱	大阪府高槻市明田町7—1	569	(0726)84 0600
サンライズメイセイ㈱	〃　堺市浜寺石津町中1—4—7	590	(0722)44 7500
シャープ化学工業㈱	〃　堺市築港浜寺西町13—12	592	(0722)68 0321
昭石化工㈱	大阪市北区梅田2—4—9　サンケイビル	530	(06) 341 6395
信越化学工業㈱	〃　西区江戸堀1—11—14　日本火災大阪ビル	530	(06) 444 8226
世界長㈱	兵庫県西宮市津門大箇町8—39	663	(0798)26 5724
セメダイン㈱	大阪市中央区島之内1—15—14	542	(06) 251 3555
大日化成㈱	大阪府門真市末広町8—13	571	(06) 909 6755
武田薬品工業㈱	大阪市中央区道修町2—3—6	541	(06) 204 2481
テイパ化工㈱	〃　東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328 1118
㈱東亜応用化工	香川県坂出市室町1—3—32	762	(0877)46 2185
日東ポリマー工業㈱	兵庫県尼崎市大浜町2—5—1	660	(06) 418 7421
日本シーカ㈱	大阪市北区野崎町7—8　梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業㈱	〃　西区江戸堀1—5—13　大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
㈱服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
日立化成ポリマー㈱	大阪市中央区北浜3—5—29　日生日立ビル	541	(06) 202 6341
保土谷建材工業㈱	〃　中央区高麗橋4—2—7	541	(06) 203 4651
ヤマウチ㈱	〃　淀川区西中島4—3—2　新大阪丸正ビル	532	(06) 301 3336

横浜ゴム㈱	大阪市北区堂島1—5—17　堂島グランドビル	530	(06) 345 1425

(6) 広島支部　13

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱エービーシー商会	広島市中区小町8—3　モントレビル	730	(082)243 3096
カネボウ・エヌエスシー㈱	〃　中区舟入幸町8—11　サンケイハイム	730	(082)249 6615
コニシ㈱	〃　西区上天満町3—14　渋谷ビル	733	(082)294 8811
サンスター技研㈱	〃　西区商工センター5—15—25	733	(082)277 8444
三洋工業㈱	〃　東区曙町4—50	730	(082)261 9321
サンライズメイセイ㈱	〃　西区三篠町3—20—19　中川ビル1F	733	(082)230 0019
信越化学工業㈱	〃　中区中町7—32　日本生命広島ビル	730	(082)248 3931
世界長㈱	〃　中区江波本町15—33	730	(082)295 0371
セメダイン㈱	〃　中区鶴見町12—13　昇和ビル	730	(082)249 0941
日本シーカ㈱	大阪市北区野崎町7—8　梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業㈱	〃　西区江戸堀1—5—13　大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
㈱服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
横浜ゴム㈱	広島市中区鉄砲町5—16　広島サンケイビル9F	730	(082)227 8105

(7) 福岡支部　15

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
カネボウ・エヌエスシー㈱	福岡市中央区大手門3—7—9	810	(092)752 0024
コニシ㈱	〃　南区清水3—24—19	815	(092)551 1761
サンスター技研㈱	〃　博多区店屋町8—24　九勧日産ビル	812	(092)281 3581
三洋工業㈱	〃　博多区大字板付866	816	(092)581 3438
サンライズメイセイ㈱	福岡県宗像郡福間町字長引3464　桜井ビル	811-32	(0940)43 2254
昭石化工㈱	福岡市博多区綱場町2—2　福岡第1ビル	812	(092)291 0008
信越シーラント㈱	〃　中央区天神1—12—20　日之出東京海上ビル	810	(092)781 2782
世界長㈱	〃　博多区博多駅東2—8—26　第3白水駅東ビル	812	(092)474 5582
セメダイン㈱	〃　中央区大手門1—9—22　大手門ビル	810	(092)741 7188
テイパ化工㈱	大阪市東淀川区下新庄3—11—28	533	(06) 328 1118
日本シーカ㈱	福岡市博多区博多駅前3—19—14　ビーエスビル博多	812	(092)472 1684
日本添加剤工業㈱	大阪市西区江戸堀1—5—13　大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
日立化成ポリマー㈱	福岡市中央区天神1—14—16　三栄ビル	810	(092)712 4243
保土谷建材工業㈱	〃　中央区大名2—9—2　福岡共栄火災ビル4階	810	(092)751 3506
ヨコハマゴム工業品九州販売㈱	〃　中央区薬院1—7—4	810	(092)711 8541

2. 賛助会員

(1) 日本シーリング工業会賛助会員　21

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業㈱	東京都千代田区有楽町1—1—2　日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
㈱井上製作所東京支店	〃　渋谷区渋谷3—25—10　小池ビル201	150	(03) 407 4331
㈱小野田	〃　台東区上野5—15—14　御徒町CYビル8F	110	(03) 837 0965
化研マテリアル㈱	〃　港区西新橋3—8—1　第2鈴丸ビル	105	(03) 436 3011
鐘淵化学工業㈱	〃　港区元赤坂1—3—12　赤坂センタービル	107	(03) 479 9675
㈱菅野製作所	〃　北区志茂3—3—26	115	(03) 903 3140
光栄商事㈱	〃　練馬区上石神井1—20—6　第3光栄ビル	177	(03) 928 5811
㈱昭和丸筒	大阪市北区堂島浜1—4—19　日土地堂島ビル8F	530	(06) 345 3751
白石工業㈱	東京都中央区日本橋茅場町1—11—3　岡本ビル	103	(03) 639 5066
㈱新和商会	〃　荒川区西日暮里2—24—14	116	(03) 803 1411
大進商工㈱	〃　北区東十条3—13—19	114	(03) 912 8447
㈱ダイフレックス	〃　千代田区平河町2—4—16　平河中央ビル	102	(03) 230 4311
タカビシ化学㈱	大阪市中央区平野町1—2—4	541	(06) 231 8751
㈳日本カーテンウォール工業会	東京都港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
日本バックアップ工業㈱	〃　中野区中央1—10—5	164	(03) 369 0215

日本ポリウレタン工業㈱	東京都港区虎ノ門1—2—8　虎ノ門琴平会館	105	(03) 508 0621
日本触媒化学工業㈱	〃　千代田区内幸町1—2—2　日比谷ダイビル	100	(03) 506 7553
野口興産㈱	〃　練馬区豊玉北2—10	176	(03) 994 5601
㈱野村事務所	〃　港区西新橋1—1—15　物産ビル別館	105	(03) 502 1468
フヨー㈱	〃　墨田区業平5—5—6	130	(03) 626 3371
ミキスタ工業㈱	〃　中央区日本橋蠣殻町1—33—7	103	(03) 669 9471

(2)　日本シーリング工業会大阪支部賛助会員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱井上製作所大阪支店	大阪市淀川区三津屋南3—6—20	532	(06) 301 2637
栄光産業㈱	〃　淀川区宮原1—18—20	532	(06) 393 2511
大阪御国商事㈱	茨木市横江2—1—12	567	(0726)34 8214
鐘淵化学工業㈱	大阪市北区中の島3—2—4　朝日新聞ビル	530	(06) 226 5330
鐘工業㈱	〃　都島区高倉町1—11—12	534	(06) 921 4231
岸田資材工業㈱	神戸市兵庫区中道通り5—1—13	652	(078)575 2953
㈱旭栄	大阪市北区天神橋1—1—1　中塚ビル	530	(06) 354 0356
三省物産㈱	〃　中央区南船場4—1—9	542	(06) 252 5541
白石工業㈱	兵庫県尼崎市元浜町4—78	660	(06) 417 3131
㈱ジャビコ	大阪市北区梅田2—4—9　サンケイビル本館	530	(06) 345 6871
竹原化学工業㈱	〃　北区梅田1—12—17　梅田ビル	530	(06) 343 0591
㈱野村事務所	〃　中央区南船場4—12—8　関西心斎橋ビル	542	(06) 243 0341
フヨー㈱	〃　淀川区宮原5—6—10	532	(06) 395 0201
㈱前田精市商店	〃　中央区道修町1—4—14	541	(06) 203 4641
三国金属工業㈱	大阪府豊中市豊南町西4—7—20	561	(06) 332 0251
㈱宮崎	大阪市中央区平野町3—4—9	541	(06) 231 5891
モリシタ化学産業㈱	〃　天王寺区勝山通り1—6—7	543	(06) 771 3929
㈱山本製作所	〃　阿倍野区松崎町2—7—10	545	(06) 623 5170
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	〃　西区京町堀1—17—16　スミトー京町堀ビル	550	(06) 446 6701

変成シリコーン系２成分形シーリング材

ニッシーラー・MS

ポリサルファイド系２成分形シーリング材

ニッシール

ポリウレタン系２成分形シーリング材

ニッシーラー・ウレタン

ブチル系１成分形シーリング材

プレンシール

〈製造元〉

日興化学工業㈱

■〒135 東京都江東区白河４—９—５

■☎東京03 (642) 7105～6・7155

日本シーリング工事業協同組合連合会の歩み

山本　勇

私たちの団体略称は，日シ工連と呼称いたします。組織形態は全国を10地区にわけ，各地区に地区団体を置き，東京の本部において総括運営いたしております。目的は傘下会員各社の技能，技術のレベルアップを目指す教育情報事業の推進と，企業力安定のための団結力の醸成にあります。

昭和44年４月に，メーカー団体である日本シーリング工業会の施工部会より，施工業者のみの独立団体を結成誕生させ，爾来現今に至るまで，各地区団体の事業協同組合への改組を指導し，平成２年３月に至り，これが法人化を遂に完了致しました。同時に本部組織を事業協同組合連合会に改組致し，組織の体制作りを完成したわけであります。今後シーリング防水の重要性を益々認識し，シーリング管理士と防水技能士の養成と確保に努力し，お得意先各位の信頼にこたえるプロ作業員の育成に邁進致す所存でございます。

（日本シーリング工事業協同組合連合会会長）

完璧なるプロの仕事!!

スリーピー
P.P.P(3P)

·Perfect 完璧
·Professional プロ
·Performance 仕事

優秀な技術管理（シーリング管理士）と
国家認定技能（防水技能士）をもつ団体!!

シーリング防水施工の発注は
〝プロの集団〟右記団体会員へ

日本シーリング工事業協同組合連合会
本部 〒105 東京都港区浜松町１の11の11康進ビル４Ｆ
Tel.03(432)5738　Fax.03(459)9575

北海道地区　北海道シーリング工事業協同組合
住　所　〒064　札幌市中央区北2条東10－15－28
電　話　011(251)3364

東北地区　東北シーリング工事業協同組合
住　所　〒982　仙台市若林区中倉３－18－16
電　話　022(235)3218

関東地区　東日本シーリング工事業協同組合
住　所　〒135　東京都江東区深川２－15－23　小泉ビル
電　話　03(641)9561

中部地区　中部シーリング工事業協同組合
住　所　〒460　名古屋市中区丸の内１－２－28　吉村ビル
電　話　052(201)7086

東海静岡地区　静岡県シーリング工事業協同組合
住　所　〒422　静岡市西島473－１
電　話　0542(81)1618

北陸地区　富山県シーリング工事業協同組合
住　所　〒930　富山市柳町４－９－１
電　話　0764(33)8966

近畿地区　関西シーリング工事業協同組合
住　所　〒550　大阪市西区新町１－８－１　諏訪ビル
電　話　06(531)8107

中国地区　中国シーリング工事業協同組合
住　所　〒730　広島市中区八丁堀１－12　キョーリンビル
電　話　082(222)7578

四国地区　四国シーリング工事業協同組合
住　所　〒790　松山市二番町４－１－５　愛媛県建築士会館
電　話　0899(47)2300

九州地区　九州シーリング工事業協同組合
住　所　〒810　福岡市中央区桜坂２－１－３　荒川ビル
電　話　092(781)5660

日本シーリング工事業協同組合連合会

会　員　名　簿

本部・支部所在地

事務局	所在地	郵便番号	電話番号
本部	東京都港区浜松町1—11—11　康進ビル4F	105	(03) 432 5738
北海道シーリング工事業協同組合	札幌市中央区北2条東10—15—28	060	(011)251 3364
東北シーリング工事業協同組合	仙台市若林区中倉3—18—16	982	(022)235 3218
東日本シーリング工事業協同組合	東京都江東区深川2—15—23　小泉ビル内	135	(03) 641 9561
静岡県シーリング工事業協同組合	静岡市西島473—1	422	(0542)83 9530
中部シーリング工事業協同組合	名古屋市中区丸の内1—2—28　吉村ビル4F	460	(052)201 7086
富山県シーリング工事業協同組合	富山市柳町4—1—9	930	(0764)33 8966
関西シーリング工事業協同組合	大阪市西区新町1—8—1　諏訪ビル内	550	(06) 531 8107
中国シーリング工事業協同組合	広島市中区八丁堀1—12　キョーリンビル	730	(082)222 7578
四国シーリング工事業協同組合	松山市二番町4—1—5　愛媛県建築士会館5F	790	(0899)47 2300
九州シーリング工事業協同組合	福岡市中央区桜坂2—1—3　荒川ビル21号	810	(092)781 5660

1.　北海道シーリング工事業協同組合員　40

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
柏工建㈱	旭川市神楽岡6条3丁目	078	(0166)65 0121
㈱片岡コーキング	札幌市西区西野9条5—8—3	063	(011)664 1488
㈱カトウシーリング工業	〃　北区屯田4条8—1—5	001	(011)772 1381
㈱北日本コーキング	苫小牧市しらかば町2—4—5	053	(0144)73 4697
㈱協栄シール	〃　緑町1—24—8	053	(0144)33 6256
熊谷興業㈱	札幌市北区篠路9条3—5—6	002	(011)771 9381
㈱光建シール	〃　南区川沿1条2—4—7	005	(011)572 0820
㈱互建防水工業	帯広市西10条南11丁目2	080	(0155)25 5776
㈲札幌コーキング	札幌市豊平区月寒東2条20丁目	004	(011)851 3782
佐藤研究所	函館市時任町22—13	040	(0138)51 3586
サン美工㈲	旭川市北門町20丁目	070	(0166)52 3309
㈱スズケン興業	〃　東光5条6—188	078	(0166)31 8902
セイコー技建㈱	札幌市東区北34条東17丁目2—4	065	(011)783 2830
㈱セントラル・ビル・サービス	釧路市材木町14—28	085	(0154)41 1010
㈲第一コーキング工業	札幌市白石区菊水1条2丁目	003	(011)812 9121
第一工業㈱	北見市南町1—8—33	090	(0157)23 4155
㈱タケイチ工業	札幌市北区新川593—63	001	(011)764 2884
㈱武田建商	旭川市神居6条8丁目	070	(0166)62 1140
㈱中央コーキング	札幌市豊平区西岡1条9丁目10—15	062	(011)854 0222
㈲トーケン工業	砂川市宮川町1—6	073-01	(01255)4 2843
道北シール工業㈱	旭川市神居8条13丁目1—4	070	(0166)62 5088
㈲中井シール工業	札幌市厚別区厚別北2条2丁目10—1	004	(011)892 8868
中田工業㈱	千歳市北栄1丁目17—8	066	(0123)23 3960
中林産業工販㈱	帯広市西17条北1—14	080	(0155)35 6800
㈱日研	札幌市豊平区平岸1条2丁目	062	(011)841 6101
函館イーシー工業㈱	函館市高松町129—29	042	(0138)59 5385

㈱ 馬場工業	函館市本通4丁目31—18	041	(0138)53 2260
㈱ 濱建	札幌市中央区北3条東5丁目	060	(011)261 5676
菱テイ東邦興業㈱	〃 北区篠路7条6—5—27	002	(011)772 3272
フタバ工業㈱	〃 中央区北2条東10—15 すずかけビル	060	(011)231 0046
北星シール工業㈱	〃 白石区本通6丁目北28	003	(011)863 5226
㈲北斗美装工業	砂川市西3条北2丁目	073-01	(01255)2 2918
北洋コーキング㈱	札幌市白石区菊水上町2条3丁目52	003	(011)821 7947
北海コーキング㈱	〃 白石区北郷4条6丁目7—12	003	(011)871 0721
北海道サン工業㈱	〃 中央区北2条東9丁目	060	(011)251 3648
北海道タイホー㈱	〃 東区北20条東2—15—41	065	(011)731 6351
北海防水㈱	旭川市新星町7—6	071	(0166)25 1854
北晄防水工業㈱	札幌市豊平区北野7条4—1—13	004	(011)882 5987
㈱山川興業	函館市榎本町14—1	042	(0138)57 1870
㈱ヤマト工業	札幌市豊平区御園1条6丁目—1	062	(011)812 6347

2. 東北シーリング工事業協同組合員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈱旭シーリング	宮城県志田郡鹿島台宏長字深田4	989-41	(0229)56 3531
㈲旭日産業	仙台市青葉区下愛子字原4—1	989	(022)392 6122
青葉エービーシー建販㈱	〃 青葉区大町2—15—24	980	(022)265 3051
㈲遠藤シール工業	〃 太白区西多賀3—14—34	982	(022)245 2358
大島金属商事㈱	〃 宮城野区名掛丁8	980	(022)291 2288
㈲進建シーリング工業	〃 若林区若林1—10—23	982	(022)286 1423
仙台高分子工業㈱	〃 太白区青山2—27—9	982	(022)229 5102
トップ工業㈱	〃 若林区新寺3—4—31	980	(022)257 5023
東北化研工業㈱	〃 若林区中倉3—18—16	982	(022)236 1802
㈱久光商会	〃 太白区八木山本町2—32—18	982	(022)229 6560
㈲丸伊工業所	〃 泉区南光台南2—11—10	981-31	(022)252 1971
㈱丸本工業所	〃 宮城野区扇町1—3—6	983	(022)284 6662
㈲我妻工業所	〃 太白区鈎取3—4—13	982	(022)244 5544
㈲東北シール工業	〃 太白区袋原字台93—10	982	(022)241 1269
㈲明星シール工業	宮城県黒川郡富谷町富ケ浜4—20—8	981-33	(022)358 4551
㈲浜建工業	仙台市泉区南光台南2—1—26	981-31	(022)252 4521
郡山シーリング㈱	郡山市富久山町久保田字前田40—2	963	(0249)33 4212
㈱光信工業	いわき市下荒川字剃町32—43	970	(0246)28 1200
㈱郡山医療器製作所	郡山市大町2—16—17	963	(0249)32 1858
福島防水㈱	〃 鳴神120	963	(0249)51 5612
㈲氏家樹脂防水工業	福島県伊達郡桑折町南半田鍛冶屋沢15	969-16	(0245)82 5056
㈲タダキシール工業	福島市吉倉字谷地48—1	960	(0245)46 2676
㈲渡辺防水	郡山市富田字下堰1—11	963	(0249)52 0553
㈲友和シール	いわき市内郷高坂町立野91—1	973	(0246)27 5616
㈲泉工業	盛岡市神子田町9—26	020	(0196)51 4726
㈱小山商店	〃 上堂1—19—9	020-01	(0196)46 9162
㈾小原商店	〃 高松2—13—10	020-01	(0196)62 3301
㈲コークシール工業	岩手県岩手郡滝沢村大字滝沢第11号地割字牧野林302—4	020-01	(0196)84 5311
㈱井村工業	青森市大字大矢沢字里見502	030	(0177)38 5042
㈲池田防水工業	八戸市新湊1—15—4	031	(0178)31 3246
㈲シーリングタナカ	三沢市大字三沢字下夕沢8—8	033	(0176)57 1643
桜シーリング工業	弘前市向外瀬字木伏610—11	036	(0172)35 3750
㈲栄防水工業社	八戸市湊町ホロキ長根34—2	031	(0178)33 2652
㈲興伸	青森市大字三内字里見86—13	030	(0177)82 5800
東北化工㈱	秋田県鹿角郡小坂町上谷地47—18	017	(0186)29 2349
㈲環清工業	湯沢市字祝田145—7	012	(0183)72 0038
㈲三国工業	秋田市土崎港相染町中谷地36—6	011	(0188)45 7576

3. 東日本シーリング工事業協同組合員 62

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アルファ産業㈱	東京都港区浜松町1—11—11	105	(03) 432 5735
㈲石黒建材社	〃 杉並区阿佐谷北5—12—2	166	(03) 338 0905
㈱石田シール工業	新潟市下場新町20—12	950	(0252)76 5991
伊藤建材㈱	東京都台東区西浅草2—15—9	111	(03) 842 1431
井上建装㈱	〃 北区豊島2—20—13	114	(03) 919 9420
内倉工業㈱	〃 練馬区上石神井4—9—6	177	(03) 928 0386
木元工業㈱	埼玉県志木市下宗岡4—31—6	353	(0484)73 8851
協和シーリング工事㈱	栃木県宇都宮市若草町字宮の関2647—22	320	(0286)24 7072
㈱栗崎工業	東京都葛飾区西亀有2—56—6	124	(03) 620 4901
クニ化学防水㈱	〃 中野区中央1—51—6 クニ防水ビル	164	(03) 362 9321
グロリー防水工業㈱	〃 江戸川区春江町2—39—1	132	(03) 678 4512
京葉シール㈱	〃 墨田区緑4—13—8	130	(03) 631 0106
光栄工業㈱	〃 練馬区上石神井1—20—5	177	(03) 928 2271
㈱工業技術研究所	〃 文京区本郷2—12—6	113	(03) 811 4421
興進工業㈱	〃 新宿区西新宿8—14—19 小林第2ビル	160	(03) 363 8741
山栄興業㈱	〃 渋谷区恵比寿1—13—10 恵比寿壱番館301	150	(03) 443 3321
三協防水㈱	〃 千代田区内神田3—4—9 上田ビル3F	101	(03) 251 6476
三和工業㈱	千葉県市川市相ノ川1—20—20	272-01	(0473)57 5153
㈱ジック	東京都渋谷区代々木1—30—1 代々木パークビル	151	(03) 370 0121
㈱シーラント	〃 豊島区高野台3—37—33	177	(03)5393 0831
㈲新堂	〃 杉並区荻窪5—1—14 秋山ビル201	167	(03) 392 8621
清起工業㈱	〃 昭島市玉川町5—15—17	196	(0425)46 5311
タイガー工業㈱	〃 品川区戸越5—17—13	142	(03) 783 0151
大栄建材㈱	〃 板橋区板橋3—30—5	173	(03) 964 1901
㈱大栄興業	〃 練馬区東大泉5—41—28	178	(03) 925 3106
㈲泰成工業	長野市青木島町大塚1053—3	381-22	(0262)86 4290
大和興業㈱	東京都大田区池上7—30—5	146	(03) 758 0342
高萩興業㈱	〃 江戸川区西小岩5—4—11	133	(03) 650 5261
田代工業㈱	〃 練馬区大泉学園町5—17—23	177	(03) 925 0711
中央建材工業㈱	〃 中央区銀座7—14—3 安田松慶ビル	104	(03) 543 8106
東邦シール㈱	〃 文京区春日2—1—5	112	(03) 815 3047
㈱トーホー・テクニカ	〃 中央区新川1—5—19 茅場町第一長岡ビル2F	104	(03) 297 3861
㈱東邦レジナ	〃 練馬区中村北2—20—10	176	(03) 926 0007
㈱トミヨシ商会	〃 大田区南馬込5—33—7	143	(03) 775 2203
日本ビソー㈱外装工事部	〃 杉並区方南2—4—6	168	(03) 313 1281
日本防水工業㈱	〃 練馬区富士見台4—43—5	177	(03) 998 8721
パシフィック開発建工㈱	〃 港区新橋5—14—2 鈴工ビル2F	105	(03) 437 0720
平沢工業㈱	新潟県長岡市前島町237	940-11	(0258)23 1529
ビルコン㈱	東京都文京区千駄木3—42—5	113	(03) 823 6061
北斗工業㈱	埼玉県上福岡市大字駒林680	356	(0492)61 2398
細田工業㈱	東京都港区芝大門2—1—8	105	(03) 432 8731
㈱マコト	〃 台東区台東1—6—3 東神ビル	110	(03) 834 6696
㈱マサル	〃 江東区佐賀1—9—14	135	(03) 643 5911
㈱マツダパラウォータ	〃 杉並区高円寺北3—31—15	166	(03) 330 9312
三矢興産㈱	〃 品川区戸越3—11—6	142	(03) 787 0360
㈱山形防水	〃 渋谷区幡ヶ谷2—21—1	151	(03) 377 3481
理建工業㈱	〃 墨田区太平4—22—4	130	(03) 622 4081
瀝青建材㈱	〃 千代田区神田佐久間町2—4	101	(03) 861 2706
レミントン工業㈱	埼玉県大宮市大和田町1—1500—2	330	(0486)83 0161
㈱アートシーリング	東京都渋谷区東2—27—4	150	(03) 406 7535
池田防水工業㈱	〃 江戸川区大杉1—8—14—202	132	(03) 655 6770
吉田建設工業㈱	〃 港区六本木6—9—12	106	(03) 403 0851
㈲トミタ	〃 東久留米市下里7—7—4	203	(0424)73 9237
永福産業㈱	〃 昭島市昭和町4—11—24	196	(0425)45 0053

㈱ 栄和シーリング工事	東京都調布市西つつじヶ丘3—15—3	182	(0424)88 1654
㈲ シグマ	〃 文京区本郷2—40—13	113	(03) 814 3704
㈱ 第一興産	〃 新宿区西新宿8—2—20	160	(03) 363 9918
拓友防水工業㈱	〃 新宿区新宿1—18—15	160	(03) 350 6252
武蔵工業㈱	〃 東大和市向原2—1047—4	189	(0425)64 5521
クリステル工業㈱	〃 中野区弥生町2—3—10	164	(03) 372 2451
タケダ工業㈱	〃 府中市新町1—45—10	183	(0423)64 0338
㈱ 藤光	〃 小平市天神町2—199—15	187	(0423)44 2811

4. 静岡県シーリング工事業協同組合員 21

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
石渡産業㈱	沼津市神田町6—3	410	(0559)21 6061
㈲ 内田建工	静岡市丸子3—12—47	421-01	(0542)59 0603
大村商事㈲	静岡県榛原郡吉田町神戸3852—1	421-03	(0548)32 2486
掛川シーリング工業	掛川市下垂木2002—6	436-02	(0537)24 0283
㈲ 三信工業	静岡市曲金1—9—53	422	(0542)83 2180
㈲ 三有工業所	〃 北安東5—56—2—3	420	(0542)47 7791
㈱ 静岡コーキング工業	〃 西島473—1	422	(0542)81 1618
清水シール工業	清水市横砂西町1—12	424	(0543)63 0915
㈱ シンコー工業	〃 北脇新田328—1	424	(0543)46 7859
㈲ 新静シーリング	静岡市敷地2—18—18	422	(0542)37 2086
関シーリング工業	富士市天間1461—2	419-02	(0545)71 8518
大栄工業㈱	焼津市石脇上133—2	425	(0546)27 9400
㈲ ツカコシ商工	浜松市白羽町2676	430	(0534)41 2273
㈱ ナカムラシール	〃 市野町933—1	435	(0534)33 2434
㈲ 中村コーキング工業	掛川市家代49—1	436-02	(0537)23 1184
㈲ 西村工研	静岡市広野2—5—32	421-01	(0542)58 7537
㈲ 浜松シーリング工業	浜松市長鶴町177—1	435	(0534)64 3839
㈱ ビルドサービス東海	静岡県浜名郡可美村増楽1481	432	(0534)48 8711
不二化成品㈱清水店	清水市鳥坂327	424	(0543)45 7281
㈱ ヤグチ工業㈱	富士市伝法710—7	417	(0545)71 5656
和興建材工業㈱	浜松市向宿町212	430	(0534)65 1328

5. 中部シーリング工事業協同組合員 42

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
㈲ あいさんプルーフ	津島市申塚町1—89	496	(0567)24 2004
愛知トヨタ興業㈱	名古屋市昭和区高辻6—8	466	(052)871 1651
朝日建物㈱	金沢市泉が丘2—9—3	921	(0762)42 1281
㈲ 朝日コーキング	名古屋市西区八筋町347	452	(052)502 8935
㈲ 石原コーキング興業	小松市村松町19	923	(0761)43 2201
㈲ 市川防水	小牧市大字北外山宮ノ腰56—1	485	(0568)72 0587
㈲ 大久保コーキング	春日井市如意申町字丸山878—1	486	(0568)31 8775
加賀防水工業㈱	金沢市増泉4—10—22	921	(0762)42 1494
㈲ 加藤防水工業	名古屋市名東区延珠町802	465	(052)771 6691
北川防水工業所	〃 中区新栄2—48—11	460	(052)241 7628
㈱ 栗原	金沢市増泉3—7—1	921	(0762)42 5101
㈱ 三栄	名古屋市北区志賀本通2—24	462	(052)981 2134
㈲ 三栄コーキング	一宮市松降1—3—11	491	(0586)24 1840
三信建材工業㈱	豊橋市鴨田町52—1	440	(0532)45 8211
㈱ 志水化工	名古屋市西区稲生町3—37—1	451	(052)531 5295
㈱ シリコーンエンジニア	〃 名東区上社3—103	465	(052)703 6181
㈲ 第一防水	〃 中村区中村中町3—45	453	(052)482 1654
大信工業㈱	愛知県海部郡甚目寺町山の浦65	490-11	(052)442 5775
㈱ 高坂工業	名古屋市中村区五反城町4—31	453	(052)412 0857
隆志建工㈱	愛知県西春日井郡師勝町大字六ッ師500	481	(0568)21 0794

タナカ工業㈱	伊勢市上地町2677—1	516	(0596)23 3113
中央建材工業㈱	名古屋市千種区高見1—6—1	464	(052)761 6181
長陽装業㈲	長野県下伊那郡上郷町飯沼349—1	395	(0265)24 0378
津田硝子㈱	名古屋市天白区一ッ山1—2	468	(052)801 1195
㈱東海工事	豊橋市岩屋町字岩屋下33—13	440	(0532)62 7614
東海物産㈱	名古屋市千種区若水3—20—23	464	(052)721 2211
中村コーキング店	〃 昭和区車田町2—8	466	(052)731 5059
㈲名西商会	愛知県西春日井郡清洲町新清洲6—5—1	452	(052)409 4629
日満防水工業㈱	犬山市字角池57—3	484	(0568)67 1810
日精工業㈱	金沢市新保本1—465	921	(0762)40 1101
㈱ノダキ	名古屋市西区名駅3—10—26	450-91	(052)561 4371
㈱ビルメン	〃 北区苗田町16	462	(052)901 1801
フジ工業㈱	〃 北区石園町3—21	462	(052)991 4741
不二興業㈱	金沢市法光寺町24	920-01	(0762)58 4755
フルヤマズコーキング	一宮市北方町中島字中越27—10	493	(0586)86 5355
松村建工㈱	滋賀県愛知郡愛東町大字上中野983—2	527-01	(07494)6 1277
ムツミ工業	金沢市八日市出町465	921	(0762)40 3131
ムラセ工業㈱	名古屋市守山区小幡3—2—14	463	(052)791 4465
㈱名岐	岐阜市籔田3—63	500	(0582)73 2761
森建材商行	名古屋市西区松西町2—87	451	(052)562 1668
山新工業	土岐市旭ヶ丘47—34	509-54	(05725)9 4505
㈱リノテック	名古屋市千種区新西2—3—6	464	(052)774 6621

6. 富山県シーリング工事業協同組合員 9

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
石動コーキング㈱	富山市柳町4—1—9	930	(0764)33 8966
丸協	〃 東中野町2—5—10	930	(0764)23 3754
北陸ビル防設㈱	〃 二口町71—5	939	(0764)21 6924
㈱日本ビルサービス	富山県砺波市三郎丸313	939-13	(07633)3 1202
サン・シーリング工業㈱	富山市飯野134	930	(0764)51 1511
㈱前田コーキング	高岡市細池533	933	(0766)21 4034
岡田コーキング工業	黒部市石田774—3	938	(0765)52 2896
堀越コーキング㈱	富山県射水郡下村加茂3686	933-02	(0766)59 2308
若林シーリング店	富山市大塚東205	930-01	(0764)36 6459

7. 関西シーリング工事業協同組合員 50

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
新和化工㈱	豊中市南桜塚2—1—101	560	(06) 843 0356
エマール工業㈱	大阪市住吉区山之内1—21—21	558	(06) 695 0751
大阪アルファ産業㈱	〃 淀川区西中島4—6—30 チサン第5ビル303	532	(06) 301 5235
㈱大阪シール	〃 北区天満4—11—16	530	(06) 352 2895
㈱大阪防水工業所	守口市梶町1—124—7	570	(06) 903 0016
大阪ユニロン㈱	大阪市福島区玉川2—11—21	553	(06) 448 2341
㈱勝友商会	神戸市東灘区青木5—18—23	658	(078)411 4418
㈱京都シール	京都市山科区音羽八ノ坪町34—15	607	(075)501 1100
共立産業㈱	大阪市中央区本町4—5—2 広和ビル	541	(06) 262 5845
神戸建設㈱	伊丹市荒牧字桑田60	664	(0727)81 5189
三大工業㈱	大阪市西区京町堀3—3—30 第2同盟ビル405号	550	(06) 443 2728
三幸物産㈱	〃 住吉区万代3—5—9	558	(06) 671 2498
昌栄亀井㈱	尼崎市武庫之荘3—17—11	661	(06) 431 8429
㈱大一防水工業	大東市寺川2—1—1	574	(0720)71 8951
㈱大協建材	大阪市浪速区元町1—13—7 第3カネイチビル	556	(06) 649 4105
大信防水工業㈱	神戸市長田区西丸山町3—3—16	653	(078)642 3760
㈱東光商会	〃 東灘区岡本4—4—6	658	(078)453 2211
㈱東洋防水	大阪市阿倍野区文の里2—3—15	545	(06) 621 3741

㈱中出商会	神戸市兵庫区上沢通6—1—1	652	(078)511 4501
日建瀝青工業㈱	〃 兵庫区水木通8—2—7	652	(078)576 0851
日添工業㈱	大阪市北区天満4—3—9	556	(06) 357 8088
日本化成工業㈱	吹田市南金田1—4—46	564	(06) 385 3886
白洋建材㈱	大阪市都島区本通2—15—1	534	(06) 924 2536
㈲豊栄シール	堺市奥本町1—74	591	(0722)55 0338
㈱美作	守口市八雲西町4—69	570	(06) 991 0500
八尾コーキング	八尾市久宝寺5—4—31	581	(0729)92 3846
㈲吉川美装商事	滋賀県大津市中央3—2—2	520	(0775)24 8289
大阪工業㈱	大阪市西区南堀江3—13—11	550	(06) 531 4814
関西シーリング工業㈱	大阪府南河内郡太子町山田2673—1	583	(0721)98 0239
山陽シール工業㈱	姫路市八代宮前町18—15	670	(0792)97 0658
㈱特殊技研	大阪市北区末広町3—21 星和地所扇町ビル	530	(06) 315 0701
㈱関西住建	京都市伏見区石田大受町31—266	601-13	(075)571 0246
トシダ工業㈱	高槻市芝生町1—14—1	569	(0726)77 1536
ユニオン商事	大阪市西区靭本町3—1—6	550	(06) 445 0753
高橋シーリング	〃 旭区新森3—17—19	535	(06) 951 9585
㈱中村商店	摂津市鳥飼下3—3—7	567	(0726)54 4538
山下防水建設㈱	大阪市中央区道頓堀2—3—24	542	(06) 211 0553
セキシュウ技研㈱	〃 東淀川区菅原2—11—35	533	(06) 326 1088
㈱天草シール	神戸市東灘区深江南町4—12—7	658	(078)451 0816
㈱高月商会	宝塚市伊子志2—13—12	655	(0797)72 5922
大和シール工業	大阪府南河内郡太子町春日135—2	583	(0721)98 1819
八鉱シーリングコンサルタント	神戸市須磨区妙法寺字牛の子999—28	654	(078)743 2455
ユニオン保全㈱	西宮市染殿町6—12—104	662	(0798)35 8800
㈲京阪防水	堺市小阪115—13	593	(0722)77 5180
㈱泉北特殊防水	〃 槇塚台2—16—24	590-01	(0722)91 4111
宝シール工業㈱	大阪市阿倍野区三明町1—10—9	545	(06) 629 0196
日栄化工㈱	尼崎市武庫之荘本町3—19—22	661	(06) 431 0819
㈲松山工業	堺市神石市之町11—4	590	(0722)65 1200
友田工業㈱	大阪市都島区都島中通3—3—6	534	(06) 921 0331
平木工業㈱	吹田市広芝町7—26 米澤ビル第6江坂	564	(06) 337 7585

8. 中国シーリング工事業協同組合員

30

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アイシン工業㈱	広島市西区楠木町3—6—9	733	(082)238 3883
アオケン㈱	〃 中区舟入幸町19—10	730	(082)292 3200
㈲朝日防水工業	松江市菅田町383	690	(0852)26 3735
㈱岩本商店	福山市曙町5—163—1	721	(0849)53 8798
烏城防水工業㈲	岡山市倉富494—34	703	(0862)77 0364
㈱占部防水工業	福山市御船町1—11—7	720	(0849)21 1458
㈲小野甚商店	岡山市丸の内1—13—13	700	(0862)25 4868
㈱川合防水商会	倉敷市早高118—1	710	(0864)28 4611
山陰シール工業	米子市両三柳165—4	783	(0859)32 2287
㈱サンゼオン	広島市西区中広町3—17—16	733	(082)291 1631
㈱三洋技研 広島支店	〃 西区庚午南1—3—30	733	(082)271 9317
㈲昭和化学防水工業	岡山市下伊福1—3—24	700	(0862)53 4093
第一化工㈱	広島市西区南観音町1—5—40	733	(082)293 3828
高橋工業㈱	福山市野上町1—11—8	720	(0849)21 2570
中国特殊防水産業㈲	広島市西区中広町3—11—9	733	(082)231 9958
中国冨士化工建設㈱	〃 東区矢賀1—5—52	732	(082)284 3117
㈱ツキタニ工業	広島県安芸郡府中町本町1—11—3	735	(082)282 7019
日化工材㈱	岡山市表町2—6—21	700	(0862)25 2021
ニッテイ㈱	新南陽市新田2—7—50	746	(0834)63 2532
日本シール工業㈱	広島市西区楠木町4—15—39	733	(082)238 7447
㈲肥田工業	〃 東区戸坂新町2—3—5	732	(082)229 3411
広島アルファ産業㈱	〃 西区中広町2—25—14	733	(082)293 6557

㈲ フ ヂ 防 水 工 業	広島市佐伯区海老園2—11—17	731-51	(0829)22 9757
フ ジ ミ 工 業 ㈱	広島県安芸郡府中町大須3—7—14	735	(082)282 2201
豊 永 建 材 ㈱	広島市東区光町2—14—34	732	(082)264 1223
マ ル エ 商 工	防府市大字牟礼4314—4	747	(0835)38 0273
㈱ マ ル エ ス 工 業	広島市中区宝町8—26	730	(082)243 7474
丸 福 建 材 工 業 ㈱	〃 中区吉島町12—18	730	(082)241 6666
㈱ 森 本 組	〃 西区中広町3—22—12	733	(082)291 2629
吉 田 シ ー リ ン グ 工 業	徳山市大字徳山字西粟坪7862—2	745	(0834)21 7077

9. 四国シーリング工事業協同組合員

45

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電話番号
㈲ 日本防水三島工業所	伊予三島市中央5—9—45	799-04	(0896)24 5174
イ ヨ 防 水	川之江市川之江町古町1128	799-01	(0896)56 2984
錦 海 防 水 ㈲	新居浜市西の土居町1—3—43	792	(0897)34 3333
東亜グラウト㈱新居浜四国支店	〃 菊本町2—13—48	792	(0897)34 7111
㈱ マ ル マ ス 河 野 商 店	今治市共栄町4—5—2	794	(0898)32 5000
イ ケ ダ 産 業 ㈱	松山市久万の台189—1	791	(0899)25 5590
㈱マルマス河野商店松山支店	〃 問屋町3—6	791	(0899)22 2121
㈱ 山 本 商 会	〃 三番町7—8—1	790	(0899)31 6261
㈱ 日本防水松山工業所	〃 石手1—3—19	790	(0899)77 0998
岩 田 建 材 ㈱	〃 南高井町1280—1	791-11	(0899)75 6700
大 淵 建 工	〃 谷町甲179—10	791	(0899)78 2745
松 山 建 工 ㈱	〃 福音寺町249—2	790	(0899)75 1590
㈲ 広 栄 商 会	愛媛県伊予郡松前町浜781—8	791-31	(0899)84 3576
正 和 商 事 ㈱	松山市一番町3—3—5	790	(0899)21 8161
㈲ 富 士 防 水	〃 平和通り2—3—3	790	(0899)45 5401
㈲ フ ク ヤ 建 材	宇和島市高串1—468	798	(0895)24 2280
㈱ シ コ ク ビ ル	松山市居相町450—4	790	(0899)58 1222
和 研 工 業 ㈱	高松市松並町683	760	(0878)66 8122
古 市 断 熱 工 業 ㈱	〃 宮脇町2—30—5	760	(0878)61 5034
大 三 工 業 ㈱	〃 本町1—17	760	(0878)51 6811
マ ル ヱ 工 業 ㈲	〃 福岡町2—13—22	760	(0878)21 8410
㈱ 日 新 建 工	丸亀市田村町525	763	(0877)24 3535
四 国 日 東 工 材 ㈱	香川県三豊郡高瀬町大字新名1913—1	767	(0875)72 5337
四 国 防 水 工 業 ㈱	〃 香川郡香川町大野264—1	761-17	(0878)88 3555
㈱ 東 亜 応 用 化 工	坂出市室町1—3—32	762	(0877)46 2185
新 弘 化 建 ㈱	善通寺市弘田町768—5	765	(0877)63 0801
㈲ 大 石 防 水 工 業	高松市屋島西町68—2	760	(0878)41 3690
㈲ 西 部 シ ー ル	丸亀市三条町上村13—16	763	(0877)28 8191
㈲ 高 分 子 工 材	高松市浜の町18—27	760	(0878)21 3010
四 国 ポ リ マ ー ㈲	香川県綾歌郡飯山町上法軍寺326—5	762	(0877)98 3991
㈲ フ ク シ マ 工 業	高松市香西北町54—3	761	(0878)81 3366
㈱ 香 川 シ ー ル 工 業 所	丸亀市垂水町3224—19	763	(0877)25 0171
㈲ 高知エバレヂン工業所	高知市南川添26—11	780	(0888)84 0571
岸 防 水 工 業 ㈲	〃 塩屋崎町2—10—35	780	(0888)32 7731
㈲ 高 知 防 水 セ ン タ ー	〃 神田吉野1829	780	(0888)31 7324
朝 日 産 業 ㈱	〃 南の丸町2—1	780	(0888)33 2100
谷 本 商 事 ㈱	〃 農人町5—17	780	(0888)82 6900
古市断熱工業㈱高知営業所	〃 薊野1073	780	(0888)45 0624
大 三 工 業 ㈱ 高 知 支 店	〃 一宮東光蓮寺2635—4	780	(0888)45 4800
㈲ 井 上 吹 付 塗 装	高知県吾川郡伊野町枝川227—3	781-21	(0888)92 4670
徳 島 大 三 工 業 ㈱	徳島市北矢三町1—2—61	770	(0886)31 4161
㈲ ミ ツ ワ 建 産	〃 富田橋5—8	770	(0886)25 7585
徳島ゴーレックス工業 ㈱	〃 川内町沖島612—1	771-01	(0886)65 3811
㈲ 中 條 防 水 工 業 所	〃 末広5—4—25	770	(0886)23 2564
㈲ 斉 藤 防 水 工 業	〃 吉野本町6—9	770	(0886)22 2931

10. 九州シーリング工事業協同組合員 27

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アイワ工業㈱	宮崎県東諸県郡高岡町大字高浜2573—1	880-22	(0985)82 1687
㈲岡村シーリング工事	福岡市南区清水2—15—30	815	(092)553 1881
九州特殊工事㈱	〃 博多区千代4—5—1	812	(092)611 0426
草野工業㈱	北九州市小倉北区霧ヶ丘1—5—11	802	(093)922 7631
㈲クロキ工業	鹿児島市下福元町6567—23	891-01	(0992)61 5361
㈱佐藤防水	〃 郡元1—20—5	890	(0992)54 2704
三賀産業㈱	福岡市博多区博多駅前3—5—7 博多センタービル	812	(092)471 1355
㈲サン技研	熊本市新土河原町1070	860	(096)322 2661
しまだ工業㈱	北九州市小倉南区大字徳吉108—4	803-02	(093)452 0220
昭和日本化成㈱	福岡市西区野方3—1—8	819	(092)812 3311
㈱神栄工業	長崎市三川町800—40	852	(0958)46 0775
シンコー化成興業㈱	福岡市城南区別府6—3—6	814	(092)821 1546
㈱新日本樹脂化工	大野城市中20—4	816	(092)503 5070
須川防水工業	春日市一の谷3—149—2	816	(092)501 6101
大栄㈱	北九州市小倉北区西港町61—13	803	(093)571 4581
㈲ダイシン産業	福岡市城南区別府2—15—41	814	(092)851 8722
テイパ化工九州販売㈱	〃 南区長丘5—11—20	815	(092)561 1675
㈲成建	熊本市健軍町2622—20	862	(096)367 3631
㈲日本シーラント工業	筑紫野市二日市658—2	818	(092)928 1417
㈲野田工業所	福岡県大野城市仲畑1—9—17	816	(092)572 3859
博栄工業㈱	長崎市川平町1389—2	852	(0958)49 2232
橋口工業㈱	福岡県筑紫郡那珂川町片縄浦の原866—4	811-12	(092)952 1882
B J 工事㈱	那覇市前島町2—14—11 松ビル	900	(0988)63 2164
福岡アルファ産業㈱	福岡市博多区博多駅前3—9—5 チサン博多ビル316号	812	(092)451 1073
南日本化成㈱	鹿児島市西別府町3116	890	(0992)82 8111
宮本産業㈱	福岡市早良区賀茂1—7—12	814-01	(092)862 3331
㈱ムトウ	〃 早良区昭代3—2—5	814	(092)851 0111

関連会社、団体一覧表

1) バックアップ材メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業㈱	東京都千代田区有楽町1—1—2　日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
化研マテリアル㈱	〃　江東区新木場1—17—6	136	(03) 521 7439
光栄加工㈱	〃　練馬区上石神井南町18—11	177	(03) 920 2671
㈱新和商会	〃　荒川区西日暮里2—24—14	116	(03) 803 1411
積水化学工業㈱	大阪市北区西天満2—4—4　堂島関電ビル	530	(06) 365 4306
大進商工㈱	東京都北区東十条3—13—9	114	(03) 912 8447
日本バックアップ工業㈱	〃　中野区中央1—10—5	164	(03) 369 0215
野口興産㈱	〃　練馬区豊玉北2—10	176	(03) 994 5601
日立化成工業㈱	〃　新宿区西新宿2—1—1　新宿三井ビル	163	(03) 346 3111
フヨー㈱	〃　墨田区業平5—5—6	130	(03) 626 3371

2) 施工用具メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
エムアンドケー㈱	名古屋市緑区大高町川添51	459	(052)621 3100
大竹工業㈱	東京都江戸川区江戸川6—40	134	(03) 878 7501
㈱菅野製作所	〃　北区志茂3—3—26	115	(03) 903 3140
巴工業㈱	〃　中央区日本橋3—9—2　第二丸善ビル	103	(03) 271 4075
日本ソセー工業㈱	名古屋市南区南野1—99	457	(052)612 7321
ミキスタ工業㈱	東京都中央区日本橋蠣殻町1—33—7	103	(03) 669 9471
㈱山本製作所	大阪市阿倍野区松崎町2—7—10	545	(06) 623 5170

3) 建材関連団体

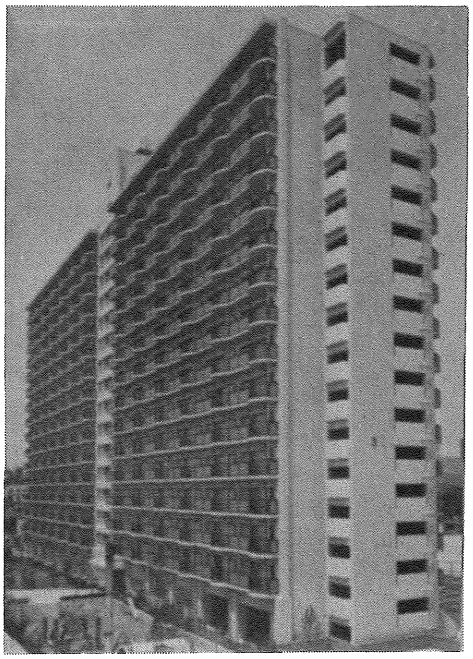
団体名	所在地	郵便番号	電話番号
板硝子協会	東京都中央区丸の内3—3—1　新東京ビル4F	100	(03) 212 8631
ALC協会	〃　千代田区神田須田町1—5　ディアマントビル	101	(03)5256 0431
㈶化学品検査協会	大阪市天王寺区堂ヶ芝町1—6—5	543	(06) 771 5157
㈶建材試験センター	東京都中央区日本橋小舟町1—3　太田ビル	103	(03) 664 9211
建築ガスケット協会	〃　港区西新橋2—2—10　三喜ビル	105	(03) 501 2906
コンクリートカーテンウォール工業会	〃　中央区京橋1—9—4　東和ビル5F	104	(03) 567 3315
全国板硝子商工協同組合連合会	〃　千代田区神田神保町3—4　総合板硝子会館	101	(03) 262 6737
㈳日本カーテンウォール工業会	〃　港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
日本乾式防火サイディング協会	〃　中央区銀座7—10—8　高橋ビル9F	104	(03) 571 1359
㈳日本建材産業協会	〃　港区新橋6—13—1　第3長谷川ビル	105	(03) 435 0571
日本建築仕上材工業会	〃　千代田区神田和泉町1—6　インターナショナルビル	101	(03) 861 3996
㈶日本建築センター	〃　港区虎ノ門3—2—2　第30森ビル	105	(03) 434 7161
㈶日本建築総合試験所	大阪府吹田市藤白台5—8—1	565	(06) 872 0391
㈳日本サッシ協会	東京都港区南青山5—11—2　共同ビル(南青山)	107	(03) 409 3441
日本樹脂施工協同組合	〃　台東区台東1—12—11　青木ビル	110	(03) 831 6185
日本接着剤工業会	〃　千代田区内神田1—15—10　福島ビル	101	(03) 291 3303
㈳日本塗料工業会	〃　港区元赤坂1—5—26　東部ビル	107	(03) 408 7201
㈳プレハブ建築協会	〃　港区芝公園3—1—38　秀和芝公園3丁目ビル	105	(03) 431 1481

4) 防水団体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
全国防水工事業団体連合会	東京都千代田区岩本町2—18—14　藤井第1ビル4F	101	(03) 865 4359

アスファルトルーフィング工業会	東京都千代田区岩本町3—11—13	101	(03) 862 8531
外壁補修工事業協同組合	〃 新宿区西新宿3—2—10 水間ビル	160	(03) 344 2475
九州アスファルト工事業協同組合	福岡市中央区舞鶴2—8—2 村上ビル	810	(092) 713 5263
合成高分子ルーフィング工業会	東京都中央区新川1—3—2 新東京ビル	104	(03) 552 8479
ゴムアスファルト防水工事業協同組合	〃 渋谷区代々木1—11—2	151	(03) 320 2020
常温アスファルト防水事業協同組合	〃 板橋区坂下3—29—11	174	(03) 558 0218
西部アスファルト工事業協同組合	大阪市西区江戸堀1—20—11 辻川ビル	550	(06) 445 1138
全国アスファルト工事業協同組合連合会	東京都中央区八重洲1—2—1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
全日本プレハブ建築防水協会	〃 渋谷区代々木1—11—2	151	(03) 320 2019
東部アスファルト工事業協同組合	〃 中央区八重洲1—2—1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
西日本建設防水協同組合	大阪市天王寺区餌差町7—6	543	(06) 762 4047
㈳ 日本アスファルト同業会	東京都中央区八重洲1—2—1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 2208
日本ウレタン建材工業会	〃 港区芝浦1—14—7 朝日ビル701号	105	(03) 452 7852
日本外壁防水材工業会	〃 中央区八重洲2—8—5 三菱レイヨン㈱内	104	(03) 274 4621
㈳ 日本薬液注入協会	〃 文京区後楽1—1—2 春日ビル	112	(03) 816 2681
東日本建設防水協同組合	〃 新宿区歌舞伎町2—1—2 北井ビル	160	(03) 200 3584

●屋上防水工事
●外壁防水工事
●シーリング工事



外壁補修工事業協同組合員
全国パラテックス防水工事業協同組合員
東日本建設防水協同組合員
東日本シーリング工事業協同組合員
ゴムアスファルト防水工事業協同組合員
全日本プレハブ建築防水協会会員
全国アロンコート・アロンウォール
防水工事業協同組合員

東京都知事許可 般62第36279号

株式会社 ジックス

取締役社長 出水秀夫
東京都渋谷区代々木1—30—1
TEL 03 (370) 0121 (代)

「シーリング技術管理士」に関する規約

（昭和62年９月８日改訂）

第１条　（目　的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり，水密，気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ，設計･施工を通じた技術の向上に併せて，業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第２条　（職　務）

シーリング技術管理士（以下技術管理士という）は，シーリング工事に関して，防水設計，シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し，技術指導を行なう。

第３条　（技術管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第２条に基づき，講習ならびに検定試験を毎年１回実施し，これを受講し試験に合格した者を工業会は技術管理士として認定する。

第４条　（受験資格）

受験資格者は工業会々員会社に所属する者，および会員会社が推薦し理事会が承認した者とする。ただし施工会社に所属する者は除く。

技術管理士の受験資格は次の通りとする。

イ．年齢22歳以上の者

ロ．実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者，ただし中学卒業者はその限りではない

学歴		経験年数
大学卒業	普通	2年
	専門	1年
高専卒業	普通	3年
	専門	2年
短大卒業	普通	3年
	専門	2年
高校卒業	普通	5年
	専門	3年
中学卒業	普通	7年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
　　普通とは専門以外の課程修了者をいう。

第５条　（資格の更改）

技術管理士は４年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間１年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し，次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング技術管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は，その資格は取消される。

第 6 条　（証明書の返却）

技術管理士が所属する会社を退職する場合は，速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条　（証明書の再交付申請）

第6条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は，改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条　（証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合，工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条　（資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は技術管理士の資格を取消すことができる。

1. 第2条に定める職務の遂行が困難になった場合
2. 刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3. その他技術管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条　（その他の事項）

前各条の他，運営上必要な細部事項については別に定める。

「シーリング管理士」に関する規約

（昭和62年9月8日改訂）

第 1 条　（目　的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり，水密，気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ，設計・施工を通じた技術の向上に併せて，業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条　（職　務）

シーリング管理士（以下管理士という）は，現場施工能力を有し，かつ防水設計，シーリング材の性能・品質・施工方法について十分な知識を活用し，シーリング工事について施工及び技術指導を行なう。

第 3 条　（管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第2条に基づき，講習ならびに検定試験を毎年1回実施し，これを受講し試験に合格した者を工業会は管理士として認定する。

第 4 条　（受験資格）

受験資格者は日本シーリング工事業団体連合会（以下日シ工連という）会員会社に所属し，人格識見を有する者で，所属する会社代表者の推薦を必要とする。

管理士の受験資格条件は次の通りとする。

イ．年齢22歳以上の者

ロ．実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者，ただし中学卒業者はその限りではない

学歴		経験年数
大学卒業	普通	2年
	専門	1年
高専卒業	普通	3年
	専門	2年
短大卒業	普通	3年
	専門	2年
高校卒業	普通	5年
	専門	3年
中学卒業	普通	7年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

ハ．ゴンドラ運転の特別教育修了証所持者であること

第 5 条　（資格の更改）

管理士は4年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間1年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し，次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。

原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は，その資格は取消される。

第 6 条　（証明書の返却）

管理士が所属する会社を退職する場合は，速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条　（証明書の再交付申請）

第6条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は，改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条　（証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合，工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条　（資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は管理士の資格を取消すことができる。

1．第2条に定める職務の遂行が困難になった場合
2．刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3．その他管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条　（その他の事項）

前各条の他，運営上必要な細部事項については別に定める。

シーリング技術管理士名簿

（　）は更新未完につき資格を保留

521名（16名）

会社名	氏名
愛知住宅工業㈱	瀬ノ上正一
㈲アイワ工業	白地幸男
㈲アクト	村田治男
旭硝子コートアンドレジン㈱	古谷健一
アサヒボンド工業㈱	徳田精久
㈱アジア建設資材	富田則行　樋口哲也 佐藤一郎
㈱阿部塗料店	宗延徳仁
井上喜㈱	勝尾明兼　田中猛仁 古賀俊男
潮物産㈱	竹浪　博
㈱エービーシー商会	芥川慎一　仁多見憲二 磯部文男　小泉雅二 千葉隆一
オート化学工業㈱	高木紀英　笠原　哲 塚田正博　森田栄一 伊藤彰彦　谷川邦彦 相原正伸
大分YKK工業㈱	甲斐基介
大阪御国商事㈱	（吉村和弘）
近江YKK工業㈱	山田哲雄　藤井久和
オギノセメン㈱	（加藤幹也）
小野田エーエルシー㈱	服部貴久
化研マテリアル㈱	郷間隆一
化成品通商㈱	長谷部豊
鐘工業㈱	越賀恒雄　柏木顕正
カネボウ・エヌエスシー㈱	脇　健答　渡辺敏幸 河端健二　羽土浩春 福富浩司
カネボウ化成㈱	（森重幸雄）
共信商事㈱	古田裕康
光栄商事㈱	内田　勲　増田博文
コニシ㈱	河端次彦　谷口雅俊 勝又賢次　小林保夫 林　信義　中野信二 井谷　誠　加藤昭彦 小杉誠一　福永陽一 山崎一昭　赤松郷也 日下部悟　日向俊夫 秋山晶俊　田室浩一郎
小林通商㈱	小林　剛　遠藤研也
讃岐YKK工業㈱	轟　清
㈱サム	（前田敏行）
三協アルミニウム工業㈱	加納　保　勘坂真司
サンスター技研㈱	花田健治　榎本教良 加川順一　田村耕三 平井孝典　水野隆司 田島哲夫　市川隆吉 大中義夫　西村良雄 金長祥光　和田　裕 田中美樹夫　尾茂田宏侍 野村昌弘　堀　恒美 佐藤　修　福元　寛 原田康裕　野口伸一郎 上田政則　川上一三 猪俣節雄　多田羅晋由 井上陽介　川井亮一 平生澄男　田中愛益 木村安男　泉　克幸 大浦康生　北尾孝二 前田　満　寺沢宏二 秋山寿次　浜田順二 永江道法　青木茂広 金久保雄司　熊谷正浩 高良龍一　梶原祥一 斉藤隆良　森田哲広 小森　勇
三洋工業㈱	藤里　稔　西野俊幸 小笠原利男　谷田部利夫 杉山博樹　斉藤健二 東　洋　池田正博 中島芳夫　大物久夫 鈴木信久　竹本　寛 浦川英明　辺田　浩 土谷秀樹　宮下貢次 田中清晴　国見延也 三好　陽　志賀芳勝 長尾　賢　富永淳一 土嶺俊夫　庄子　誠 遠藤直樹　木村光延 石岡庄厚
サンライズメイセイ㈱	中村公士　藤本亮秀 梶山武夫　荻野耕造
滋賀トーヨーサッシ工業㈱	荒巻久雄
㈱ジェイ・シーサプライ	秋沢充敏
昭石化工㈱	富田健一　山田明宏 山田一洋　竹田和幸 佐山　滋　豊田耕二 （渡辺　大）　加賀見修由 大関守彦　星田　篤 増子潔志　久田光男 大山　隆　白倉　晋 伊藤哲夫　浦山政成 木村公彦　塩垣紀明 加藤輝男　桜井喜代裕 広川康弘
下田通商㈱	高山雅美　北村利晃
信越化学工業㈱	河野純一　小林　勲 坂詰功晃　増田　透 鎚水寿博　石坂和夫 （佐藤和治）　鳥屋幸男 浅見嘉信　布施雅己 西沢　修　里二三夫 上田文雄　原沢健二 横塚貞治　上野隆夫 萩原　隆　辻　仁 中野昭弘　藤原武則 渡辺　博　清水正浩 中島　剛
㈱新和技建	高田拓佶
㈱住ゴム産業	松本　智
住友ウォールシステム㈱	木村　充
㈱スリーボンド	勝野宣広　田村英明
世界長㈱	井上久世　橋本剛一 中田豊隆　（松田修蔵） 中村光男　松井潤介 森本隆良　坂口　茂 酒井久男　村上純一 山崎健一　安藤政人 田所和正　重永真二 中村章一

セメダイン㈱	小形考一　松田　豊 松林日出男　峰岸清志 後藤　均　熊谷建基 川辺征善　川端　博 安斉忠男　五味秀樹 中田欽也　新村由行 池谷勝巳　大給近尚 辻野末次　鳥巣幸雄 木下雅智　佐々木清信 大友考夫　阿部祐輔 山口　修　供田良憲 藤原靖博　川井一郎 杉浦條二　鈴木快典 水野政幸
セントラル硝子㈱	大下淳宏　刀根定司
㈱大豊工業所	茄子川俊
㈱タイルメント	河合　敦　小島健市 明石憲二　米沢富夫
大和ハウス工業㈱	本田純司
㈲高倉アルミ工業	高倉健一郎
ティパ化工㈱	上田　武　北野真一 山崎保充　堀河哲雄 関野士郎　小倉　臻 杉中　肇　市川益己 井口幸一　上田正行 八友　聡　岸　憲孝
東京ハマタイト㈱	松居幸男　河野　実 石飛俊二　長谷川浩
㈱東郊産業	岸　三治　船越　力 早川秀樹　木村英之 山本浩一
東芝シリコーン㈱	斉藤　修　渡辺修二 小笠原義治　小野部盛雄 清水千之　篠沢一義 細川　清　大工園昭二 高井直人　安藤秀秋 吉川敏夫　(仲野英樹) 神崎　聖　下屋敷恵治 浜砂岩男　福島通人 (大木直也)　横川　健 山本　治　金子啓之 大神田裕司　上野雄一 岸上浩二　町田孝夫 吉村純一　森田要一 大和俊夫　安西正吉
㈱東北協和工商	菅原久志
トーヨーサッシ㈱	大久保克春　金子英昭 石井良光　渡辺和基 菅原　昇　高村博之 尾田幸正　長沢広章 岡　和雄　土屋勝広
東洋商事㈱	三浦　清
東洋ビルサッシ㈱	河口達也
東レ・ダウコーニング・シリコーン㈱	市橋弘雄　笠井慎年 沢村直文　椎名健介 久野二郎　広田正行 空本　宏　吉水　毅 山田孝男　田中孝次 伊比輝男　小田喜幸 米谷敏夫　木原克己 菅沼紀之　高木忠雄 藤井秀一　土橋善雄 奏泉寺利春　内田広之 岩下恵一　立岡道広 石田忠雄　近藤秀俊 鈴木輝幸　須原　勇 斉藤　馨　石川秀高 平嶋弘司　高柳邦重 森　秀之　川村直司 谷口　哲　島田浩貴 黒田佳伸
東レチオコール㈱	窪　正一　佐藤　修二 薮　穣　佐々木幸男 岡村芳雄　蔵本博義 尾崎征洋　中島　暢
㈱トクハン	柳沼由夫　増田道夫
㈱西井塗料産業	山口良治　柴田英則
日東ポリマー工業㈱	与義守信　梅本州一 谷岡博美　吉川敏郎 梅本邦夫
日興化学工業㈱	篠田正巳　松村　博 山崎信義　宍倉政男
ニッセイ技研㈱	岸原　淳　川崎隆実
㈱日東	笹ノ間充　大山　誠
日東化成工業㈱	紺木忠興
日東電工㈱	山口龍之助
日東電材㈱	加藤一美
日本アルミニウム建材㈱	松田　忠
日本建鉄㈱	佐々木実　沢口雅之
日本シーカ㈱	古田春喜　阿部真久 久保勝年　山内　誠
日本添加剤工業㈱	岡田安正　田中昭南 土本高史
野口興産㈱	野口裕二　舟木保雄 本村　力
日立化成ポリマー㈱	山室義行　中田勝哲 竹本富夫　北川　進 山中　明　古新居敦 浜野幸市　立花豊松 池田　勇　大園浩和
福岡トーヨーサッシ工業㈱	塩塚慶志　菊池正紀 国崎　悟
福岡YKK工業㈱	笹原信行　深堀圭介 田中昭彦
フヨー㈱	山根高志　若山修一 宮崎　進　荒喜一郎 木山雅博　赤間正典
保土谷化学工業㈱	山崎滝通
保土谷建材工業㈱	小嶋三郎　山内　節 生田正道　角田和也
㈱前田理工	池田和広　村中　等 三浦正文
前橋トーヨーサッシ工業㈱	佐々木　忠
松戸トーヨーサッシ工業㈱	野口　修
㈲三河英建	太田　誠
水島ゴム工業品㈱	萩原昭文
三井東圧化学㈱	長久誠治
三菱化成工業㈱	関口高正
三星産業㈱	矢島克美
モリシタ化学産業㈱	宮下　孝　藤本啓之 足立慎治　鳥羽啓之
八代YKK工業㈱	福原孝司
ヤマウチ㈱	(梅野雅孝)　山田　博 渡部高久
横浜ゴム㈱	羽原吉雄　井部才輝 庄田　守　鎌田正徳 塩田　実　森　輝明 細田新也　五十嵐稔一 鶴野孝一　斉藤昭博 岩田克博　仲宇佐隆一 高橋総一郎　飯島俊之 大島幸雄　永野　勇 佐々木雅大　高橋　明 森　博幸

ヨコハマゴム工業品北海道販売㈱	中川仁公　大滝正己 陳岡達也　宮崎　敏 草刈正幾　岡本博行 佐藤新一　佐々木雅之 大野幸保
ヨコハマゴム工業品東北販売㈱	佐藤良正　梅津卓也 小山昌明　米沢忠芳
ヨコハマゴム工業品中部販売㈱	高森　寛　高木良知 中林秀樹　村上　修 鈴木伸治　大島幹生 鈴木憲人　佐藤達彦 松浦市郎　安部克也
ヨコハマゴム工業品東京販売㈱	佐野英一
ヨコハマゴム工業品関西販売㈱	大原光良　斉藤章徳 西村龍夫　藤原利夫 萩原　優　深尾正美 沖　昌弘　大塚政幸 (武田善史)　横山雅彦 山田修司　二反田英史 正田和久　矢倉康次
ヨコハマゴム工業品中国販売㈱	井上哲二　河原和伸 吉田匡史　田辺賢二
ヨコハマゴム工業品九州販売㈱	渡辺英治　白藤　薫 井上嘉英　山本　東
㈱横山産業	荒尾外志夫
㈱横山商会	田原健治

吉田工業㈱	宮袋武裕　我妻道男 千原　淳　在塚　均 竹村正巳　山下康広 小鍛冶秀明　鹿野裕市 中　雅之　三井田満男 泉谷昇二　広野利昭 横谷　功　石川真義 中山芳雄　小林幸男 栗木英明　伊藤　卓 南保宏樹　野崎勇一 東　高士　平山立夫 楠　利公　原橋信二
㈱吉田産業	熊谷隆良
㈱吉田産業青森	(福津聖二)　(三上幸雄)
㈱吉田産業久慈	下石畑信一
㈱吉田産業建材センター	(下斗米勝彦)　長谷川政弘
㈱吉田産業五所川原	今井秀男　(玉川　武)
㈱吉田産業水沢	千田正志
㈱吉田産業盛岡	(吉岡一男)
吉田商事㈱	和多田誠
㈱YKK大分	秋月浩之
㈱YKK埼玉	葉騰俊幸　増田　聡
㈱YKK千葉	越川仁志　小川正広
㈱YKK富山	水腰雅巳

シーリング管理士名簿

(　)は更新未完につき資格を保留

北海道地区　24名（1名）

会社名	氏名
㈱片岡コーキング	片岡京子
㈱カトウシーリング工業	佐藤信彦
㈲技研シール工業	村田　渉
㈱北日本コーキング	土田　武
㈱協栄シール	吉無田泰長　長島規夫
熊谷興業㈱	下井　守
佐藤研究所	佐藤和久
セイコー技建㈱	川原田義行
第一ブロック建設㈱	逵本秀雄
中田工業㈱	中田敬一
中林産業工販㈱	田中達美
中林防水工業㈱	(石田誠二)　根本　誠
㈱馬場工業	馬場哲也
㈱濱建	泉川嘉教
フタバ工業㈱	山口正行
北洋コーキング㈱	小熊邦彦
北海コーキング㈱	平塚安弘
北海道タイホー㈱	鳴海忠義　長尾忠幸 斉藤　伸　深尾　哲
北晄防水工業㈱	菊地　薫
㈲ヤマト工業	小山毅芳

東北地区　15名

会社名	氏名
㈲泉クリーナー	花村卓次
大島金属商事㈱	高橋卓孝
㈱郡山医療器製作所	安斉国紀
㈲興伸総業	工藤秀二
郡山シーリング㈱	梅津祐一
桜シーリング工業	阿部賢一
㈲シーリングタナカ	高橋栄一
東北化工㈱	高橋道弘
㈲東北シール工業	岩間鉄雄
㈱丸本工業所	本吉和康　千葉忠男
㈲三国工業	伊藤真太郎　斉藤智弥 菅原春男
㈱我妻工業所	我妻貴司

東日本地区　102名（2名）

会社名	氏名
㈱アートシーリング	工藤純二
アルファ産業㈱	山本　勇　奏　達也 宮代　博　加藤由之助 平沢達也
石黒建材社	石黒勝己
㈱石田シール工事	石田　実　鈴木隆男 田中義一　鈴木芳英
㈲環清工業	伊藤儀一
木元工業㈱	(神尾　健)　初鹿忠夫 田尻茂人
協和シーリング工事㈱	手塚　透
㈱栗崎工業	栗崎堅司
クリステル工業㈱	半田直人
京葉シール㈱	木下　剛　吉田英治

光栄工業㈱	内田鴇嫗　川口正秀
㈱工業技術研究所	鈴木裕二　沢　賢造
興進工業㈱	五十嵐志郎　高宮昇二 小山忠夫　(大坪徳夫)
山栄興業㈱	宇山広道　柏瀬謙一 鶴田正行　上田稠身
㈱ジックス	名倉　茂　松田英男 岩崎元廣
㈱シーラント	安保正則
㈱第一興産	椙江裕二
タイガー工業㈱	堀　亨
大和興業㈱	斗成　隆
高萩興業㈱	佐藤正則
拓友防水工業㈱	大坪政博　平間　栄 飯塚安雄
中央建材工業㈱	渡辺昭悟　甲斐　誠
東邦防水総業㈱	広瀬忠夫　戸田　裕 深津富正　青山淳二
㈱トミヨシ商会	富岡勝人　富岡睦男
日本ビソー㈱	小松幹久　竹間由孝 加藤　重　浅倉康明 大谷信幸
平沢コーキング工業㈱	平沢敏男　勝視益明
ビルコン㈱	駒崎弘幸
北斗工業㈱	高橋和彦　大関　勉
㈱マサル	操上弘昌　鈴木賢一 宮川文雄　大辻勇七郎 雪入　毅　塚本　弘 佐藤義政　中沢文隆 木村芳孝　村山美二 斉藤誠一　細谷英雄 小峰　茂　坪山和幸 中島一三　苅谷　純 平野正治　林　徳行 小島卓三　半野田重俊 大越清美　村上孝行 田村良則　狭間秀樹 塩田延明
㈱マツダパラウォータ	福山政隆　松田和彦 生出　正
㈱山形防水	竹内利三
理建工業㈱	木村正一　室井幸雄 戸張達士　関　浩士 金山信二　林　正実 西園克己　山本真一 芝田俊幸　幸本和史 野口共成
瀝青建材㈱	今井武義　村井　眞 村上富男

中部地区

61名

会社名	氏名
愛知トヨタ興業㈱	間瀬伸司　後藤伸一 大崎利行
朝日建物㈱	朝倉英心
㈲石原コーキング興業	紺谷俊志
石渡産業㈱	高村克己
石動コーキング㈱	仁村　孝　萱原　寛
㈲市川防水	市川文則
㈲大久保コーキング	水野久夫
大村商事㈲	大村盛雄
加賀防水工業㈱	諸橋茂一　昇塚繁行
㈱栗原	栗原　眞　山下晴夫 原　友次　関　博夫 堀　忠夫　村　武和 松代敏一
㈱サンエイ	菅谷敏行
㈱三栄	安藤時敬　沢田洋行 熊沢　実
三信建材工業㈱	石田敦則
山新工業㈱	加藤忠司
㈱静岡コーキング工業	堀川信昭　太田広道 石上正秋
㈱志水化工	清水茂喜
㈱シリコーンエンジニア	匂坂良造
㈲シンコー工業	新保喜美雄　田村　仁 新保文規
㈲新静シーリング	川口博史
㈲ツカコシ商工	塚越　勲
津田硝子㈱	竹田正治
中央建材工業㈱	阿野田卓男　犬飼健一 橋本孝由　杉田好隆 野間　浩
㈱東海工事	勘解由信幸
㈲中村コーキング工業	中村勝則
㈱ナカムラシール	中村　守
㈱日本ビルサービス	坂口　貢
㈲浜松シーリング工業	伊藤正智
北陸ビル防設㈱	田崎　隆
堀越コーキング㈱	堀越飛行
㈱ビルメン	守山彰治　清水洋紀 岡　穂　山嵜清孝
フジ工業㈱	河原昇一
不二興業㈱	松本　勉　平井祐一
㈱前田コーキング	前田敏行
丸協	見角　弘
㈲山本コーキング	高橋直史
㈲和興建材工業	大西康進　大石秀幸

関西地区

85名（1名）

会社名	氏名
㈲天草シール	岩崎弘敏　岩崎泰博 岩崎十代志　三石富夫 赤石　一　坂元雅彦
大阪アルファ産業㈱	内田勝久
大阪工業㈱	中田安信　長棟利彦
㈱大阪シール	阪井敏夫
㈱大阪防水工業所	(水口峰彦)　野上條司 佐伯忠雄　塩谷昭文
大阪ユニロン㈱	金山満昭
大芝建材㈱	中山親治
㈱勝友商会	田宮貞夫
㈱京都シール	竹田征司
共立産業㈱	木寺玄太
㈲京阪防水	蛎崎徳靖
三幸物産㈱	横谷興彦
三大工業㈱	大西利昭
昌栄亀井㈱	亀井一身　桝田　潔
新和化工㈱	黒木俊行　溝渕　勇 重実俊憲
セキシュウ技研㈱	田中秀穂
㈱大一防水工業	上田正義　上田三郎

㈱大協建材	安東延治　吉田　功 上西雅司　川井一哉 浅田政幸　小田義数 山田耕司　西薗恒夫
高月商会	高月春彦
㈱東光商会	志水利達　和田俊治 長江誠一　早平淳一 北野裕一　新藤詔三 板倉　保　土屋　智
㈱東洋防水	谷口忠文　横道哲幸 村田康保　川畑裕之 沖浜臣人　大村幸美 畑中美佐男　石田　守 坂下公要　坂下芳春
㈱特殊技研	西山義雄
㈱中出商会	中出紘一
日本化成工業㈱	松下　実　三谷孝一 岡田良平　山村博司 岡田城治　山下雄治 岡田誠治　小森　勝 久保欣也　大平利久 赤埴桂司　福水昭公 江藤孝明　松下公俊
日添工業㈱	浅見和宏
白洋建材㈱	井上信夫　小阪幸治
八鉱シーリングコンサルタント	三木　拓　寺田盛雄
㈲豊栄シール	笹崎幹雄
㈱美作	小林三千勝　山越章良
八尾コーキング	中元幸弘
山下防水建設㈱	渡辺光穂
ユニオン商事	杉原良一
ユニオン保全㈱	後藤晋也

中国地区

27名（3名）

会社名	氏名
アイシン工業㈱	木村通伸
アオケン㈱	月本満俊　(秋山　吉) 斉藤秀峰　油木孝士 江角善雄　石原洋邦
㈱岩本商店	川口智治
㈲烏城防水工業	原　俊之
㈱占部防水工業	内田　武　岡　和夫 楢木健史　佐無田良文
㈱サンゼオン	佐々木守　佐々木淳 梅本祐二
シーリング工業㈱	小田野哲夫　林　利明
中国特殊防水産業㈲	(海部信章)
中国冨士化工建設㈱	今井浩成
㈱ツキタニ工業	世羅敏則
ニッテイ㈱	鈴木泰彦
広島アルファ産業㈱	狭間延史
豊永建材㈱	河野和壮
㈱マルエス工業	(小野田真治)　庄司洋一
丸福建材工業㈱	長島隆良　多田　泉
㈱ヤマザキ技販	山崎雅弘　松井良仁

四国地区

26名

会社名	氏名
朝日産業㈱	小川隆三
岸防水工業㈲	坂井秀夫　小松憲二
㈲高知エバレヂン工業	中野　宏
㈲高知防水センター	神崎保之
㈲高分子工材	益田憲司　松川光雄 山本武雄
㈲斉藤防水工業	坂東公夫
四国日東工材㈱	松岡直樹
㈱シコクビル	中板勇二　梶原　響
四国ポリマー㈲	森川弘己
㈲西部シール	丸浦正英
大三工業㈱	高橋講二
徳島ゴーレックス工業㈱	井川清文
徳島大三工業㈱	塩月辰男　鵜飼弘昭 中西浩見
㈱日本防水松山工業所	冨永幸雄
㈲フクシマ工業	富井英利　福島康泰
古市断熱工業㈱	白坂吉友
マルエ工業㈲	市川利彦
㈲ミツワ建産	上野　薫　高木雄一

九州地区

18名（1名）

会社名	氏名
㈱佐藤防水	佐藤良一
昭和日本化成㈱	吉川繁満　山嶺知行 嘉村　昇
㈱新日本樹脂化工	小野賢二
㈲タイシン産業	楢原行雄
テイパ化工九州販売㈱	青野博文　永野光幸
㈲野田工業所	諏訪憲雄
BJ工事㈱	下田敏彦
南日本化成㈱	柳橋国博　白坂和也 東　正博
宮本産業㈱	宮本宣博　原山裕次
㈱ムトウ	(武藤　貞)　瀧本英治 朝原義隆　古川泰志

SRシール

S70　1液変成シリコーン系シーリング材
S50　2液変成シリコーン系シーリング材
U73　1液ポリウレタン系シーリング材
U31　2液ポリウレタン系シーリング材

SRボンド

E24　2液エポキシ系目地充填材
E27　補修用注入型2液エポキシ
(液状・グリス状・クリームペースト状)

エッジシール

網入り板ガラス防錆ブチルテープ
(ガラスメーカー3社 全硝連推奨品)

JIS表示工場　第581036号(JIS・A・5758)

SUN RISE サンライズメイセイ株式会社

本社工場　〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電話　(0722) 44−7500(代)
静岡工場　〒437-14 静岡県小笠郡大東町国安字一本松24−16
電話　(0537) 72−5700(代)
関東営業所　〒221 横浜市神奈川区三枚町299番地5
電話　(045) 383−4651(代)
熊谷営業所　〒360 埼玉県熊谷市宮町2丁目132番地(林ビル)
電話　(0485) 25−1822(代)
名古屋営業所　〒465 名古屋市名東区一社3丁目90番地(チサンビル202号)
電話　(052) 703−2061(代)
関西営業所　〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電話　(0722) 44−7500(代)
広島営業所　〒733 広島市西区三篠町3丁目20番19号
電話　(082) 230−0019
九州営業所　〒811-32 福岡県宗像郡福間町字長引3464番地(桜井ビル)
電話　(0940) 43−2254(代)

●屋上防水工事
●補修，改修工事
●シーリング工事
●ライニング工事
} 責任施工

●防水及補修全般
結露防止・改修工事
●赤外線建物診断
●漏水現場診断・施工設計

広島県外壁補修工事業協同組合員
日本シーリング工業事団体連合会会員
全日アスファルト防水事業協同組合員
日本樹脂施工協会会員
サンスター会会員
リフリート工業会会員
TVS赤外線建物診断研究会会員
(広島県知事許可般−63第4809)

株式会社サンゼオン

〒733 広島市西区中広町3丁目17−16
TEL 082-291-1631(代)　FAX 082-291-1739

LOBSTER®

エビ印 エアー式 コーキング ハツリ システム

PM-106M

ハツリ効率
3倍アップの
ハイパワー

小型・軽量(800g)
サッシまわりにも使用OK!

○コーキングチッパー CC-M
(空気消費量0.23㎥/min)

○チゼルMC-7・MC-12・MC-15
(刃幅7mm・12mm・15mm)

システム内容

PM-106M…コーキングチッパーCCM(チゼル付)・エアーホース・軽便グラインダー
電源トリプルコード・コンプレッサー

作業工具 省力工具
LOBSTER
エビ印工具

日本理器株式會社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎0729(62)1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎03.(550)3671(代)

名古屋☎052(915)0431(代)
札　幌☎011(251)5721
仙　台☎022(284)5602
厚　木☎0462(22)7631
高　松☎0878(61)6110
広　島☎082(292)4422(代)
福　岡☎092(431)0395(代)

打ち込んで
ガッチリ固定。

LOBSTER®

エビネイルプラグ

NP5-35/6

スティール釘	NP4-25/5	ステンレス釘 (SUS×M7)	SNP4-25/5
	NP5-35/6		SNP5-35/6
	NP5-50/20		SNP5-50/20
	NP6-35/6		SNP6-35/6
	NP6-50/20		SNP6-50/20

防水シート・水切材施工に最適!!

ウエーブ溝で首下スリムな特殊ナイロン
スリーブは打ち込みやすく保持力強固。

日本理器株式會社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎(0729)62-1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎(03) 550-3671(代)

営業所
名古屋 ☎(052)915-0431(代)
札　幌 ☎(011)251-5721
仙　台 ☎(022)284-5602
厚　木 ☎(0462)22-7631
高　松 ☎(0878)61-6110
広　島 ☎(082)292-4422(代)
福　岡 ☎(092)431-0395(代)

シーリング 編集後記

平成２年を迎え景気拡大策も４年目に入り，各職種の人手不足が深刻化，当業界でも材・販・工の責任者は頭の痛い時期が到来している。また今春２月の総選挙後，急速に円相場が下落し，円安に歯止めがかからない状況が続いている。株価，債券価も下落し，反面，人件費，輸送費，包装費等々は値上げムード，シーリング材の生産コスト上昇も製品価格に転嫁せざるを得ない動きにあり，全般的にインフレ心理が頭をもたげている。しかし，一部報道機関では，個人消費や設備投資が依然堅調で，「景気の腰は強く，高原状態」が続いているとも伝えている。いずれにせよ収益改善への努力が最優先。JIS A 5758の見直し作業も国際規格との整合性を盛込み順調に進捗，今秋にはアメリカでＡＳＣ国際会議も開催される。シーリング材も年々世界の中で注目を集める様になって来たようだ。

さて，会長始め，各委員長も多少変更がありましたが，広報委員会も心機一転，「役に立つ広報誌」をモットーに頑張ります。今後共，より一層の御指導，御鞭撻を賜ります様，お願い致します。

平成２年４月20日

広報委員長　**小林茂之**
広報副委員長　**山内雅夫**
広報委員　**斉藤總一郎**
〃　**船越　力**

日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用，土木用シーリング工事の健全な発展と振興を計ることを目的として，昭和38年２月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し，賛助会員は原材料メーカーおよび取扱業者が加入しており，全国に支部を有する全国的組織であります。

事　業

○シーリング管理士の養成
○日本シーリング工事業団体連合会と連携，材料および工事に対する信頼の確保
○技術資料の収集と情報の交換
○ JIS，JASS への協力
○市場調査，需要開発に関する調査研究

発行図書

○機関誌「シーリング」（年１回）
○シーリングニュース　（年３回）
○建築用シーリング材とその正しい使い方
○シーリング材ハンドブック
○シーリング管理士用テキスト

シーリング
SEALING　第27号　（第31巻・第27号）

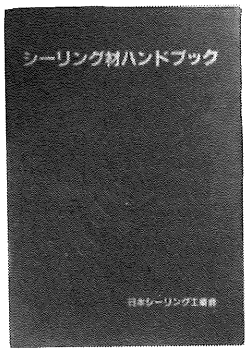
発　行／日本シーリング工業会
東京都千代田区外神田2―2―17（共同ビル万世）
TEL　03（255）2841～2　FAX　03（255）2183
編　集／日本シーリング工業会広報委員会
制作協力・広告／新　樹　社　東京都中央区銀座8―15―4
☎03（542）9011（代）

平成２年４月15日印刷
平成２年４月20日発行　非　売　品
＜禁　無　断　転　載＞

刊行物のご案内

●詳細は▶日本シーリング工業会 ☎03(255)2841～2

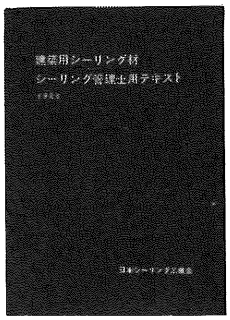
改定版・シーリング材ハンドブック



好評のシーリング材ハンドブックの改定版。JIS、JASS、建設省建築工事共通仕様など最新情報を随所に盛込んだシーリング材の案内書。シーリング材の特性と選び方に重点を置いた実用書として、誌面も解り易く見易い構成になっています。

頒布価格 1,000円

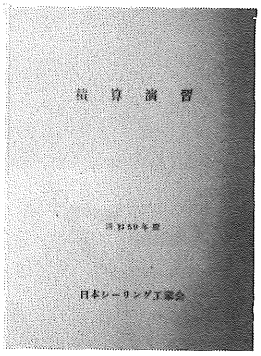
新・建築用シーリング材シーリング管理士用テキスト 1988



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を目ざした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 4,500円

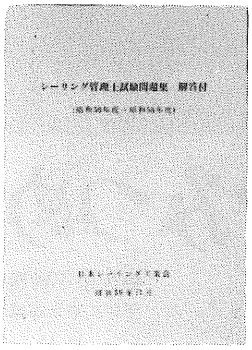
積算演習



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格 1,000円

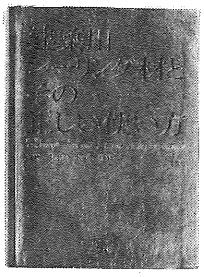
シーリング管理士試験問題集・解答付(60～62年度)



問題集として最近３年間(60～62年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 1,000円

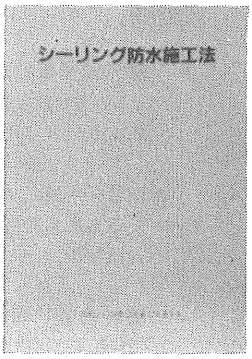
建築用シーリング材とその正しい使い方



わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工学博士の監修による、シーリング関係者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授、小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめわが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
(会員頒布価格 4,300円)
(消費税別途)

シーリング防水施工法 改定版

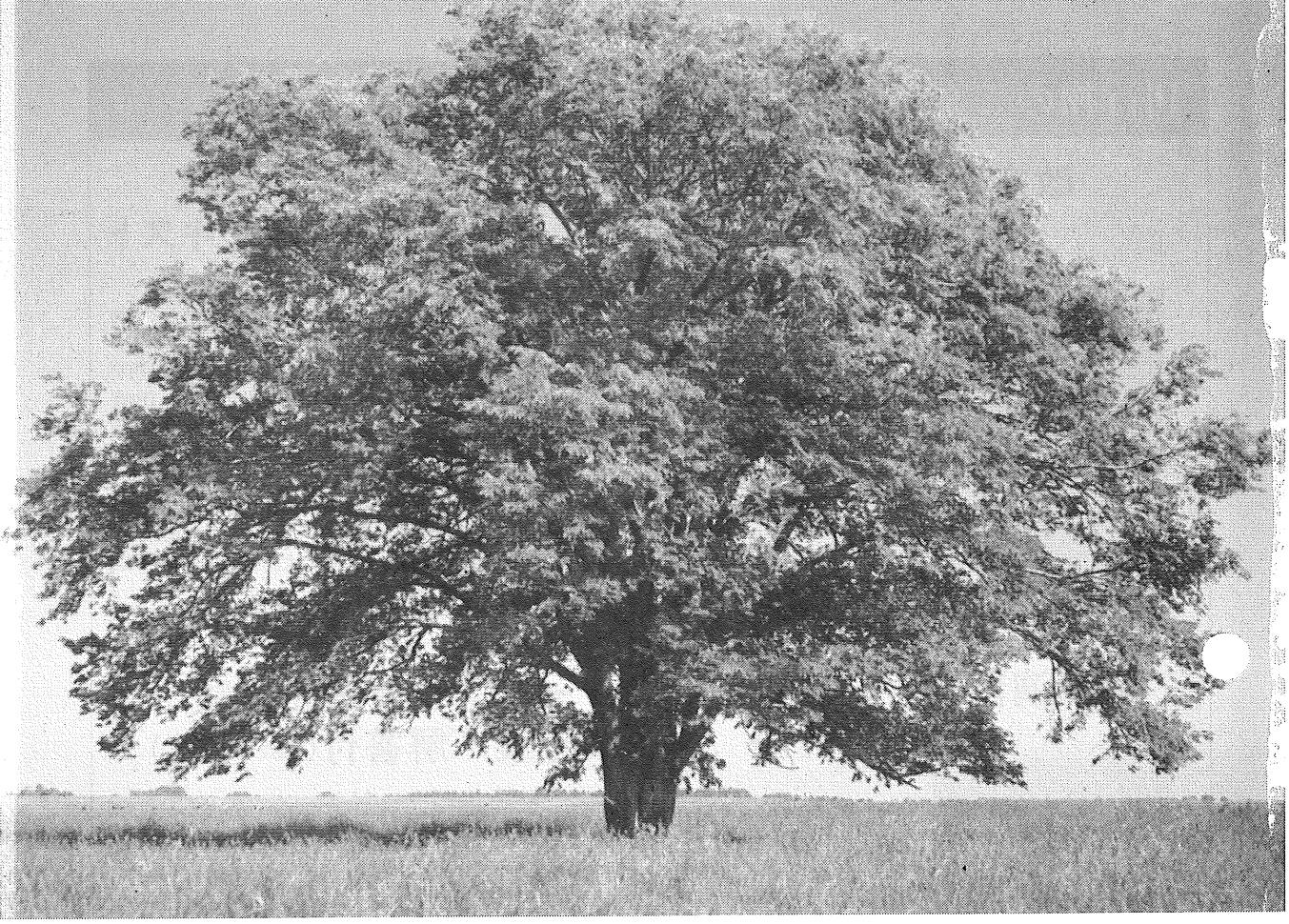


シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛込み解り易く解説した実務参考書。内容は▷建築物の基礎知識▷シーリング防水の基礎知識▷良いシーリング防水工事▷良いシーリング防水工事のためのディテールシート▷故障と補修―の構成。

日本シーリング工事業団体連合会発行

頒布価格 2,500円
(消費税別途)

(送料は別途申し受けます)



未来をみつめる光栄グループ

■光栄工業株式会社
〒177 東京都練馬区上石神井1-20-5
TEL 03-928-2271 FAX 03-928-5640
工事施工部門を担当。直属の現場施工集団である「光栄会」を組織し責任施工体制を整え、総合防水工事（シーリング、屋上防水、外壁防水）総合リフォーム工事（外壁補修、屋上補修、漏水補修）を受注施工している。

■光栄加工株式会社
〒177 東京都練馬区上石神井南町18-11
TEL 03-920-2671 FAX 03-928-8455
関連する副資材等の製造加工部門。シーリングのバックアップ材、アルミサッシのパッキング材、自動車部品、ＯＡ機器部品、各種保護材の打抜加工をしている。

■光栄不動産株式会社
〒177 東京都練馬区上石神井南町18-11
TEL 03-594-4800
各種講習会、展示会を開催できる貸スペース「リプル」の運営管理会社。このスペースでグループ全社の教育等を行なっており、外部にも貸出している。

■光栄商事株式会社
〒177 東京都練馬区上石神井1-20-6
TEL 03-928-5811 FAX 03-928-5991
グループ各社が取り扱う商品の流通商社。平成元年より「クラスタ」と称する地域密着型情報店舗をチェーン化し運営中。

■株式会社光栄ショールーム
〒177 東京都練馬区上石神井1-20-5
TEL 03-594-4600 FAX 03-594-4694
関連商品の展示販売型企業。ユーザーニーズを企画商品化し提供している。

■株式会社ウィン
〒177 東京都練馬区上石神井南町18-11
TEL 03-5991-1341
グループの企画広告部門、企業のＣＩ、教育等を助成する目的で設立。

■クラスタチェーン
建築土木資材、副資材、DIY用品販売
●本　部/光栄商事㈱
TEL 03-928-6811
●練馬上石神井店/㈱光栄ショールーム
TEL 03-594-4600
●練馬上石神井南店/㈲大地
TEL 03-594-2800
●千葉六方町店/㈲キョーエー
TEL 0634-21-2928
●春日部店/㈱フジックス
TEL 048-763-3330
●府中店/㈲ミネ商事
TEL 0423-25-4423
●クラスタスポーツクラブ
スポーツイベント企画運営（テニス、スキー、エアロビクス）

光栄グループ

シーリング　第27号

広　告　索　引

(エ)エービーシー商会……4
(オ)オート化学……64
(カ)カネボウ・ＮＳＣ……58
カモ井加工紙……3
化学品検査協会……42
化研マテリアル……81
鐘淵化学……66
(コ)コニシ……2
光栄グループ……112
(サ)サンスター技研……表紙4
サンゼオン……108
サンライズメイセイ……108
三洋工業……6
(シ)昭石化工……41
新和商会……30
ジックス……99
信越化学工業……表紙3
(セ)世界長……2
(タ)タイルメント……36
(テ)テイパ化工……60
(ト)東芝シリコーン……43
東レ・ダウコーニング・シリコーン……表紙2
東レチオコール……8
(ナ)7日会……12
なにわ会……6
(ニ)日興化学工業……88
日本シーリング工事業協同組合連合会……89
日本化成工業……81
日本触媒化学……65
日本ソセー……60
日本添加剤工業……4
日本理器……109
(ノ)野口興産……41
(ヒ)日立化成ポリマー……広告索引裏
(フ)フヨー……63
(ホ)保土谷建材工業……66
(マ)マサル……7
丸尾カルシウム……5
(ミ)三星産業……9
ミキスタ工業……7
(ヨ)横浜ゴム……10
(リ)理建工業……6

ーラント

実績。

性、耐候性、耐熱性、
ング材です。ほと
超高層ビル、土木工
れています。

札幌営業所(011)221-6471　長野営業所(0262)28-9104
仙台営業所(022)264-2777　北関東営業所(0273)63-2731
新潟営業所(025)247-3321　広島営業所(082)248-3931
北陸営業所(0776)26-1551　高松営業所(0878)22-3613

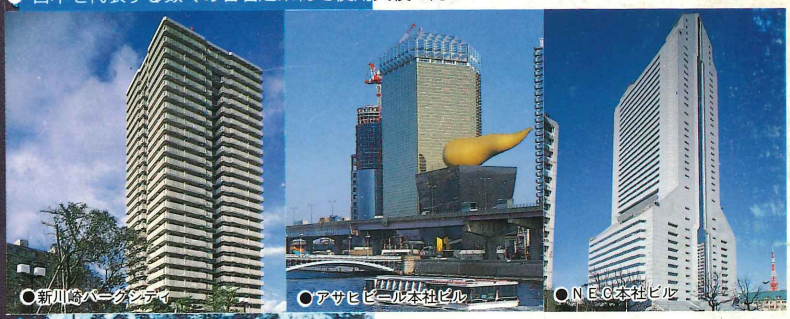
SUNSTAR

動くビル

剛から柔へ——現代の建築構造が剛構造から柔構造（動くビル）へと変わったいま、シーリング材は建物の柔軟性や設計の自由性を支える重要な部材として、設計段階から慎重に検討されています。

サンスター技研は、シーリング材のリーディングメーカーとして、高度化・多様化する建築業界のニーズに、たゆまぬ研究開発と確かな実績でお応えしています。

● 日本を代表する数々の著名建築物で使用実績を誇るサンスター技研のシーリング材



●新川崎パークシティ　●アサヒビール本社ビル　●NEC本社ビル

耐候力と対応力に自信あり、
サンスターの
シーリング材。

建築用弾性シーリング材
ペンギンシール

サンスター技研株式会社

本　　社：大阪府高槻市明田町7番1号　TEL.0726(81)0351
東京支店：東京都港区三田1丁目3番35号（ヤナバビル）　TEL. 03(453)9301
名古屋支店：名古屋市千種区萱場2丁目4番7号　TEL.052(722)6815
大阪支店：大阪府高槻市明田町7番1号　TEL.0726(84)0600